

別府現代芸術フェスティバル 2012「混浴温泉世界」

ベップ・アート・マンス 2012

<事業報告書>

2013年5月24日

別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会

目次

■ 要約	p3
■ 主催者あいさつ	p4
第1章 はじめに	
1-1. 事業概要	p5
1-2. 運営組織	p6
1-3. 「混浴温泉世界 2012」と「ベップ・アート・マンス 2012」を終えて	p7
第2章 開催記録1 「混浴温泉世界 2012」	
2-1. 企画概要	p8
2-2. 8つのアートプロジェクト	p9
2-3. 関連イベント	p17
2-4. 市外県外との連携	p20
2-5. 来場者について	p21
2-6. 運営について	p27
第3章 開催記録2 「ベップ・アート・マンス 2012」	
3-1. 企画概要	p29
3-2. 実施団体・プログラム	p29
3-3. 来場者について	p59
3-4. 運営について	p63
3-5. ベップ・アート・マンス2012 意見交換会の開催	p70
第4章 共通の取組み	
4-1. 広報活動と開催効果	p72
4-2. 観光消費額	p74
4-3. クーポン型金券「BP」について	p75
第5章 収支状況	p76
第6章 事業評価	
6-1. 事業評価の手法について	p77
6-2. 事業評価について	p78
6-3. 今後に向けた課題	p83
第7章 統括と今後の展望	p84
付録 掲載記事	

■ 要約

第1章 はじめに

別府市では現在様々なNPOや団体が活動し、多様性を受入れた魅力ある地域づくりを進めている。2009年に続き2回目の開催となる別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」（以下、混浴温泉世界 2012）は文化芸術によって地域の魅力を全国に発信し、同時にここでしか体験することの出来ないアートプロジェクトを実現するものであった。また、別府市内で行われる文化事業を紹介・支援する登録型事業「ベップ・アート・マンス 2012」を同時期に開催し、様々な種類の文化芸術の鑑賞・体験の機会と地域の楽しみ方を提案した。これらの事業を通して、従来の観光地のイメージに加え、市民主体の特徴ある地域活性化を図ることで、文化創造都市「別府市」の実現を目指している。

第2章 開催記録1 「混浴温泉世界 2012」

「混浴温泉世界 2012」は8つのアートプロジェクトを別府市内各所で開催し、作品と同時に別府の街や歴史を体験できるものとなった。またアートプロジェクトに関連したシンポジウムやツアーの実施や、市外県外の団体との連携事業なども行い、総来場者数は117,348人となり、当初見込みの100,000人を超えることができた。

但し、共通鑑賞券・個別鑑賞券の合計販売金額は16,440,600円となり、販売目標であった17,080,000円には及ばなかった。個別鑑賞券が目標の7倍以上の売上げとなったものの、共通鑑賞券の販売枚数が目標販売枚数を25%ほど下回ったことが原因として挙げられる。また、のべ660名の方々がボランティアとして運営に携わった。

第3章 開催記録2 「ベップ・アート・マンス 2012」

別府市内各所で行われた「ベップ・アート・マンス 2012」は昨年より会期を1ヶ月延長して開催したところ、前回の2倍以上となる122団体による148プログラムが実施された。また、来場者も前回の11,751人を大幅に越える53,736人を記録した。

第4章 共通の取組み

広報は、2つの事業の独自性を押し出しながら展開した。結果として、国内外の新聞やテレビなど192のメディアで取り上げられ、合計で332回の掲載・放送があった。これらを広告換算すると、467,798,279円となった（株式会社ジャパン通信社調べ）。また、情報発信メディアとしては、「旅手帖 beppu」というアートプロジェクトだけではなく、別府の町を紹介する冊子を70,000冊発行するなど、アートだけではなく別府に行ってみたいと思わせる仕掛けを行った。また、主な来場者が20代～30代と若いため、Facebookでの情報発信やiPhoneアプリなどの開発も行った。

また、今回の事業を実施したことによる観光消費額は338,771,243円となり、事業実施による地域への経済波及効果は一定数あったことと思われる。

第5章 収支状況

収支としては、119,293,100円の収入に対して、119,282,704円の支出となり、10,396円の黒字となった。しかし、当初予定を下回ったチケット販売の収入減と、「混浴温泉世界 2012」のアートプロジェクトへの支出が当初予定より増えたことで、苦しい運営となった。

第6章 事業評価

2011年度に引き続きバランススコアカード（BSC）を採用し、来場者などに対して行った各種アンケートの集計結果を「創造と学習の視点」「マネジメントの視点」「ステークホルダーの視点」「財政の視点」「地域再生の視点」で事業評価を行った。2012年度の事業実績は、事業実施前に定めた目標に対して、一部変更を加えたところもあるがクリアすることができた。但し、課題としては、事業の拡大に伴い「ベップ・アート・マンス 2012」のプログラム実施者へのきめ細かい対応ができなくなったり、印刷物の配布先などの決定が遅れたことが挙げられる。また、WEBサイトの更新に遅延がでるなど、県外のお客様への対応が十分でなかったことは今後の課題として検討して行かなければならない。次回「混浴温泉世界」と「ベップ・アート・マンス」の同時開催が予定されている2015年は、大分県立美術館の開館も予定されており、広域的な連携を進めるためにも、運営基盤の確立を図ることが重要となる。

第7章 統括と今後の展望

市民のアートプロジェクトに対する理解や、活動に対する支援など数字では現れない成果を感じることができた。ファンドレイズなど運営面の課題を残すが、3年間でこの試みが大きく花開くよう、『この場所・別府市らしいアートプロジェクトを実現し、全ての参加者が満足する丁寧なサービスの提供を目指すことで、世界で最も素晴らしいと言われる芸術祭を開催する』ことを目指していきたい。

2012年10月6日から12月2日にかけて、別府市内各所で「混浴温泉世界 2012」および「ベップ・アート・マンズ 2012」を、「文化芸術の振興」「観光振興・地域の活性化と多様性の開拓」「地域の人材育成」を主要目的に開催し、おかげさまで「混浴温泉世界 2012」には117,348人、「ベップ・アート・マンズ 2012」には53,736人の方々に足をお運び頂くことができました。

「混浴温泉世界」は2009年の1回目に引き続き、第2回目の開催の運びとなりました。第1回は大分県において初となる国際芸術祭として、国内外170組のアーティストが作品を発表し、鑑賞者は92,000人と、多くの方々にご参加いただきました。本芸術祭が地域振興にもたらした成果として、新規顧客層の獲得がありました。これまで別府市の主要な観光客層であった中高年男性に対し、本芸術祭の主要な参加者は20～30代の女性であったことです。さらには、本芸術祭を契機に別府市への移住者もいたことなどが挙げられます。本芸術祭やその他の芸術振興事業の功績が評価され、別府市は平成21年度文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)を受賞することができました。

一方で、本芸術祭を地域にいかにか定着させていくかということが大きな課題として残りました。そこで、私ども実行委員会では2010年より市民文化祭「ベップ・アート・マンズ」を創設しました。これは市民による文化活動の支援や広報協力を行ない、小規模文化団体の活動を支援し、団体間の交流を促進する事業です。3回目の開催にあたる本年度の参加団体、プログラム登録数は、共に初年度と比較して3倍以上の増加となりました。「混浴温泉世界 2012」は、この「ベップ・アート・マンズ」と同時に開催することで来場者の層を厚くし、相乗効果を生むことを目的としました。

さらに2009年以降、金券「BP」の発行や「旅手帖 beppu」による情報発信などの日常的な事業活動を通じ、地域との関係作りを進めて参りました。詳細は後に記しますが、こうした事業の積み重ねにより、多くの方々と出会い、2012年の「混浴温泉世界」を迎えることができたのは、皆様のご協力の賜物です。

今後も、毎年開催する「ベップ・アート・マンズ」と3年に1度開催する「混浴温泉世界」の2本柱で、別府市における文化芸術を振興し、「湯の町、別府に相応しい芸術祭」を継続開催していく所存でございます。ここ別府市で開催される本事業が従前の観光地のイメージに加え、市民が主体となる特徴ある地域活性化をはかり、文化創造都市「別府市」の実現を推進していきたいと考えております。

末尾となりましたが、これまで私どもと共に「混浴温泉世界 2012」および「ベップ・アート・マンズ 2012」の開催に向けご尽力、ご指導をいただいた皆様、またご参加いただいた大勢の皆様に感謝を申し上げ、御礼とさせていただきます。

別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会
実行委員長 福谷正信

第1章 はじめに

1-1. 事業概要

事業概要

源泉数、湧出量とも全国随一である大型温泉観光地、大分県別府市。戦災を免れたこのレトロな町は、近年、鮮度と集客力を失い、中心市街地の空洞化や若者の定住離れが進み、魅力ある地域づくりが最重要課題となっている。このような状況下、路地裏散策やウェルネス産業推進に取り組むNPO、学生・留学生によるまちづくり団体、そして日常的な文化芸術振興を行うアートNPO等の活動によって、単一の価値観ではなく、多様性を受け入れ変化に対応した地域社会を支える文化基盤の創出が図られつつある。

これらの取り組みをますます加速させるために、2009年に続き文化芸術によって地域の魅力を全国に発信する「混浴温泉世界 2012」を開催した。また同時期に別府市内でおこなわれる様々な文化事業を紹介・支援する登録型事業「ベップ・アート・マンス」を開催した。

これらの事業によって、従来の観光地のイメージに加え、市民が主体となる特徴ある地域活性化を図り、文化創造都市「別府市」の実現を推進することを目指している。

開催クレジット

名称	別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」	ベップ・アート・マンス 2012
主催	別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会	
日時	2012年(平成24年)10月6日(土)～12月2日(日) (58日間、会期中無休)	
会場	大分県別府市内各所(中心市街地／浜脇エリア／鉄輪エリア／別府国際観光港エリア)	
協賛	株式会社 大分銀行、株式会社 資生堂、アサヒビール 株式会社、全日本空輸 株式会社、カラーキネティクス・ジャパン 株式会社、株式会社 トキハ、NPO法人 ハットウ・オンパク、NPO法人 鉄輪湯けむり倶楽部、ホテル白菊、ホテル風月HAMMOND、別府商工会議所、大分みらい信用金庫、大分ガス 株式会社、株式会社 マリーナパレス、フンドーキン醤油 株式会社、別府タワー、社団法人 別府市観光協会、悠彩の宿望海、株式会社 ゆふいんラジオ局、弁護士法人アゴラ、大分県立芸術文化短期大学、鬼塚電気工事 株式会社、株式会社 城島高原オペレーションズ、九州労働金庫大分県本部、高砂香料工業 株式会社、株式会社 能作、ホテルアーサー、医療法人 慈愛会向井病院、有限会社 明石文昭堂、亀の井自動車学校・別府	
助成	文化庁、大分県、公益財団法人 ポーラ美術振興財団、公益財団法人 福武財団、公益財団法人 アサヒグループ芸術文化財団、ブリティッシュ・カウンシル	
助成 認定	公益社団法人企業メセナ協議会	
協力	有限会社 アーク、法務アドバイザー：弁護士 水野 祐 (Arts and Law)	
後援	ベルギー王国大使館、スイス大使館、在福岡米国領事館、 「日中国民交流友好年」認定行事、外務省	
	別府市、大分市、大分県教育委員会、別府市教育委員会、ツーリズムおおいた、別府商工会議所、別府市観光協会、別府市旅館ホテル組合連合会、別府市中心市街地活性化協議会、大分県民芸術文化祭実行委員会、大分県芸術文化振興会議、別府市商店街連合会、別府市料飲協同組合、大分合同新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、日本経済新聞社大分支局、西日本新聞社、共同通信社、今日新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、CTBメディア、シティ情報おおいた、CONKA	

1-2. 運営組織

実行委員会

福谷正信（実行委員長）	別府市中心市街地活性化協議会 会長
菅 健一（副実行委員長）	NPO法人 別府八湯トラスト 代表理事
阿部邦和	大分県企画振興部 観光・地域局 観光・地域振興課 課長
小川 浩	大分県東部振興局 局長
亀井京子	別府市ONSENツーリズム部 部長
堤 俊一郎	ツーリズムおおいた 事務局長
中尾和博	別府商工会議所 専務理事
古庄 剛	別府市観光協会 専務理事
尾野文俊	大分経済同友会 常任幹事・地域委員長
林 道弘	別府市商店街連合会 会長
牧田正裕	立命館アジア太平洋大学 教授
大蔵開平	別府溝部学園短期大学 教授兼広報課長
田中修二	大分大学 准教授
於保政昭	大分県立芸術文化短期大学 専任講師
田畑勝則	九州旅客鉄道株式会社 別府駅長
村岡修治	JTB九州 大分支店長
松尾勝則	大分合同新聞社 事業部長
三浦宏樹	日本政策投資銀行 大分事務所 所長
鶴田浩一郎	NPO法人 ハットウ・オンパク 代表理事
甲斐賢一	NPO法人 鉄輪湯けむり倶楽部 代表理事
樋口貞幸	NPO法人 アートNPOリンク 事務局長
佐東範一	NPO法人 Japan Contemporary Dance Network 代表
山出淳也	NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事

監事

堀 精治	別府市旅館ホテル組合連合会 事務局長
篠藤明德	別府大学 教授

事務局 NPO法人 BEPPU PROJECT（事務局長：林 曉甫）

2012年12月2日、「混浴温泉世界 2012」を無事に終了することができた。総合ディレクターとして、ここに至るまで献身的な努力を惜しむことのなかったすべての関係者各位に、心からの感謝の言葉を申し述べたい。

現代の優れた表現活動を別府という土地に招き入れ、場所の力を解放させようという趣旨はそのままに、第2回目となる今回は展開するアートプロジェクトの数を8つに絞り込み、より濃密な体験が生まれるように配慮した。8つのプロジェクトとは廣瀬智央、シルパ・グプタ、アン・ヴェロニカ・ヤンセンズ、クリスチャン・マークレー、小沢剛、チウ・ジョーゼ各氏のプロジェクト、そして「楠銀天街劇場」、「混浴ゴールデンナイト！」というふたつのダンス関係プロジェクトである。

同時に、人々の自発的な参加に支えられた文化祭、「ベップ・アート・マンス 2012」も開催した。メタファーとして語るなら、「混浴温泉世界」の8つのプロジェクトは3年に一度力強く噴出する想像力の間欠泉と言えるだろう。そして「ベップ・アート・マンス」は市民レベルで自発的に湧きだした多様な想像力の自噴である。これらさまざまな源泉から湧き出す想像力が、ひたひたと別府の58日間を浸していった。さらに「BEPPU ART AWARD 2012」グランプリ受賞展やアーティスト・イン・レジデンス企画「KASHIMA 2012」、国東半島で行われた「国東半島アートプロジェクト 2012」など他企画も、会期が重なるように時間的に調整してもらうことで、この期間、別府という場所はたしかに溢れ出る創造性に浸されたと心から満足している。

その一方で、運営組織のキャパシティから、こうした豊富な内容を十分に受け止め、活かしきれたかという点、さまざまな反省も生まれる。しかしこれは悲観することではない。ハードルは高くても、創造的に克服すべきポイントが明確に見えたということだ。別府は真の意味での創造都市へと、力強く変質しつつあると私は信じる。

別府現代芸術フェスティバル 2012「混浴温泉世界」
総合ディレクター 芹沢高志

第2章 開催記録1 「混浴温泉世界 2012」

2-1. 企画概要

企画概要

「混浴温泉世界 2012」とは国際的に活躍するアーティストが、別府のためだけに構想した新作の展示を行ない、ここ以外では体験、観賞できない作品を市内に点在させ、鑑賞者はそれらを巡り、地域が持つ魅力と出会う芸術祭である。

今回は8つのアートプロジェクト(8つのイマジネーションの源泉)を実施。この場所らしいアートプロジェクトを実現し、全ての参加者が満足する丁寧なサービスの提供を目指すことで、世界で最も素晴らしいと言われる芸術祭を、ここ地方都市・別府市で開催することを目指した。

コンセプト

大地から湯が湧きだし、窪みに溜まる。それは誰のものでもない。

人はそれを慈しみ、自発的に守り維持する。

そして、ここに住む人も旅する人も、男も女も、服を脱ぎ、湯につかり、国籍も宗教も関係なく、武器も持たずに丸裸で、それぞれの人生のあるときを共有する。

しかし、つかりつづければ頭がのぼせ、誰もそのままではいられない。

入れ替わり湯から上がり、三々五々、ここを去っていく。

人は必ずここを立ち去り、再び訪れる。ゆるやかな循環。

ディレクターチーム

総合プロデューサー	山出淳也（NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事）
総合ディレクター	芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター）
キュレーター	佐東範一（NPO法人 Japan Contemporary Dance Network 代表）
キュレーター	住友文彦（キュレーター）
広報&ブランディング・ディレクター	立木 祥一郎（teco llc. 代表）

PROJECT 01 - 古い空き屋を神秘的な作品によって再生させるプロジェクト -	
アーティスト	廣瀬智央
会場	浜脇の長屋／浜脇サロン／東蓮田温泉前／旧遊郭の中庭／長覚寺上
作品概要	《天空の庭》2012年 会期前、プロジェクトパートナーとなった個人が築100年以上の2階建ての長屋を土地とともに購入。その一角を作家と地元建築家でリノベーションし、家全体を作品化した。反転させた空をイメージし、青系色のビー玉を数十万個敷き詰め、床に天空を作り、2階には作家のドローイングを展示した。今後、この作品は恒久的に設置し、滞在施設として運営される。
	《カボスの家》2012年 《天空の庭》の会場の向かいにある、サロン（「浜脇サロン」）を作品化した。天幕を張り、そこに大分の名産であるカボスを乾燥させた実や葉、枝などをおいた。会場内はカボスの匂いを充満させ、来場者には、カボス水を振る舞うなどして、五感を刺激するような作品とした。
	《Walk - 浜脇の記憶を共有するプロジェクト》2012年 アーティスト自身が展示会場となる地区を歩き、この地区の歴史的、文化的な特徴を表す3カ所に作品を設置した。それぞれの場所には、ウッドデッキとカボスの苗木を設置し、鑑賞者はそれらを回る事で、作品だけではなく、この地区の歴史や雰囲気を感じる事ができる。これらの一部は、会期終了後、その場所で活用されている。



《天空の庭》2012年



《カボスの家》2012年



《Walk - 浜脇の記憶を共有するプロジェクト》2012年
東蓮田温泉前



《Walk - 浜脇の記憶を共有するプロジェクト》2012年
長覚寺上からの眺め

PROJECT 02 「楠銀天街劇場」 - 商店街全体を劇場に変えるプロジェクト-	
アーティスト	東野祥子
会場	楠銀天街
作品概要	空き店舗率が7割をこえる別府の商店街「楠銀天街」を2ヶ月間劇場化し、全国のダンサーと地元住民とで作られたダンス公演を行うプロジェクトを実施。 商店街を劇場化する 会期2ヶ月の間、「楠銀天街」の中を装飾して、ドラマティックな劇場空間に変様させた。演出を東野祥子、音楽・演出をカジワラトシオ、美術・装置を長田道夫・山田卓夫、照明・システムデザインを古館 健、照明デザインを筆谷亮也、楽曲提供を豊田 奈千甫が担当した。別府市近郊で収集した廃材で作られた美術、断線してしまっていた商店街のスピーカーから流れる音楽、様々な場所に施されたインタラクティブな仕掛け。夕暮れになるとLED照明が映え、昼間とは違う表情を見せた。 ワークショップ ダンス公演「Void the Fill」のために、東京・神戸・別府の3カ所でダンサーを対象としたオーディションワークショップを行った。結果、東京から6名、神戸から5名、別府から77名のダンサーが参加した。また、フェスティバル会期中に、劇場化された楠銀天街において、ダンス未経験者・子ども・高齢者など地元住民とのワークショップを重ねた。そのなかから、13名がダンス公演「Void the Fill」に出演した。 【ワークショップ開催日・参加者数】 オーディションワークショップ 別府：10月8日(祝) 13:00～16:00 7名 神戸：10月9日(火)・10日(水) 20:30～21:30 5名 東京：10月13日(土) 17:00～19:00 6名 一般ワークショップ 10月6日(土)13:00～16:00 5名 10月7日(日)13:00～16:00 3名 10月27日(土) 12:00～20:00 23名 28日(日)12:00～20:00 34名 ダンス公演「Void the Fill」 2ヶ月間展示された劇場空間と、ワークショップの集大成として、ダンス公演「Void the Fill」が行われた。38名の出演者に加え、美術、音響、映像、照明、フード、総勢50名以上のチームで作られた。奥行きのある構造を利用した振付、壁に写しだされた映像が、商店街をより異空間へと変容させた。ラストシーンは、生火を囲み、地元住民から教わった盆踊りで締めくくった。



商店街の装飾



Void the Fill

PROJECT 03 - グローバリゼーションが進む現代社会の問題を提起するプロジェクト-	
アーティスト	シルパ・グプタ Shilpa Gupta
会場	旧地下街／上富士屋旅館 屋上
作品概要	《無題（シンギング・マイクロフォン）》2012年 約50年間閉鎖されていた地下街に、マイクを約5000本使用した作品を設置。地域の人々から聞いた、女性と子どもの話をもとに、親から子へと受け継がれていく生のサイクルと、女性の愛情を表すような言葉を、会場で流した。
	《どこでわたしはおわりあなたははじまるのか》2012年 鉄輪エリアの旅館の屋上に、アクリル板とLEDライトで作られた作品を設置。 【WheredoIendandyoubegin】という英文の文字間隔を詰め、連続する感覚を作り上げている。昼間は青空を背景に黒い文字、夜は暗闇を背景に白く浮かび上がる文字を鑑賞する事ができた。



《無題（シンギング・マイクロフォン）》2012年



《無題（シンギング・マイクロフォン）》2012年



《どこでわたしはおわりあなたははじまるのか》
2012年



《どこでわたしはおわりあなたははじまるのか》
2012年

PROJECT 04「混浴ゴールデンナイト！」 - 元ストリップ劇場をリノベーションして行なわれるジャンルミックスの解放区型プロジェクト -	
アーティスト	【ゲスト】大友良英・北村成美・黒田育世・竹下洋子・タケヤアケミ・TANISHQ・東野祥子・康本雅子・吉田 久美子・流しのはっちゃんぶんちゃん・The NOBEBO 【公募】あうんともこ・内山 大・ウミ下着・木皮 成・煌滅姫乙メンM☆H・吟子・CI部・人間ドッグバンド and musicians・別府巡レグウォーマーズ・村本すみれ・山下智博・佑季・渡辺美帆子事務所 【建築】みかんぐみ
会場	永久別府劇場
作品概要	ダンス・パフォーマンス公演 永久別府劇場において、「混浴温泉世界 2012」会期中の毎週金・土・日にダンス・パフォーマンス公演を行った。出演者は金粉ショーチーム「The NOBEBO」をのぞいては、週替わりであった。コンテンポラリーダンスのみならず、ベリーダンスやフラメンコなど伝統的な踊りから、エアギターや現代美術家、別府名物流しの音楽家「はっちゃんぶんちゃん」など、多彩なパフォーマーが出演した。出演者は、主催者による招へいと公募によって選ばれた。 リノベーション 会場となったのは、元ストリップ劇場の「永久別府劇場」。2009年に閉館したストリップ劇場「A級別府劇場」を3年の月日をかけて建築家集団「みかんぐみ」がリノベーションしてきた。 ◎混浴ゴールデンナイト！番外編(館内鑑賞) 公演のない月・火・水は館内鑑賞日とした。普段は入れない舞台裏や屋上テラスを鑑賞できるほか、「みかんぐみ」のリノベーションについての展示と、音楽と照明で演出されたストリップ劇場ならではの舞台空間を体験できる。音楽は御手洗優が、照明デザインは古舘 健が担当した。



PROJECT 04「混浴ゴールデンナイト！」

PROJECT 05 - 商業空間の空きスペースで行なわれるドラマティックな知覚体験型プロジェクト-	
アーティスト	アン・ヴェロニカ・ヤンセンズ Ann Veronica Janssens
会場	トキハ別府店 5 階
作品概要	《無題(1+1)》2005年 - 2012年 《ブランシェット》2012年 《休憩》2012年 別府市最大の売り場面積を誇る百貨店の1フロア全体を使った作品を発表。スモーク(ヘイズ)の満たされた空間に複数のスポットライトを使った作品を制作。また、霧吹きを超高速カメラで撮影した映像の作品と、別府の風景を切りとった窓枠を設置。



《無題(1+1)》2005年 - 2012年



《無題(1+1)》2005年 - 2012年



《ブランシェット》2012年



《休憩》2012年

PROJECT 06 -100本の異なるデザインののぼりと鈴で、町を異空間に変えるプロジェクト-	
アーティスト	クリスチャン・マークレー Christian Marclay
会場	別府市餅ヶ浜栈橋
作品概要	《火と水》2012年 100本の異なるデザインののぼりと鈴を使った作品を制作。のぼりは、別府の湯煙を作り出している物質である「火」と「水」をイメージしてデザインされた。また鈴は音色の異なる2種類の鈴を使用した。各のぼりにそれぞれ1個ずつ鈴が取り付けられ、風の強弱や周りの環境音によって作り出されるサウンドインスタレーション作品。



《火と水》2012年

PROJECT 07 - 町のランドマークを舞台に近代について再考するプロジェクト -	
アーティスト	小沢 剛
会場	別府タワー(ネオンサイン・1階)／やよい天狗通り／ソルパセオ銀座
作品概要	《バベルの塔イン別府》2012年 別府のランドマークである別府タワーを中心に作品を展開。この作品は下記の4つにより構成された。 別府タワーのネオン広告「アサヒビール」を使った作品 地元の留学生などから、「アサヒビール」の6文字を組み替えてできる様々な国の言語を見つけてもらい、それらを会期中の夕方から夜にかけて点滅させた。日本語、英語、中国語、スワヒリ語、スペイン語など数多くの国の言葉を発信し続ける事により、多くの文化が入り交じる現代社会での生き方というメッセージを発信した。 別府タワー1階でのインスタレーション 商店街に設置されているミニタワーのドローイングや、関連イベントの映像、夜間に点滅されている様々な国の言葉をつなぎあわせた時とその意味が書いてあるパネルの展示を行った。 中心商店街でのミニタワーの設置 中心市街地の2つの商店街の計18店舗で、それぞれの店舗の商品を使って見立て細工のタワーを作り、各店舗の店先に展示。 関連イベント 小沢剛×安野太郎「世界混浴タワー合唱団」ワールドプレミア 小沢剛と、作曲家の安野太郎のコラボレーションパフォーマンス。「アサヒビール」の6文字から見つけた様々な国の言語を組み合わせ、歌詞を作り、地元の住民、留学生達で構成された合唱団が合唱するパフォーマンスを実施。来場者は近くの建物の屋上から鑑賞した。



別府タワーのネオン広告「アサヒビール」を使った作品



別府タワー1階でのインスタレーション



中心商店街でのミニタワーの設置



関連イベント 小沢剛×安野太郎「世界混浴タワー合唱団」ワールドプレミア

《バベルの塔イン別府》2012年

PROJECT 08 - 温泉の噴気を利用し、大型の竹彫刻を地域全体に点在させる大規模なプロジェクト -	
アーティスト	チウ・ジージェ 邱志傑 Qiu Zhijie
会場	富士屋Gallery一也百、他鉄輪エリア
作品概要	《ローマの柱》 《そうして物事は日夜流れていく》 ドローイング（作品タイトル未決定） 中国の竹細工の手法を使い作られた、大型の竹彫刻作品を鉄輪エリアに複数個展示。ローマの柱は、元旅館を改装した富士屋Gallery一也百での展示や、湯煙の噴気口に設置。蒸気があたり続ける事で、時間とともに変色し形が崩れていく、歴史のサイクルを暗示する作品となった。なお、「そうして物事は日夜流れていく」は強風のため、作品の展示方法を途中で変更することとなった。また、チウ・ジージェが自らの精神的世界を鉄輪の土地に重ねて描き上げた地図状のドローイング作品（タイトル未決定）は作品の到着が遅れ、12/1と12/2のみの公開となった。



《ローマの柱》



《ローマの柱》



《そうして物事は日夜流れていく》



ドローイング

2-3. 関連イベント

プログラム名	混浴温泉世界シンポジウム2012
実施日	10/6
会場	別府ブルーバード会館3階
料金	無料
来場者数	152名
実施内容	参加アーティストが、自らの作品について語り、また社会にとってアートはどういう役割を果たすのかといった内容についてそれぞれのプレゼンテーションとディスカッションを行った。



プログラム名	ベップユケムリ大学アート学部 混浴温泉世界ゼミ
実施日	10/9 原万希子（センターA バンクーバー国際アジア現代アートセンター、キュレーター） 10/16 石川直樹（写真家） 10/23 The NOBEBO（混浴ゴールデンナイト！）、佐東範一（「混浴温泉世界 2012」キュレーター）、古原彩乃（「混浴温泉世界 2012」事務局） 10/30 芹沢高志（「混浴温泉世界 2012」総合ディレクター） 11/6 都筑響一（編集者・写真家） 11/13 千葉正也（画家） 11/20 福住廉（美術評論家）、住友文彦（「混浴温泉世界 2012」キュレーター） 11/27 ジュディット・ステインズ（編集者）
会場	platform03
料金	5BP／500円（「混浴温泉世界 2012」パスポートを展示すれば無料）
来場者数	284名
実施内容	総合プロデューサー・山出淳也がゼミ長を務め、別府を訪れたアーティスト、キュレーター、編集者など様々なジャンルの方々をゲストに招いて、クロストークを行った。



プログラム名	作品ガイドツアー
実施日	10/09(火)、10/16(火)、10/23(火)、10/30(火)、11/06(火)、11/13(火)、11/20(火)、11/27(火)
会場	中心市街地、鉄輪
料金	無料（要パスポート）
来場者数	159名
実施内容	総合プロデューサーや総合ディレクターによる作品ガイドツアー。制作や会場にまつわるエピソードなどを交えながら、作品解説を実施



プログラム名	旅手帖いいところ探しツアー
実施日	10/11(木)、10/18(木)、10/25(木)、11/01(木)、11/08(木)、11/15(木)、11/22(木)、11/29(木)
会場	中心市街地
料金	無料（要パスポート）
来場者数	37名
実施内容	「混浴温泉世界 2012」の公式ガイドブック「旅手帖 beppu」の編集スタッフが案内するツアー。中心市街地の「混浴温泉世界 2012」会場をめぐりながら、取材の途中でみつけたとおきの場所を紹介し、編集スタッフでなければできないツアーを実施



プログラム名	ぼんださいん「わくわく&ドキドキ」ツアー
実施日	10/27、11/3、11/10、11/24、12/1
会場	中心市街地、鉄輪
料金	無料
来場者数	21名
実施内容	ボランティア・サポーター「ぼんださいん」がガイドとなってご案内する作品鑑賞&まち歩きツアー。立命館アジア太平洋大学に通う学生ボランティア・スタッフが「混浴温泉世界 2012」の会場とおすすめスポットを案内した。



プログラム名	English guide tour
実施日	会期中不定期に開催
会場	中心市街地
料金	無料
来場者数	23名
実施内容	当フェスティバル事務局の外国人スタッフが案内人となり、英語で作品解説を実施



プログラム名	おもちゃの部屋
実施日	10/18 - 10/31
会場	トキハ別府店地下1階
料金	無料
来場者数	384名
実施内容	アーティストが手作りしたおもちゃで0歳から楽しめる場所をつくった。通常はplatform 01で開催しているが、今回はトキハ別府店地下1階にて開催



2-4. 市外県外との連携

実施内容

・来場者に近隣地域も合わせて楽しんでもらうことを目的に、近隣地域で活動するパートナーに同時期に開催される展覧会などを紹介してもらい、それを公式ガイドブック「旅手帖 beppu」に掲載した。また、大分県内の情報は合わせて公式リーフレット「ARTRIP」にも掲載した。また一部の掲載イベントに「混浴温泉世界 2012」のパスポート型チケットを提示する、特典が受けられるようにした。

・「旅手帖beppu」に掲載した、糸島芸農と熊本市現代美術館の関係者がそれぞれ、「混浴温泉世界 2012」と「ベップ・アート・マンス 2012」の鑑賞ツアーを実現した。

	地域	掲載イベント（開催場所）	特典・プレゼント
県内	国東半島	国東半島アートプロジェクト2012（国東市、豊後高田市）	アートツアー参加料金のディスカウント
	大分市	佐脇健一展「未来の記憶」（大分市美術館）	※クーポン型金券BPの利用可能
		「吉村正郎とその仲間達展」アートブラザ	オリジナルポストカード
		サロントーク、ワークショップ（県立美術館まちなか支局）	オリジナルグッズ
		農業家・河野頼道 AGRICULTURAL DESIGN—野菜畑の設計図—（8gallery）	オリジナルポストカード
		わざわざの日（wazawaza）	プレゼント
	由布市	中野紀三郎展 永遠なる生命・永武作品展（由布院駅アートホール）	オリジナルポストカード
		深堀知子陶展／さいとうあきこイラスト展・コーダヨーコイラスト展／LINGONクッキー展（ギャラリーブルーバレン）	グッズ
		ひょうたんランプ展／右下誠イラスト展、竹下洋子ニット展／はやしのりこバッグ展（ギャラリーあり）	オリジナルポストカード
県外	福岡県	糸島芸農（糸島市）	芸農バッジ
	熊本県	生きる場所 ボーダーレスの空へ展、熊本市現代美術館開館10周年記念イベント（熊本市現代美術館）	先着30名様を無料招待
	鳥取県	暮らしとアートとコノサキ計画（鳥取県内各所）	コノサキバッチプレゼント
	北九州市	ORIGIN+ORIGIN part2 -BSS-（Operation Table, 八万湯）	八万book割引
		街じゅうアート in 北九州2012 ART FOR SHARE（北九州市）	街じゅうアート in 北九州2012参加作家のデザイングッズ

※クーポン型金券BPについては、73ページを参照。

2-5. 来場者について

(1) 来場者数

・会期中の総来場者数は、117,348人（当初見込み：100,000人）であった。

※当初見込みの算出は、「混浴温泉世界 2009」開催時の来場者数92,000人を参考に算出した。

・来場者数の測定は、スタッフが常駐した会場ではカウンターを用い実数を測定し、公共空間に設置された作品は正確に鑑賞者数を測定することができないため、交通量による統計情報や、運営管理者による集計データを元に推定値として算出し測定した。

会場別鑑賞者数

	人数	スタッフ常駐	公共空間設置作品
PROJECT 01	7,622	浜脇サロン、浜脇長屋	旧遊郭の中庭、東蓮田温泉前、長覚寺上
PROJECT 02	34,330	楠銀天街の一店舗	楠銀天街全体 ※1
PROJECT 03	7,006	地下街	鉄輪上富士屋旅館
PROJECT 04	3,168	永久別府劇場（混浴ゴールデンナイト！の入場者数も含む）	
PROJECT 05	3,217	トキハ別府店	
PROJECT 06	3,645	餅ヶ浜栈橋	
PROJECT 07	45,608	別府タワー1階	別府タワーネオン ※2、ソルパセオ商店街、やよい天狗通り ※3
PROJECT 08	5,984	富士屋Gallery一也百	鉄輪路地
マイケルリン壁画	6,768	platform04	別府国際観光港 ※4
合計	117,348		

※1 楠銀天街：楠銀天街入り口(秋葉通りたばこ屋前)440名、楠銀天街入り口(ソルパセオ出口)3,016名> 合計3,456名
>>> 15%(518名)×56日間 >>> 29,008名

楠銀天街は受動的に目に入ってくる展示物のため15%で換算。なお楠銀天街の公演日は換算しない。

※2 別府タワーネオン：10号線北浜海岸駐車場前1,476名、10号線大分交通待ち合わせ所1,235名、タワー前駐車場256名 合計2,967名 >>> 15%(=445名)×58日間 >>> 25,810名

別府タワーは受動的に目に入ってくる展示物のため15%で換算（タワーは車からの通行もあるので30%で換算したが、夜間のためのためにその50%の15%に決定）

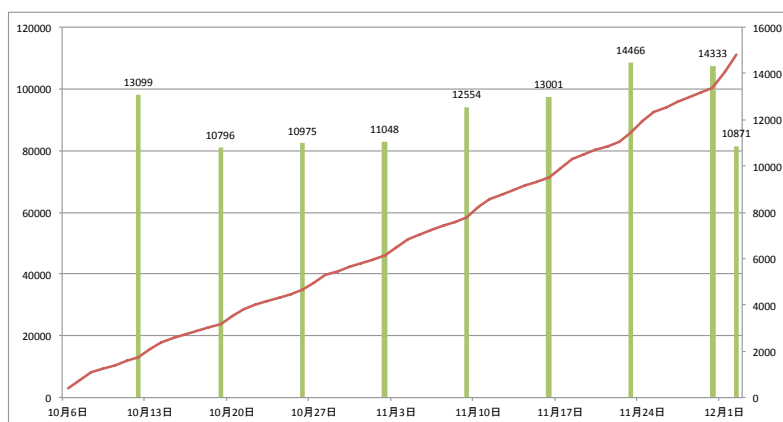
※3 ソルパセオ銀座、やよい天狗通り：ソルパセオ銀座事務所前2,183名、やよい天狗通りにある「おの青果」前930名> 合計3,113名 >>> 10%(311名)×58日間 >>> 18,038名

ソルパセオ銀座およびやよい天狗通りの見立て細工は能動的に見ることが前提なので10%で換算

※4 管理者である大分観光サービスからの回答によると、別府国際観光港2階の利用者は2ヶ月で約10,000人。2階乗船口にマイケル・リンの作品キャプションの設置しているため、利用者の60%が作品鑑賞をしたとして算出。

入場者推移

- ・下記の棒グラフは、1週間ごとの来場者の合計人数を示し、折れ線グラフは来場者の累計を示している（但し、一番最後の棒グラフは12月1日と2日の2日間を示している）。
- ・11月に入ってから徐々に一週間の来場者数が増えてきて、12月の2日間は、10月半ばの1週間に匹敵する来場者があった。



(2) 来場者アンケート集計結果

- ・会期中、来場者に下記の質問を記したアンケートを実施した。回収枚数は1,030枚。2009年の設問と同じものについては並列し掲載する（2009年の回収枚数は727枚）。

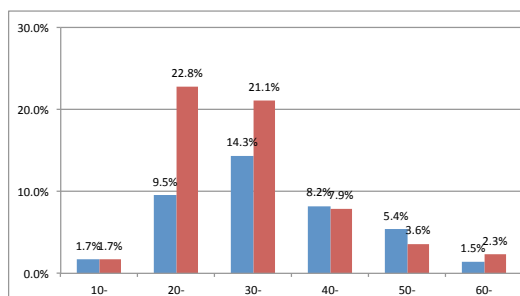
年齢、性別、職業、居住地、滞在期間

1. 今回のイベントをどこで知ったか（3つまで）
2. 2009年に開催された「混浴温泉世界」には参加したか
3. 国内外で開催されるアートフェスティバルへの参加状況
4. 今回の展覧会の評価
5. 4の理由
6. 混浴温泉世界と同時開催した、ベップ・アート・マンスには参加したか
7. 大分県の国東半島で11月3日～25日に開催された「国東半島アートプロジェクト2012」へ参加したか
8. クーポン型金券「BP」を加盟飲食店、または温泉施設で利用したか

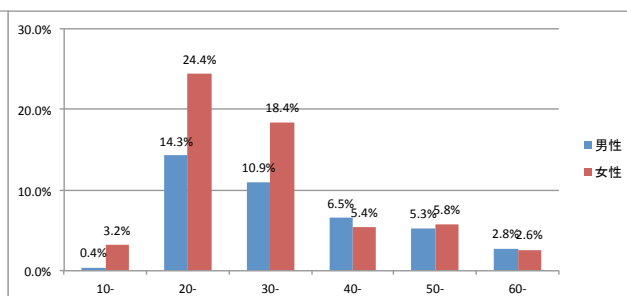
年齢、性別

- ・2009年と同じく、20代女性が最も多い来場者層であった。また、男性は前は20代が多かったのに対し、今回は30代の男性が最も多かった。

2012



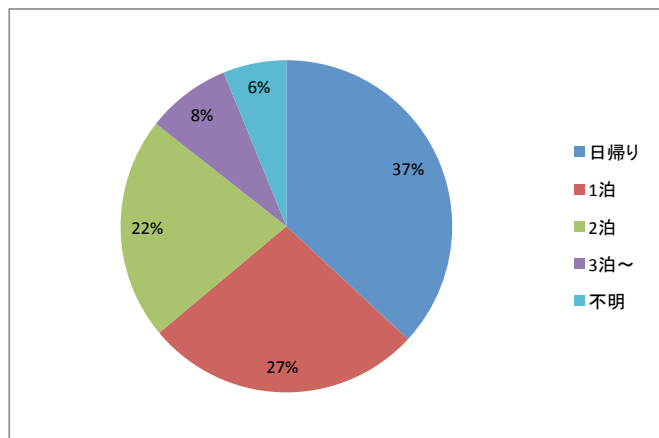
2009



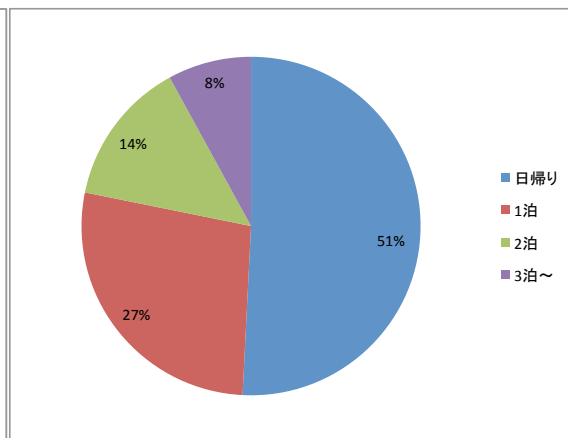
滞在期間

・2009年に比べて日帰り客が減少し、宿泊客が増えた。特に2泊した方が8%ほど伸びており、週末などを利用して来別された方が2009年より多かったことがわかる。

2012



2009

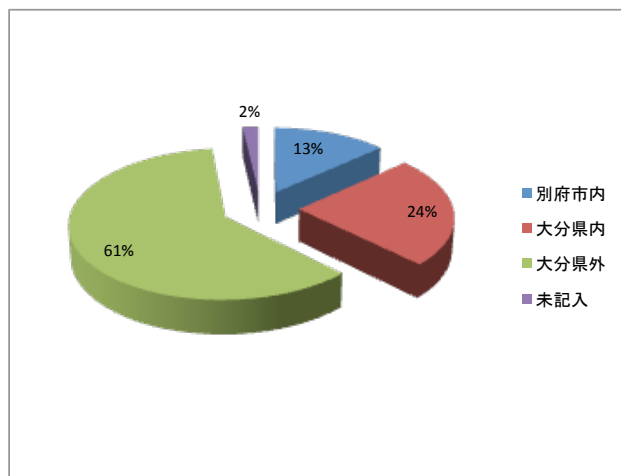


居住地

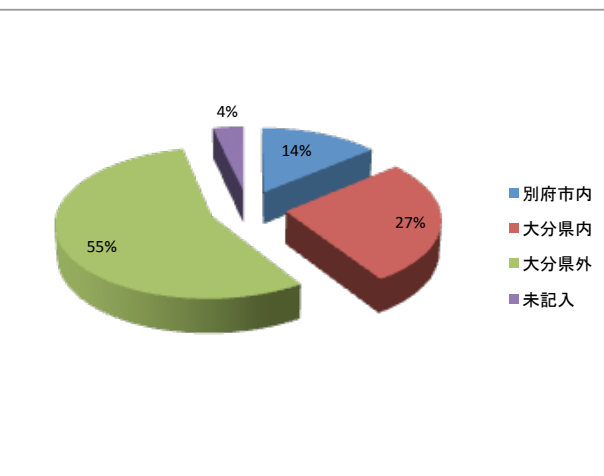
・別府市内からの参加者比率は2009年と同じだが、大分県内からの来場者が微減し、県外からの来場者が60%を超える結果となった。前回の滞在期間が増えたのは、県外からの来場者が増えたことに起因すると考えられる。

・県外の来場者の地域別内訳を見ると、前回とほぼ同じく九州・沖縄、関東、近畿の順となった。

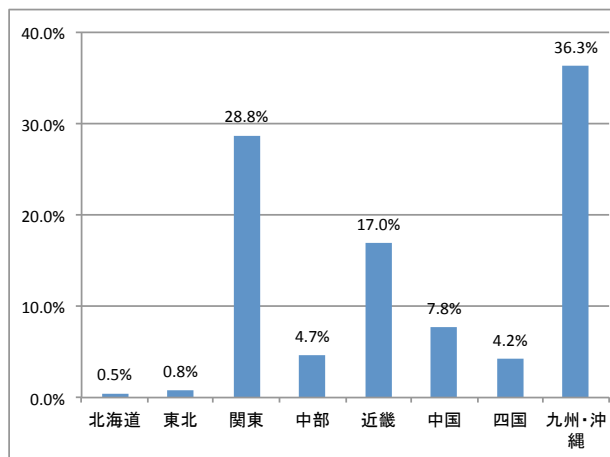
2012



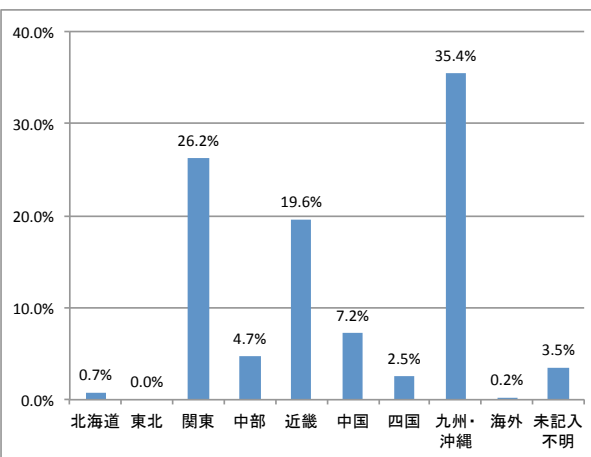
2009



2012



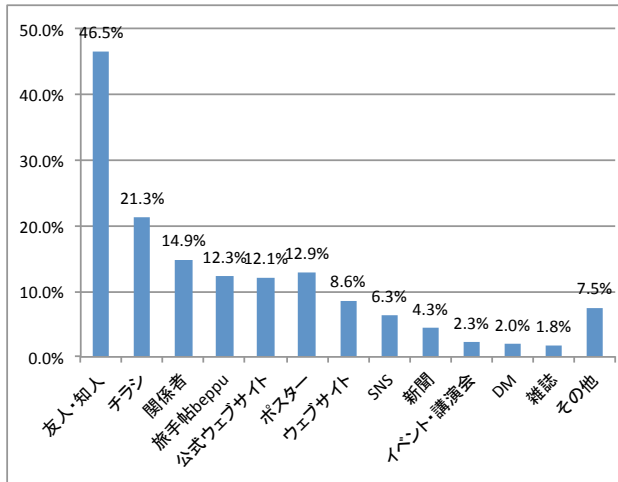
2009



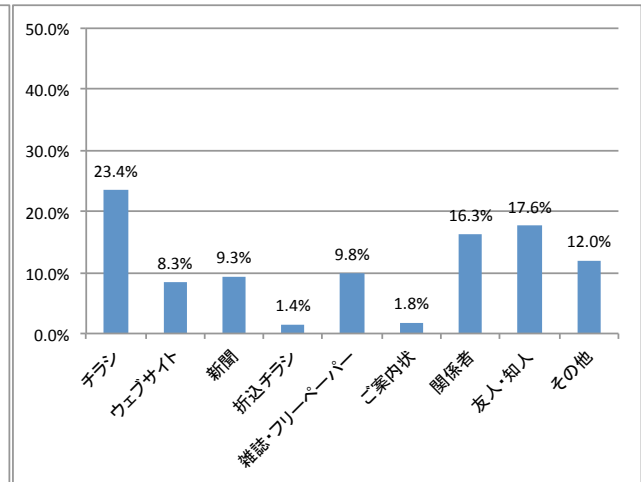
1. 今回のイベントをどこで知ったか（3つまで）

・前回と比較して、友人・知人から知ったという回答が46.5%と最も多かった。20代30代の来場者が多いことから、FacebookなどのSNSを通じて友達から知ったという人も多数いると思われ、今後「口コミ」による広まりがこれまで以上に重要になってくることと思われる。

2012



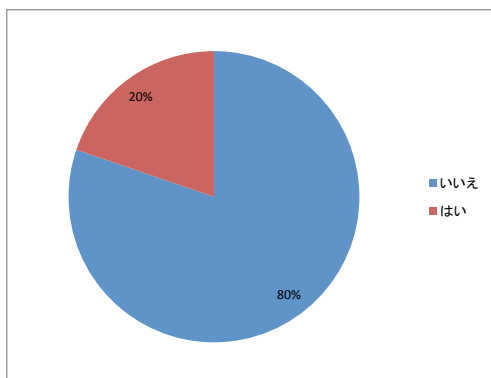
2009



2. 2009年に開催された「混浴温泉世界」には参加したか。

・ほとんどの参加者が新規であり、2009年からのリピーターは20%と少なかった。

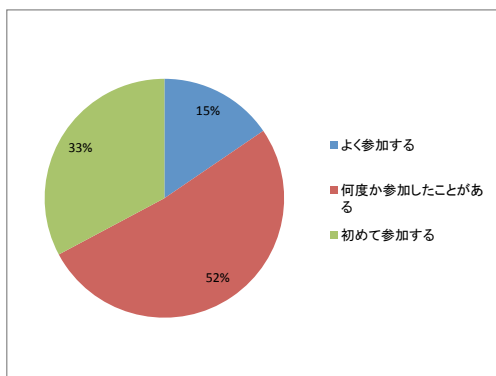
2012



3. 国内外で開催されるアートフェスティバルへの参加状況

・来場者の65%が他の地域で開催されるアートフェスティバルに参加したことがあると回答した。アートフェスティバルの参加者は、地方開催のプロジェクトでも関心のあるプロジェクトだとわざわざ訪れることがわかる。

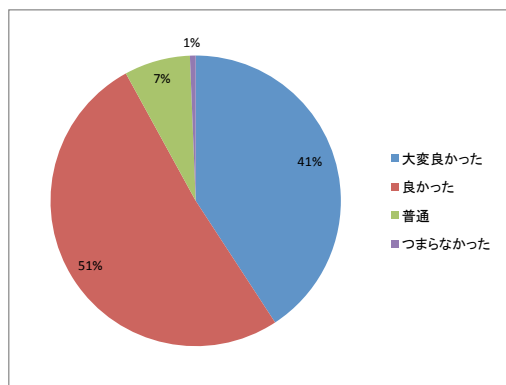
2012



4. 今回の展覧会の評価

・アンケート参加者の90%以上が、フェスティバルに対して「大変良かった」または、「良かった」と回答した。

2012



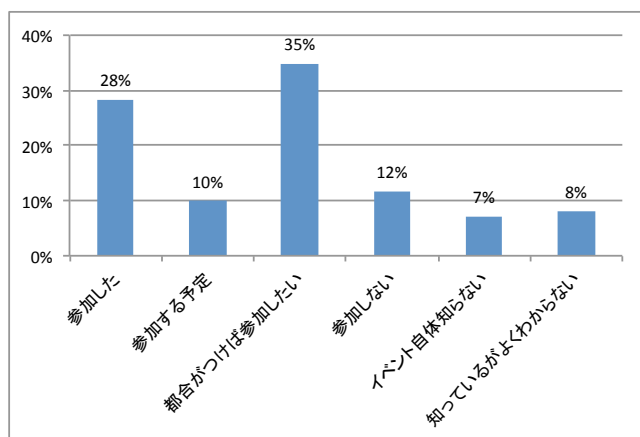
5. 4の理由

- 街じゅうに色々な作品が隠れていておもしろい。
- 街の中を回遊するオリエンテーリングのようで面白かった。
- 「アート」に関心を持てそうである。
- こういうイベントがないと別府にきてみようとは思わないので、キッカケになってよかった。
- 3年前と比較してインパクトに欠ける印象がある。
- 前回に比べて人の顔が見える感じがあって良かった。
- 別府の新たな一面がみれた。
- アートがよくわからなかったけど、なんとなく楽しかった。

6. 「混浴温泉世界」と同時開催した、「ベップ・アート・マンス」には参加したか

・参加した方を含め参加意欲のある方が70%を超えた。「混浴温泉世界」のお客さんに「ベップ・アート・マンス」を楽しんでもらいたいというこちらの意図がうまくつながったと考えられる。

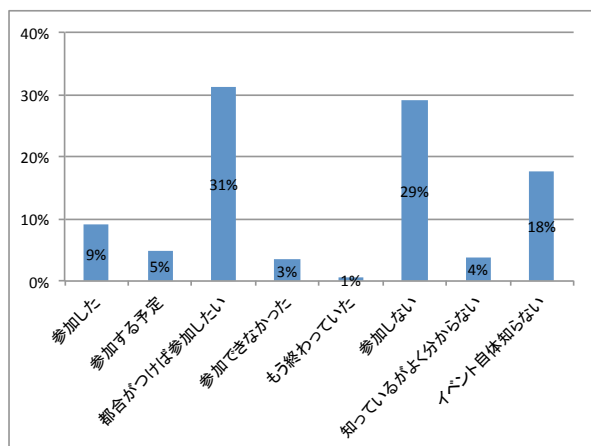
2012



7. 大分県の国東半島で11月3日～25日に開催された「国東半島アートプロジェクト2012」へ参加したか

- ・参加した方を含め、参加意欲のある方が50%程度となった。
- ・開催が土、日、祝に限定されていたこと、参加人数に上限があったことから、参加しない(できない)という方も多かった。

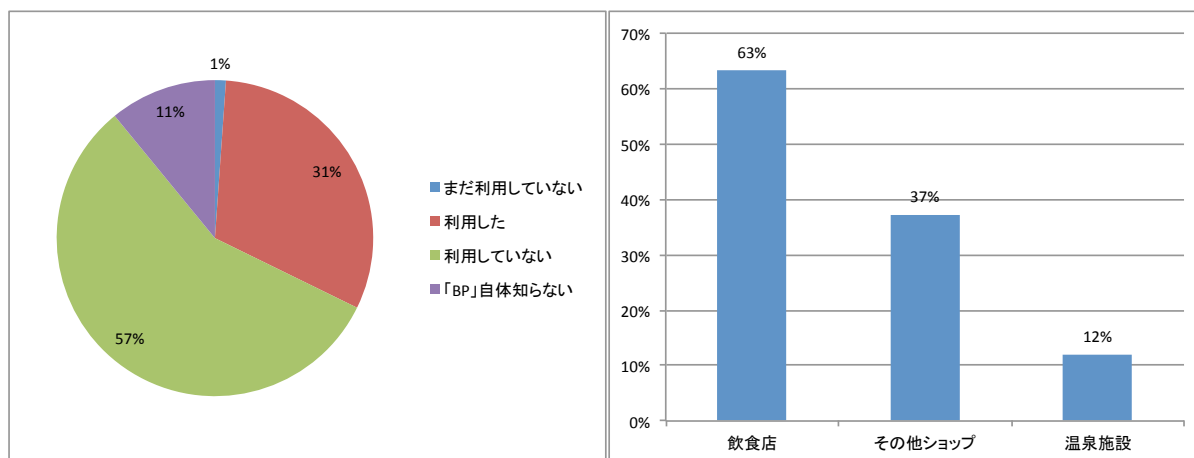
2012



8. クーポン型金券「BP」を加盟飲食店、または温泉施設で利用したか

- ・アンケート回答者のうち、BPの利用度は、30%程度にとどまった。
- ・クーポン利用者の60%以上が飲食店で使用しており、温泉施設での利用は10%程度であった。

2012



2-6. 運営について

(1) 共通鑑賞券・個別鑑賞券販売数

共通鑑賞券

- ・共通鑑賞券は、「混浴温泉世界 2012」の全ての作品が鑑賞でき、また各会場にて参加アーティストがデザインしたオリジナルスタンプを押印できるパスポート型のチケットを作成した。
- ・共通鑑賞券+個別鑑賞券を合計すると、販売枚数は目標枚数を超えた。ただ、内訳としては共通鑑賞券の販売枚数が2,324枚不足、金額で換算すると、639,400円目標を下回った。
- ・一方1枚500円の個別鑑賞券（ココダケ券）は目標販売数の7倍以上の売上げとなり、売上げが伸びた要因は永久別府劇場での利用が多かったことが挙げられる。

・共通鑑賞券の前売りと当日券の販売価格、個別鑑賞券の金額

	共通鑑賞券					個別鑑賞券
	大人	大学生・専門学校生	高校生	中学生以下	障がい者	ココダケ券
前売り	1,700円	1,600円	1,500円	無料		—
当日	2,000円	1,900円	1,800円			500円

販売枚数（共通鑑賞券は大学生・専門学校生、高校生など含む）

		共通鑑賞券		共通鑑賞券計	個別鑑賞券	共通鑑賞券+個別鑑賞券 合計
		前売り	当日		ココダケ券	
目標	枚数	2,200枚	7,800枚	10,000枚	400枚	10,400枚
	金額	¥3,740,000	¥13,140,000	¥16,880,000	¥200,000	¥17,080,000
実績	枚数	1,041枚	6,635枚	7,676枚	2,963枚	10,639枚
	金額	¥1,765,600	¥13,193,500	¥14,959,100	¥1,481,500	¥16,440,600

販売枚数内訳

		前売り		当日	
		枚数	金額	枚数	金額
共通鑑賞券	大人	1,005枚	¥1,708,500	6,314枚	¥12,628,000
	大人特別	—	—	55枚	¥93,500
	大学生・専門学校生特別	—	—	108枚	¥172,800
	大学生・専門学校生	31枚	¥49,600	148枚	¥281,200
	高校生	5枚	¥7,500	10枚	¥18,000
共通鑑賞券計		1,041枚	¥1,765,600	6,635枚	¥13,193,500
個別鑑賞券	ココダケ券	—	—	2,963枚	¥1,481,500
合計金額		¥16,440,600			

※大人特別は、会期前に予約をした人に対して適応し、会期中前売価格の1,700円で販売。

※大学生・専門学校生特別は、会期前に予約をした人に対して適応し、会期中前売価格の1,600円で販売。

(2) ボランティアの状況

- ・温泉の管理をする番台さんから連想し、ボランティアを「ぼんだいさん」と名付けた。
- ・ボランティアはのべ660名が参加した。このうち226名が今回の新規登録者となった。なお、2009年の混浴温泉世界開催時は281名の新規登録があり、2009年と比較すると20%ほど新規登録者は少なかった。
- ・新規登録者の出身地は11都道府県と海外は1カ国(フランス)であった。
- ・登録した「ぼんだいさん」のうち約80%が女性で、平均年齢は23歳だった。
- ・遠方からの「ぼんだいさん」には、NPO法人 BEPPU PROJECTが管理している清島アパートを宿泊場所として提供。

性別	人数
男性	43
女性	183

平均年齢	23.1歳
------	-------

職業	人数
専門学校生	2
短大生	9
大学生	100
大学院生	4
その他学生	1
専業主婦	1
家事手伝い	3
会社員	15
公務員	3
自営業	3
フリーター・アルバイト	11
その他	11
未回答	63

都道府県名	人数
東京都	2
愛知県	2
滋賀県	1
京都府	6
兵庫県	2
広島県	1
愛知県	1
福岡県	8
熊本県	1
大分県	200
鹿児島県	1
フランス	1
合計	226

第3章 開催記録2 「ベップ・アート・マンス 2012」

3-1. 企画概要

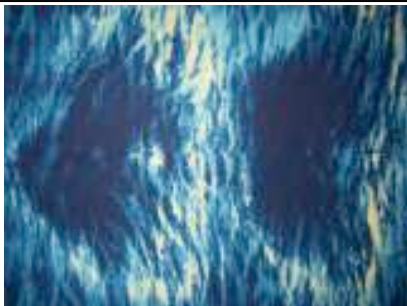
企画概要

「ベップ・アート・マンス」とは、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会が主催者となり、10/6から12/2までの2ヶ月間、別府で開催される様々な文化事業を紹介し、開催を支援する登録型のプラットフォーム事業である。2010年から毎年開催され、例年は11月の1ヶ月を開催期間とするが、今回は「混浴温泉世界 2012」の開催にあわせて2ヶ月間となった。小規模文化団体の育成・支援を目的に広報協力、事務局業務代行、企画立案から実現に向けたサポートを行うことで、市民の主体的な参画を促進し、別府市における芸術文化の振興と活力あふれる地域の実現を目指す取り組みである。

3-2. 実施団体・プログラム

- ・今回は全部で、122団体が参加し、148プログラムが別府市内各所で開催された。
- ・来場者合計は、53,736人であった。なお、下記のプログラム一覧の中で、参加人数が記入されていないものは、実施者からの届けがないもので来場者数に加算していない。

実施者	ギャラリー&ピッツェリア花民	
プログラム	花民 押し花教室 作品展	
会期	9/27-10/8	
会場	ギャラリー&ピッツェリア花民	
料金	無料	
来場者数	282	
実施内容	押し花教室の生徒の作品展示。花束や景色などがモチーフとなった作品が並んだ。	
実施者	ギャラリー&ピッツェリア花民	
プログラム	Space of photograph & bamboo Art	
会期	10/11-10/16	
会場	ギャラリー&ピッツェリア花民	
料金	無料	
来場者数	161	
実施内容	竹細工と写真作品の展示。	
実施者	ギャラリー&ピッツェリア花民	
プログラム	いけみかなこの『やっぱり旅はいいね』 第2回水彩画展	
会期	11/1-11/12	
会場	ギャラリー&ピッツェリア花民	
料金	無料	
来場者数	237	
実施内容	旅行で訪れたスペインを中心に、別府やいろんな町の風景をスケッチした作品展。	

実施者	ギャラリー&ピッツェリア花民	
プログラム	芳賀信幸 藍染展草木染めを知る	
会期	11/1-11/12(11/13ワークショップ)	
会場	ギャラリー&ピッツェリア花民	
料金	無料(ワークショップ15BP/1,500円)	
来場者数	185	
実施内容	藍染め作品の展示。最終日には芳賀氏による草木染めワークショップを開催。	
実施者	ギャラリー&ピッツェリア花民	
プログラム	辛島早苗 少女たち展	
会期	11/15-11/20	
会場	ギャラリー&ピッツェリア花民	
料金	無料	
来場者数	230	
実施内容	作者のまわりにいる様々な少女達をモデルにつくられた彫刻の作品展。	
実施者	ギャラリー&ピッツェリア花民	
プログラム	マーク・トラスコット 彫刻展	
会期	10/18-10/30	
会場	ギャラリー&ピッツェリア花民	
料金	無料	
来場者数	254	
実施内容	風や水など、自然から湧きだしたイメージをもとにつくった彫刻の作品展。	
実施者	CUE CAFE+	
プログラム	CUE CAFE+ 企画展 hira個展《2nd season》	
会期	10/1-10/20	
会場	CUE CAFE+	
料金	無料	
来場者数	200	
実施内容	絶滅危機にある動物達を中心としたイラストやグッズの展示。	
実施者	CUE CAFE+	
プログラム	CUE CAFE+ 企画展 二宮敏泰個展「Sketch of wander」	
会期	11/12-12/1	
会場	CUE CAFE+	
料金	無料	
来場者数	200	
実施内容	別府で生まれ育った作家自身が、市内各所で描いたドローイング作品の展示。	

実施者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム	BEPPU ART AWARD 2012 グランプリ受賞展	
会期	9/29-10/21(火曜休廊)	
会場	platform02	
料金	無料	
来場者数	1,643	
実施内容	40歳以下のアーティストを対象にしたアワードでグランプリを受賞した加瀬才子氏の個展。	
実施者	縷縷×手作り男子	
プログラム	Oitan' WAZA展	
会期	10/3-10/9	
会場	platform05 協力：BEPPU PROJECT	
料金	無料	
来場者数	350	
実施内容	県内在住作家の作品を扱うウェブショップ「縷縷」と、大分の作家の作品展。	
実施者	別府市立図書館	
プログラム	おはなしの会(キッズ) おはなしの会(ベビー)	
会期	10/13、11/10 10/25、11/22	
会場	別府市立図書館内、サザンクロス内	
料金	無料	
来場者数	68	
実施内容	子どもを対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせ、わらべうたを実施。	
実施者	別府市立図書館	
プログラム	ゆび人形を作って遊ぼう！	
会期	10/19	
会場	別府市立図書館内、サザンクロス内	
料金	無料	
来場者数	14	
実施内容	読み聞かせをする方を対象に、軍手でつくるゆび人形のワークショップを実施。	
実施者	別府市立図書館	
プログラム	温泉ダービー	
会期	10/30-11/4	
会場	別府市立図書館内、サザンクロス内	
料金	無料	
来場者数	2,912	
実施内容	地元サッカーチームの選手のサインなどを展示。対戦相手の山形からも資料協力があつた。	

実施者	別府市立図書館	
プログラム	大分を知ろう!	
会期	11/1-11/30	
会場	別府市立図書館内、サザンクロス内	
料金	無料	
来場者数	9,706	
実施内容	書庫に保管していた別府の郷土資料や宇宙撮影した別府の写真を展示。	
実施者	別府市立図書館	
プログラム	マンガをかいてみよう!	
会期	11/3	
会場	別府市立図書館内、サザンクロス内	
料金	無料	
来場者数	25	
実施内容	一つの題材をもとに、子どもたちがそれぞれのストーリーをつくった。	
実施者	手作り男子 (簀河原 淳・阿南維也・有馬晋平・大橋重臣・神野達也)	
プログラム	手作り男子のお店	
会期	10/5-10/9	
会場	S1ガレージ	
料金	無料	
来場者数	600	
実施内容	5人の作家による、陶芸や家具、木工作品の展示販売。	
実施者	風景と食設計室 ホー	
プログラム	発酵する部屋 fermentation room	
会期	10/5-10/8	
会場	PUNTO PRECOG	
料金	5BP/500円	
来場者数	80	
実施内容	発酵物や乾燥物を仕込み続け、来場者はそれを食してたのしめるという展示。	
実施者	宮本博行	
プログラム	now, here. where... いま、ここ。どこ・・・	
会期	10/5-10/11	
会場	紙屋公民館	
料金	無料	
来場者数	103	
実施内容	温泉の公民館の中で写真とアクリル板を使用した作品展示。	

実施者	オガセイラ	
プログラム	歌って踊ってはっちゃけまつり! ソルパセオナイト!!	
会期	10/6-10/7	
会場	ソルパセオ銀座 バー井上前	
料金	無料	
来場者数	30	
実施内容	商店街の中で、観客を巻き込みながらの、歌とパフォーマンスを披露。	
実施者	清島アパート使用クリエイター	
プログラム	清島オープンアパート2012 ★前夜祭★ ★クロージング★ produced by artist-run-space merdre	
会期	2012/10/5、12/1	
会場	清島アパート	
料金	15BP/1,500円	
来場者数	33	
実施内容	様々なアーティストの演奏やパフォーマンスを実施。自転車による発電実施した。	
実施者	清島アパート使用クリエイター	
プログラム	清島オープンスタジオ、清島放送局、 大人のための清島アパート体験会	
会期	10/6-12/2	
会場	清島アパート	
料金	1BP/100円	
来場者数	2,561	
実施内容	滞在制作をしている場所を一般公開し、ワークショップや案内ツアーなどを開催。	
実施者	清島アパート使用クリエイター	写真なし
プログラム	清島バーベキュー	
会期	10/12、19、26、11/2、9、16、23、30	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	266	
実施内容	来場者やアーティストなど、誰でも参加できるバーベキューを開催。	
実施者	EARTHSCAPE	
プログラム	EARTHSCAPE OPEN LAB	
会期	10/6-12/2	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	2,561	
実施内容	別府の歴史をテーマに、その地から発掘されたものや、育ったものを展示。	

実施者	竹下洋子	
プログラム	編むことの部屋	
会期	10/6-12/2	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	2,561	
実施内容	3名の「編み」のアーティストによる展示。来場者も編みの一部を体験できる企画。	
実施者	安部寿紗	
プログラム	お米展	
会期	10/6-12/2	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	2,561	
実施内容	紙屋公民館と清島アパートの2カ所で、お米をモチーフにした多数の作品を展示。演奏会の開催もあった。	
実施者	眞島竜男	
プログラム	Go Go 油地獄! ～別府で「天ぷら」2012～	
会期	10/6、12/2	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	16	
実施内容	食べ物以外の何かを来場者に持ってきてもらい、天ぷらにするというイベント。	
実施者	眞島竜男	
プログラム	キャンヴァス裏、別府市行	
会期	11/3、10、17、24	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	8	
実施内容	アーティスト、眞島竜男によるパフォーマンスイベント。	
実施者	池田ひとみ	
プログラム	ちいさい渦と花のあつまり	
会期	10/6-12/2	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	2,561	
実施内容	池田ひとみによる作品展示。毛糸をつかった作品が中心。	

実施者	池田ひとみ	
プログラム	アミコのカイ	
会期	10/12、26、11/9、23	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	8	
実施内容	様々なモチーフをつくる、編み物ワークショップ。参加者のスキルにあわせてモチーフは変更した。	
実施者	artist-run-space merdre	
プログラム	Dr.ペランのワークショップ	
会期	12/2	
会場	清島アパート	
料金	15BP/1,500円(お茶つき)	
来場者数	3	
実施内容	電動おもちゃを改造して、オリジナルおもちゃにするワークショップを開催。	
実施者	artist-run-space merdre	
プログラム	hARTsuden 〜発電するアート	
会期	10/6-12/2	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	2,561	
実施内容	様々な方法による発電装置の展示。来場者が発電を体験できる作品もあった。	
実施者	勝 正光	
プログラム	勝正光個展	
会期	10/6-12/2	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	2,561	
実施内容	えんぴつを使った作品の展示。プライベートスペースにも巨大作品を展示した。	
実施者	渡辺美帆子事務所	
プログラム	渡辺美帆子企画「もくもく演劇 ア・ラ・カルト」	
会期	10/16-12/2	
会場	清島アパート	
料金	無料	
来場者数	2,300	
実施内容	来場者の希望する「戯曲」を渡辺 美帆子が読むというパフォーマンス。	

実施者	別府現代芸術フェスティバル 「混浴温泉世界」実行委員会	
プログラム	別府現代芸術フェスティバル2012 「混浴温泉世界」	
会期	10/6-12/2	
会場	別府市内各所	
料金	無料	
来場者数	117,348	
実施内容	アートやダンスを含む、8つのプロジェクトを別府市内各所で開催。	
実施者	EARTHSCAPE×竹下洋子	
プログラム	re-pair展	
会期	10/6-12/2	
会場	中央市場公民館	
料金	無料	
来場者数	1,050	
実施内容	元共同風呂の公民館を使用し、その建物が持つ歴史を活かした展示を実施。	
実施者	APU-NEST × NPOたんご村	
プログラム	"遊 & me " ぼくらの見た大分展	
会期	10/6-10/14	
会場	ゆめタウン別府店 2階通路	
料金	無料	
来場者数	不明	
実施内容	福島からキャンプに訪れた子どもたちの様子を撮影した写真展。	
実施者	間崎麗子	
プログラム	リメイク作品、創作洋服、小物作品展	
会期	10/6-12/2	
会場	アトリエMasaki	
料金	無料(小物作り体験5BP/500円)	
来場者数	18	
実施内容	古布や着物を再利用したリメイク作品展示や、小物づくりワークショップを実施。	
実施者	有限会社エッチ美容室・共同制作者 清水貴之	
プログラム	ボッティチェリ オリエンターレ (Botticelli Orientale)	
会期	10/6-12/2	
会場	エッチ美容室ショーウィンドウ	
料金	無料	
来場者数	不明	
実施内容	竹細工とヘアウィッグのコラボレーション作品をショーウィンドウに展示。竹職人は清水貴之氏。	

実施者	オレクトロニカ	
プログラム	オレクトロニカ小品展	
会期	11/2-11/9 ※輸送時に作品破損がおこったため、会期を変更。	
会場	別府駅北高架商店街	
料金	無料	
来場者数	50	
実施内容	竹田市で開催された芸術イベントと関連づいた木工作品などの展示。	
実施者	毛糸系	
プログラム	糸かたりけり	
会期	10/6-10/21	
会場	アホロートル	
料金	無料	
来場者数	113	
実施内容	編みの作家2名による、毛糸作品の展示。期間中には公開制作も実施。	
実施者	大分県立芸術文化短期大学	
プログラム	大分県立芸術文化短期大学 企画「ideal Fit」 藤田洋三 写真展 - 失われた街・町(マチ)を探し求めて -	
会期	10/6-10/14	
会場	聴潮閣	
料金	無料	
来場者数	450	
実施内容	芸術短期大学の学生勇士による展示や演奏会、写真家 藤田洋三氏の写真展を開催。	
実施者	㈱別府ステーション・センター	
プログラム	高架下drawing	
会期	10/6-12/2	
会場	別府駅北高架商店街	
料金	無料	
来場者数	約200名	
実施内容	寺山 香氏による壁画の公開制作。高架下のあらゆる面に毎日絵が描かれていった。	
実施者	棚田・里山景観研究所	
プログラム	竹内康訓写真展「内成物語」	
会期	10/6-12/2	
会場	棚田・里山景観研究会	
料金	無料	
来場者数	75	
実施内容	四季折々の別府市内成地区の棚田風景を記録した写真展。実施者自宅での開催。	

実施者	竹下洋子	
プログラム	竹下洋子の展示室	
会期	10/6-12/2	
会場	竹下洋子の展示室	
料金	無料	
来場者数	150	
実施内容	ニット作家 竹下洋子氏のアトリエ兼ショップでの展示。	
実施者	早川亜希子	
プログラム	チモとピーチ	
会期	10/6-10/8	
会場	ゆめタウン別府店 3 階 フードコート横通路	
料金	無料	
来場者数	不明	
実施内容	大きなサイズの布に描かれた、オリジナルキャラクターの物語を展示。	
実施者	日野 禎	
プログラム	日野タダシ個展	
会期	10/6-12/2毎週土日 ※10/27、11/23-25は除く	
会場	カオサン別府はまゆう 別館	
料金	無料	
来場者数	80	
実施内容	ゲストハウスの別館をギャラリースペースとし、絵画を展示。	
実施者	楊建華美術館長 平野芳弘	
プログラム	楊建華・平野芳弘 絵画・写真展	
会期	10/6-12/2	
会場	楊建華美術館	
料金	無料	
来場者数	300	
実施内容	楊建華氏および平野芳弘氏の作品や、中国美術の作品の展示。	
実施者	別府溝部学園短期大学 ライフデザイン総合学科 グラフィックデザインコース	
プログラム	別府溝部学園短期大学 グラフィックデザイン展	
会期	10/6-10/16	
会場	トキハ別府店 3 階 連絡通路	
料金	無料	
来場者数	200	
実施内容	グラフィックデザインコースを卒業した、若手クリエイターの作品展示。	

実施者	雪ん子クラブ・古賀登喜子・奈良芳和・真知子	
プログラム	創作人形と書のコラボ	
会期	10/6-10/12、11/5-11/9	
会場	茶房たかさき、platfrom01	
料金	無料	
来場者数	168	
実施内容	手作り人形や洋服、オリジナルの詩を書いた「書」などの展示。	
実施者	別府市美術館	
プログラム	別府市美術館 常設展	
会期	10/6-12/2	
会場	別府市美術館	
料金	無料	
来場者数	853	
実施内容	大正から昭和にかけて活躍した画家たちの作品をはじめ、郷土作家の作品を展示。	
実施者	ベップユケムリ大学地域探検学部 (NPO法人 ハットウ・オンパク)	
プログラム	「昼だけど、のんだくれつまみ食いご当地グルメツアー」	
会期	10/6	
会場	別府市内各所	
料金	20BP/2,000円	
来場者数	10	
実施内容	ご当地グルメをつまみながら町を巡る「バル的まちあるき」のプレイベントを実施。	
実施者	Slowly Market	
プログラム	Slowly Market	
会期	10/6-12/2毎週土曜日	
会場	別府駅北高架商店街	
料金	無料	
来場者数	400	
実施内容	毎週土曜日に開催されるフリーマーケット。古本や洋服、食器などが並んだ。	
実施者	大分香りの博物館	
プログラム	世界に一つだけの香水づくり	
会期	10/6-12/2	
会場	大分香りの博物館	
料金	大人5BP/500円、小・中学生2BP/200円、高・大学生3BP/300円、調香体験20BP/2,000円	
来場者数	13	
実施内容	自分だけのオリジナルの香水を調合することができるワークショップ。	

実施者	株式会社 都留紙器工業所	
プログラム	貼箱作り体験	
会期	10/6、27、11/10	
会場	都留紙器工業所内 工場	
料金	10BP/1,000円	
来場者数	13	
実施内容	実際に工場の中で、オリジナルの箱作りを体験できるワークショップを開催。	
実施者	三浦 温	
プログラム	赤い冬仕たく	
会期	10/6-12/2毎週土曜日	
会場	Ontenna	
料金	無料	
来場者数	不明	
実施内容	クリスマスに向け好きなものを赤色に塗り、会場に設置していく参加型イベント。	
実施者	対話工房	
プログラム	触れられる未来	
会期	10/6-10/12	
会場	platform01	
料金	無料(トーク5BP/500円)	
来場者数	不明	
実施内容	被災地宮城県女川町の今を伝える写真展やトークイベントの開催。	
実施者	別府八湯ウォーク連絡協議会	
プログラム	別府八湯ウォーク	
会期	10/6-12/2随時	
会場	別府市内各所	
料金	5BP/500円～20BP/2,000円	
来場者数	不明	
実施内容	通年開催されている、別府市内のあらゆる場所を地元ガイドの案内で巡るまち歩き。	
実施者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム	おもちゃの部屋	
会期	10/18-10/31	
会場	トキハ別府店 地下1階	
料金	無料	
来場者数	384	
実施内容	作家オリジナルのおもちゃを体験できる、参加型イベント。	

実施者	真道具 念蔵	
プログラム	別府温泉 出張茶会	
会期	10/6-12/2不定期	
会場	別府市内各所	
料金	5BP/500円	
来場者数	不明	
実施内容	高架下や公演あな町のあらゆる所で振る舞われる、移動式のお茶会。	
実施者	OTOnaARTwithがらす庵	
プログラム	BEPPUで唯一の映画館ヲ想フプロジェクト	
会期	10/7	
会場	別府ブルーバード会館3階	
料金	前売り35BP/3,500円、当日45BP/4,500円(ドリンク付)	
来場者数	30	
実施内容	別府で唯一の映画館での、音楽と映像イベント。この映画館にちなんだ映画も作成される予定。	
実施者	silent voice	
プログラム	『なみのおと』『鳥の色 静かな声』同時上映会&監督トーク	
会期	10/8	
会場	別府ブルーバード会館3階	
料金	前売り・大分県民10BP/1,000円、一般当日12BP/1,200円、大・高・中・60歳以上8BP/800円、小学生以下無料	
来場者数	不明	
実施内容	津波の影響を受けた三陸沿岸部に暮らす人々の対話を記録した、映画上映およびトーク。	
実施者	別府亀川郵便局	
プログラム	亀川ポストギャラリー2012	
会期	10/9-11/30	
会場	亀川郵便局	
料金	無料	
来場者数	不明	
実施内容	地域の方々による、絵はがきなどの作品展。郵便局内の一角がギャラリーに。	
実施者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム	ベップユケムリ大学 アート学部 混浴温泉世界ゼミ	
会期	10/6-12/2毎週火曜日	
会場	platform03 まちなかカフェ	
料金	5BP/500円	
来場者数	177	
実施内容	毎回ゲストを迎え、自身の活動や別府についての思いを語っていただく企画。	

実施者	オリエンタルヒーリングサロン KAGURA	
プログラム	ジョナサンの切り絵展in KAGURA	
会期	10/9-11/2	
会場	オリエンタルヒーリングサロン KAGURA	
料金	無料	
来場者数	28	
実施内容	切り絵師ジョナサンの切り絵作品を、古民家のヒーリングサロン内に展示。	
実施者	IDIOT SAVANT theater company	
プログラム	枕辺の蠅- IDIOT SAVANT theater company	
会期	10/10-10/14	
会場	COPPER RAVENS	
料金	大人30BP/3,000円、学生25BP/2,500円、小人15BP/1,500円	
来場者数	20	
実施内容	今回の公演のために事前に別府を訪れ、そこにちなんだ物語を制作・上演した。	
実施者	勝 正光	
プログラム	勝正光の絵画教室	
会期	10/10、11/14	
会場	別府市南部児童館	
料金	無料	
来場者数	23	
実施内容	児童館の子どもを対象に、鉛筆画のワークショップを開催した。	
実施者	蔵ギャラリーしばた	
プログラム	あおひとくさ <青人草>寺山香個展	
会期	10/11-10/18	
会場	蔵ギャラリーしばた	
料金	無料	
来場者数	105	
実施内容	北高架下でも壁画を描いていた、寺山 香氏の作品展示。	
実施者	蔵ギャラリーしばた	
プログラム	井 愛子 布花展 <<薔薇の音楽会>>	
会期	10/22-10/28	
会場	蔵ギャラリーしばた	
料金	無料	
来場者数	110	
実施内容	数々の種類やサイズの布でつくられた「花」の作品展示。会場には本物の花のような作品が数多く並んだ。	

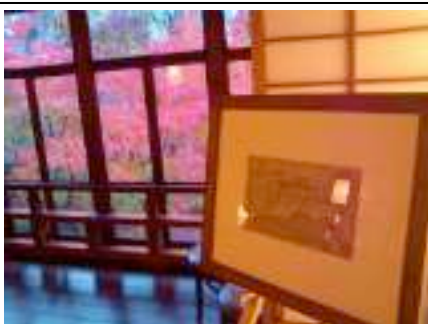
実施者	蔵ギャラリーしばた	
プログラム	大力 瞳 針のおしゃべり	
会期	11/1-11/7	
会場	蔵ギャラリーしばた	
料金	無料	
来場者数	120	
実施内容	古布を使用した、タペストリーやベッドカバーなどの作品展示。	
実施者	蔵ギャラリー しばた	
プログラム	かわくぼみちこ 書×絵 Lines	
会期	11/13-11/20	
会場	蔵ギャラリーしばた	
料金	無料	
来場者数	130	
実施内容	書と絵を融合させた作品の展示。ざるや鉄筋など、作品の素材も珍しいものが使用された。	
実施者	蔵ギャラリーしばた	
プログラム	柴田あやめ <遊ぶ>	
会期	11/26-12/2	
会場	蔵ギャラリーしばた	
料金	無料	
来場者数	120	
実施内容	石こうやダンボールなどを使った人形や絵の展示。	
実施者	CI部(ちぶ)	
プログラム	おもちゃ箱「♪」ワークショップ	
会期	10/13-10/14	
会場	トキハ別府店 4階 連絡通路	
料金	大人1BP/100円	
来場者数	7	
実施内容	来場者も参加できるワークショップ形式のパフォーマンスプログラムを実施。	
実施者	神戸大アートマネージメント研究会	
プログラム	混浴“学生”世界Ⅲ～まち探りの2日間～	
会期	10/13-10/14	
会場	紙屋公民館、platform01	
料金	ワークショップ5BP/500円	
来場者数	18	
実施内容	まち歩きを通しての作品制作をするワークショップや、トークイベントの実施。	

実施者	神 智子、Julia Davies、菅 宣子	
プログラム	～Healing Day～ 心と身体を感じる一日	
会期	10/13-10/14	
会場	長覚寺	
料金	20BP/2,000円	
来場者数	57	
実施内容	お寺の本堂にて、ヨガとクリスタルボールのワークショップを開催。ワーク終了後はお茶を飲みながらベリーダンスの鑑賞。	
実施者	孝美	
プログラム	顔に関するプライベートレッスン2012	
会期	10/13、10/25	
会場	platform01	
料金	5BP/500円、25BP/2,500円	
来場者数	5	
実施内容	メイクアップについてのプライベートレッスンや、グループ講座を開催。	
実施者	梅本美術研究所 子ども絵画教室	
プログラム	梅本美術研究所 子ども絵画教室 作品展	
会期	10/13-10/21	
会場	ゆめタウン別府店 3階フードコート横通路	
料金	無料	
来場者数	270	
実施内容	教室に通う生徒による、自分の好きな別府の景色を描いた絵画展示。	
実施者	竹下洋子	
プログラム	Yoko Takeshita 2012 新作ニットコレクション	
会期	12.10.13	
会場	マルショク流川店 4階	
料金	10BP/1,000円(フード20BP/2,000円)	
来場者数	200	
実施内容	新作ニットを纏ったモデルのショー、音楽ライブ、食の融合イベント。	
実施者	藤原徹平＋ 横浜国立大学Y-GSA藤原スタジオ	
プログラム	BEPPU 2062	
会期	10/13-11/10	
会場	別府駅北高架商店街	
料金	無料	
来場者数	不明	
実施内容	50年後の別府をテーマに、建築家と学生による図面や模型展示の実施。	

実施者	Hui o Mau oli oli o Mapuana	
プログラム	Enjoy Hula in 別府Ⅲ	
会期	10/14	
会場	別府駅構内	
料金	無料	
来場者数	70	
実施内容	別府駅構内でのフラダンスパフォーマンス、今回で3度目の開催。	
実施者	カオリハ	
プログラム	ハナイロイロ	
会期	10/14、11/11	
会場	茶房たかさき、Antenna	
料金	10BP/1,000円	
来場者数	6	
実施内容	ドライフラワーを使って、オリジナルのリースを作成するワークショップ。	
実施者	これからの別府を考える市民グループ「指月会」	
プログラム	近代化遺産の別府3兄弟 (大分県最古のコンクリート建築)	
会期	10/15-10/29	
会場	別府中央公民館	
料金	無料	
来場者数	50	
実施内容	大分県内に残る古い建築物を中心に、別府の歴史についての写真および模型展示。	
実施者	亀カメ倶楽部 いちご会	
プログラム	亀の子茶屋 ランチの会	
会期	10/15	
会場	亀の甲公園	
料金	5BP/500円	
来場者数	78	
実施内容	地元食材を使用した、ランチの会。来場者にはランチのレシピも配布された。	
実施者	Rasevic Luka	
プログラム	The Taste of Black Mountain	
会期	10/18-10/24	
会場	platform01	
料金	無料	
来場者数	400	
実施内容	「書」に影響を受けた、モンテネグロ出身の学生による、絵画作品の展示。	

実施者	別府市観光協会	
プログラム	ベップユケムリ大学 ボランティア養成学部	
会期	10/19	
会場	別府中央公民館	
料金	無料	
来場者数	30	
実施内容	地域のボランティアガイドに向けて、「混浴温泉世界 2012」の総合プロデューサー山出によるトークを開催。	
実施者	kmac(Kumamoto Art Center)	
プログラム	おとなりさんサロン	
会期	10/20-10/21	
会場	紙屋公民館	
料金	5BP/500円	
来場者数	15	
実施内容	九州県内のアートイベントの紹介や、アーティストとの座談会を行うトークイベント。	
実施者	むっふDO	
プログラム	With 竹	
会期	10/20-10/28	
会場	Ontenna	
料金	5BP/500円	
来場者数	57	
実施内容	竹作品の展示や、オブジェや花瓶などを制作するワークショップを開催。	
実施者	Hula & Hawaiian things Makali'i	
プログラム	フラカヒコ(古典フラ)体験ワークショップ	
会期	10/20-10/21	
会場	長覚寺	
料金	無料	
来場者数	5	
実施内容	座ったままで行うフラ・カヒコ(古典フラ)ワークショップを寺の本堂で開催。	
実施者	陶芸家 大山博隆 と 絵描き 手塚聖香	
プログラム	陶と絵の二人展	
会期	10/20-10/28、11/10-11/14	
会場	トキハ別府店 3階連絡通路、茶房たかさき	
料金	陶芸ワークショップ10BP/1,000円～、夢絵30BP/3,000円	
来場者数	40	
実施内容	陶芸や絵画作品の展示の他、陶芸体験や自分の夢を描いてもらうプログラムを開催。	

実施者	元気のでるアート実行委員会 実行委員長 原野彰子	
プログラム	「元気の出るアート」 vol 8	
会期	10/21-10/30	
会場	ゆめタウン別府店 2階 連絡通路	
料金	無料	
来場者数	300	
実施内容	県内在住の障がいを持つ作家の作品展示。絵手紙や陶芸、機織りやパソコン画など様々。他にも県内各所を巡回した。	
実施者	fremingo	
プログラム	音と唄とかみしばい	
会期	10/22-10/28	
会場	CUE CAFE+	
料金	大人5BP/500円、小・中3BP/300円、小学生未満1BP/100円	
来場者数	40	
実施内容	別府を舞台にオリジナルのキャラクターが登場する、歌と紙芝居のパフォーマンス。	
実施者	みんな家族	
プログラム	みんな家族 コスモスミーティング	
会期	10/21-10/27	
会場	浜脇一丁目二区公民館	
料金	5BP/500円	
来場者数	50	
実施内容	古布をつかった織り物のワークショップや、雑貨などの展示販売。	
実施者	ポエムアート 咲夜三恵	
プログラム	第8回フォトポエム展 響きあう2	
会期	10/25-11/1	
会場	ゆめタウン別府店 3階フードコート横通路	
料金	無料	
来場者数	300	
実施内容	写真と自作の詩をコラボレーションさせたパネル作品の展示。	
実施者	こちカフェむすびの 河野健司 (糸永尚子・華つねまつ・恒松智美・ころころどんぐり)	
プログラム	1冊の絵本から	
会期	10/26	
会場	こちカフェむすびの	
料金	25BP/2,500円	
来場者数	不明	
実施内容	読み聞かせを行うためのレクチャーや、ブックスタンド制作のワークショップ。	

実施者	アンサンブルEGB	
プログラム	アンサンブルEGB 秋のコンサート	
会期	10/26	
会場	platform01	
料金	無料	
来場者数	30	
実施内容	フルートやギターによるアンサンブルで、童謡やハワイアン音楽を演奏。	
実施者	GENJIN PLAY	
プログラム	mono-tone cafe	
会期	10/27	
会場	B-Passage中央広場	
料金	無料	
来場者数	20	
実施内容	コーヒーカップに見立てた不思議なイヤホンで、別府にちなんだ音と音楽を聴く体験型プログラム。	
実施者	DABURA	
プログラム	DABURA、長覚寺に籠る	
会期	10/27-11/4	
会場	長覚寺	
料金	無料	
来場者数	68	
実施内容	建築家集団による模型展示や映像上映。寺の本堂内で開催された。	
実施者	瀬尾泰章	
プログラム	瀬尾泰章写真展 由布院美術館June 2012	
会期	10/27-11/18	
会場	佐藤溪美術館 蔵	
料金	無料	
来場者数	100	
実施内容	閉館になった由布院美術館を記録した写真展示。	
実施者	高橋鶴子	
プログラム	放浪の詩人画家 佐藤溪展	
会期	10/27-12/2	
会場	佐藤溪美術館 本館	
料金	6BP/600円	
来場者数	242	
実施内容	20年間に渡り由布院美術館で展示されていた、佐藤溪の作品展示。	

実施者	荻野僚介・木村太陽・眞島竜男	
プログラム	灰色	
会期	10/27-11/4	
会場	紙屋公民館	
料金	無料	
来場者数	50	
実施内容	荻野僚介、木村太陽、眞島竜男の3人による合同作品展。	
実施者	Ayu : Yoga Instructor 【collaboration with Hitomi : Aroma Therapist】	
プログラム	アロマヨガ	
会期	10/27	
会場	platform01	
料金	15BP/1,500円	
来場者数	不明	
実施内容	アロマセラピーとヨガを同時に体験できる体験型プログラム。	
実施者	世界に広めるらくがきPROJECT	
プログラム	世界に広めるらくがきPROJECT	
会期	10/27-10/28	
会場	楠銀天街内	
料金	無料	
来場者数	60	
実施内容	商店街の道に、チョークを使って自由にらくがきするワークショップ。	
実施者	無印良品	
プログラム	無印良品ワークショップ	
会期	10/27-10/28	
会場	無印良品 トキハ別府	
料金	無料	
来場者数	31	
実施内容	マグカップに絵を描き、オリジナルマグカップをつくるワークショップ。	
実施者	"シェイク・ユア・ソウル クリパル・ヨガダンス in 大分"	
プログラム	ダンシング イン ザ ストリート	
会期	10/28	
会場	トキハ別府店 1 階大屋根の下	
料金	無料	
来場者数	20	
実施内容	音楽にあわせて身体を動かす「ヨガダンス」を実施。	

実施者	レイジーシンデレラ	
プログラム	ドレスカフェ	
会期	10/28	
会場	富士屋Garell-一也百　ホール	
料金	50BP/5,000円	
来場者数	62	
実施内容	ウェディングドレスを纏い、プロのカメラマンに撮影してもらう体験型プログラム。	
実施者	炭谷宇紀子	
プログラム	清らかな Sensacion 光そよぐ風 祈り 微笑む 姫君たち	
会期	10/28	
会場	platform01	
料金	無料	
来場者数	300	
実施内容	心に残った様々な景色やものを撮影した写真の展示。来場者は写真を見て感じた言葉を隣に追加するという、参加型の展示。	
実施者	わくわくプロジェクト実行委員会	
プログラム	わくわく温泉めぐり	
会期	10/29-11/4	
会場	北部旅館街、温泉場(紙屋温泉ほか)、茶房たかさき、mabelleなど	
料金	5BP/500円(手ぬぐい&マップ付)	
来場者数	487	
実施内容	旅館街の協力をいただき、旅館ごとにアーティストが作品をつくり、湯巡りのように来場者が作品楽しむことのできる参加型プログラム。	
実施者	吉島真太郎	
プログラム	ある風景の中で	
会期	11/1-11/30	
会場	別府市南部児童館 2階ホール	
料金	無料	
来場者数	66	
実施内容	児童館のホールを展示会場とした、絵画作品の展示。	
実施者	鎌田新治	
プログラム	お絵描き箱	
会期	11/2-11/8	
会場	茶房たかさき	
料金	無料	
来場者数	25	
実施内容	部屋中をキャンバスに見立てて、好きな場所に絵を描いていく参加型プログラム。	

実施者	別府巡レッグウォーマーズ	
プログラム	ようこそ 別府へ!!!	
会期	11/3	
会場	B-Passage中央広場	
料金	無料	
来場者数	30	
実施内容	電車の到着に合わせて、電車から出てきたお客さまに向けてお迎えのダンスを披露。	
実施者	温泉音楽	
プログラム	音泉温泉 presents【別府温泉湯会】2012 Autumn	
会期	11/3	
会場	別府タワー 3階 USTREAMスタジオ	
料金	30BP/3,000円	
来場者数	220	
実施内容	ドレスコードは和装。ゲストにTOWA TEIなどを迎えた、温泉と音楽の融合イベント。	
実施者	上尾晃司	
プログラム	別府で活動している人達のお話会だよ!!	
会期	11/3	
会場	ウエオアートマンスルーム	
料金	無料	
来場者数	0	
実施内容	魅力的な生活をしている別府市民の方々に、プレゼンテーションを行ってもらうプログラム。来場者0のため、開催にはならなかった。	
実施者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム	KASHIMA2012	
会期	11/3-12/2	
会場	platform02、platform05	
料金	無料	
来場者数	2,848	
実施内容	2010年より3年間に渡り継続されてきたプロジェクトの成果発表展。	
実施者	古屋勝二	
プログラム	古屋勝二 写真展「コンパクトデジカメで撮るスナップショット」	
会期	11/3-11/10	
会場	トキハ別府店 4階 連絡通路	
料金	無料	
来場者数	100	
実施内容	スマートフォンやデジタルカメラで撮影した写真を中心とした展示。	

実施者	ブロックス写真部	
プログラム	フォトセッション作品展「べっぷ・まち・ひと・もの」	
会期	11/3-11/11	
会場	ゆめタウン別府店 3階フードコート横通路	
料金	無料	
来場者数	300	
実施内容	まち歩きを経て撮影された、数名の撮影者による別府の写真展。	
実施者	別府オダサク倶楽部	
プログラム	暮らしのアート講座「ichiba 市場的…」	
会期	11/3	
会場	井上酒造の直営酒店跡	
料金	10BP/1,000円	
来場者数	12	
実施内容	酒蔵の方を講師に、旧酒蔵で酒の選び方や楽しみ方についての体験講座。	
実施者	Meow(網中いづる 他)	
プログラム	「Meow」展 ー絵と本と洋服たちー	
会期	11/5-11/10	
会場	CUE CAFE+	
料金	無料	
来場者数	不明	
実施内容	網中いづる、甲斐みのり、坂内麻理子による絵や洋服の展示販売。	
実施者	MOMO	
プログラム	モモクラゲケイコ +	
会期	11/5-11/11	
会場	MOMO	
料金	無料	
来場者数	130	
実施内容	竹やコルクなど、様々な素材を使用した作品や絵画の展示。	
実施者	竹・ルネサンス 実行委員会	
プログラム	いけ花 一葉会 "深秋" 竹とあそぶ	
会期	11/6-11/11	
会場	別府市竹細工伝統産業会館	
料金	大人3BP/300円、小・中1BP/100円	
来場者数	397	
実施内容	竹作品の展示とともに、花かごが制作できる体験講座を開催。	

実施者	円藤 久実子、引田暁子	
プログラム	フルートとピアノの夕べ 2012	
会期	11/9	
会場	茶房たかさき	
料金	無料	
来場者数	25	
実施内容	ギャラリーカフェで、ピアノとフルートによるアンサンブルコンサートの開催。	
実施者	特定非営利活動法人 自立支援センターおおいた	
プログラム	ユニバーサル劇団 まぜくる別府公演「Smile!!」 DVD上映会	
会期	11/10	
会場	太陽の家コミュニティセンター	
料金	無料	
来場者数	20	
実施内容	オリジナル演劇の本公演を記録した、映像の上映会を実施。	
実施者	こうべえ&シェイク・ユア・ソウル	
プログラム	クリパル・ヨガダンス in 大分	
思い出のメロディハウス		
会期	11/10	
会場	Harbors	
料金	15BP/1,500円	
来場者数	19	
実施内容	ギターライブとダンスワークショップの参加型プログラム。	
実施者	茶壺の夢 佐藤さくら	
プログラム	My Photo	
会期	11/10、11/15	
会場	ご自宅	
料金	無料	
来場者数	30	
実施内容	日常生活や旅行先で撮影した、様々な写真の展示。実施者自宅で開催。	
実施者	べっふ未来塾	
プログラム	ベップユケムリ大学 omachi de omatsuri 文化発表会	
会期	11/10	
会場	platform01	
料金	無料	
来場者数	80	
実施内容	地域の特産品の販売や、エコ活動のレポート展示、体験型コーナーなど、別府の様々な文化発表会。	

実施者	CAT + 先崎哲進	
プログラム	別府小茶会 温泉めぐり	
会期	11/10	
会場	紙屋温泉	
料金	5BP/500円	
来場者数	100	
実施内容	温泉の湯を使用し、お茶会を開催。移動式のため、市内数カ所で開催。	
実施者	一般社団法人 アショカ・ジャパン	
プログラム	第3回 アショカ・フェロー・スピーカー・シリーズ	
会期	11/5	
会場	立命館アジア太平洋大学	
料金	無料	
来場者数	100	
実施内容	障がい者の社会的参画を促進する取り組みを広める、アル・エトマンスキー氏の公演会。	
実施者	廣瀬直樹	
プログラム	時代を越えて残したい物!	
会期	11/11-11/17	
会場	Antenna	
料金	無料	
来場者数	35	
実施内容	世界各地のめずらしいオブジェだけを集めた展示。	
実施者	有限会社 明石文昭堂	
プログラム	写真を飾ろう!!	
会期	11/11、11/25	
会場	明石文昭堂	
料金	3BP/300円	
来場者数	45	
実施内容	シールやスタンプを使用して、オリジナルのスクラップブックを作るワークショップ。	
実施者	ブック・フェスタ・プロジェクト	
プログラム	ブック・フェスタ・ベップ2012 第2回 ベっぷー箱古本市	
会期	11/11	
会場	platform01、別府市中心市街地ほか	
料金	無料	
来場者数	850	
実施内容	高架下や商店街など、様々な場所での古本市。また本好きが語り合うトークイベントも開催。	

実施者	着物リメイク教室	
プログラム	着物リメイク展	
会期	11/12-11/18	
会場	海に見える丘のアトリエ	
料金	無料	
来場者数	100	
実施内容	着物をリメイクしてつくられた洋服の展示販売。	
実施者	にじいろのはな(彩りセラピスト)油布季良美・小野薫・大塚瑞恵・安部涼子・田代裕子	
プログラム	『にじいろのはな』・ワークショップ	
会期	11/12-11/18	
会場	ゆめタウン別府店 2階連絡通路	
料金	1BP/100円～5BP/500円	
来場者数	21	
実施内容	コラージュやフラワーデコレーションなど、さまざまなワークショップを開催。	
実施者	仙骨専門 腰痛ケア こもんうえるす	
プログラム	親子タッチヨガ・セラピー講座♪	
会期	11/17	
会場	仙骨専門 腰痛ケア こもんうえるす	
料金	10BP/1,000円	
来場者数	18	
実施内容	英語絵本の読み聞かせや、親子が触れ合うタッチ・ヨガの開催。	
実施者	三重野 諭	
プログラム	おやこ2人 お気に入りおもちゃ展	
会期	11/23-12/2	
会場	ReNTReC	
料金	無料	
来場者数	不明	
実施内容	親子お気に入りのフィギュアを、レコード店のショーウィンドウに展示。	
実施者	OAPケンチュひろば展実行委員会	
プログラム	ケンチュひろば展	
会期	11/17-11/25	
会場	トキハ別府店 1階大屋根の下	
料金	無料	
来場者数	150	
実施内容	県内の建築家による巨大なオブジェや模型の展示。来場者は木製の大きなトンネルのようなものをくぐりながら展示を鑑賞した。	

実施者	桜井まみ	
プログラム	「寝耳に銀の刺繍」Live	
会期	11/17	
会場	長覚寺	
料金	5BP/500円	
来場者数	不明	
実施内容	カリンバやウクレレ、ピアノの演奏と共に開催されたコンサート。	
実施者	NPO 色 ヒト ころ (イルドクルール大分)	
プログラム	色で発見する! 新しい世界	
会期	11/18	
会場	platform01	
料金	5BP/500円	
来場者数	6	
実施内容	ドライフラワーやビーズ、色鉛筆などカラフルな素材を使って色を楽しむワークショップ。	
実施者	上田 恵美子	
プログラム	平らかな風景	
会期	11/19-11/26	
会場	トキハ別府店 4 階 連絡通路	
料金	無料	
来場者数	50	
実施内容	シナベニヤの箱にカラフルに彩色された棒やパネルなどを貼付けた作品。	
実施者	小林尚美 Sunny Day	
プログラム	「いのちのおもさ」展	
会期	11/19-11/24	
会場	Wdays Shop	
料金	無料	
来場者数	200	
実施内容	実際の胎児の重さと同様に作られている、羊毛のできた胎児人形の展示。	
実施者	社会福祉法人 別府若葉会	
プログラム	音や 音のアート	
会期	11/19-11/25	
会場	別府駅北高架商店街	
料金	無料	
来場者数	不明	
実施内容	高架下の空きスペースで、十数台の古時計の展示を実施。	

実施者	たしろさなえ	
プログラム	海に見える丘の似顔絵展	
会期	11/19-11/25	
会場	海に見える丘のアトリエ	
料金	無料(ワークショップ5BP/500円)	
来場者数	90	
実施内容	有名人やスポーツ選手などの似顔絵が100点展示された。	
実施者	日本文理大学 近藤研アンド足立研	
プログラム	ブンリ派デザイン展	
会期	11/19-11/26	
会場	ゆめタウン別府店 3階 フードコート横通路	
料金	無料	
来場者数	50	
実施内容	建築とコンピュータグラフィックスを学ぶ学生による展示。	
実施者	SUGAR&salts	
プログラム	"じゃんけん散策"から"roji"へ	
会期	11/20-11/22	
会場	竹瓦小路	
料金	無料、5BP/500円	
来場者数	31	
実施内容	じゃんけんを使ったまち歩きや、そのまち歩きによって見つけた路地で行うパフォーマンスなどの開催。	
実施者	大分大学 教育福祉科学部 被服学研究室／聴潮閣 企画室	
プログラム	湯の花媒染による草木染め	
会期	11/22-11/24	
会場	佐藤溪美術館 別館 蔵	
料金	無料(ワークショップ35BP/3,500円)	
来場者数	16	
実施内容	タマネギの皮や、明礬の湯の花など天然資源を使用した染色ワークショップ。	
実施者	Project:move 映像詩	
プログラム	Project:move 映像詩	
会期	11/22-11/25	
会場	platform01	
料金	20BP/2,000円～40BP/4,000円	
来場者数	未定	
実施内容	映像詩の上映。また、映像、ダンスそれぞれのワークショップを行った。	

実施者	宇宙図書館	
プログラム	かめがわアートトリップ	
会期	11/23-11/27	
会場	亀川エリア	
料金	会場により異なる	
来場者数	600	
実施内容	亀川地域一帯を会場とし、ファッションショーや展示、ワークショップなどを開催。	
実施者	ストウミキコ	
プログラム	ベップぷらっとまちダンス	
会期	11/23-11/25	
会場	platform01	
料金	無料	
来場者数	77	
実施内容	来場者とともにゲーム感覚でオリジナルダンスをつくっていく、ダンスワークショップ。	
実施者	田崎佳子	
プログラム	コケ雑貨展	
会期	11/23-11/25	
会場	こちカフェむすびの	
料金	無料	
来場者数	150	
実施内容	コケをつかったリースやアレンジメントの展示販売。	
実施者	日本文理大学 美術部	
プログラム	日本文理大学 美術部 作品展	
会期	11/23-11/25	
会場	トキハ別府店 3階連絡通路	
料金	無料	
来場者数	20	
実施内容	美術部生徒による絵画を中心とした作品展示。	
実施者	大分県立鶴崎工業高等学校 産業デザイン科出身 木村祐樹	
プログラム	ザ・合同平面展	
会期	11/26-12/2	
会場	platform01	
料金	無料	
来場者数	26	
実施内容	イラストや日本画、マンガなどの平面作品の展示。	

3-3. 来場者について

・会期中、来場者に下記の質問を記したアンケートを実施した。回収枚数は314枚。2011年の設問と同じものについては並列し掲載する（2011年の回収枚数は1,030枚）。

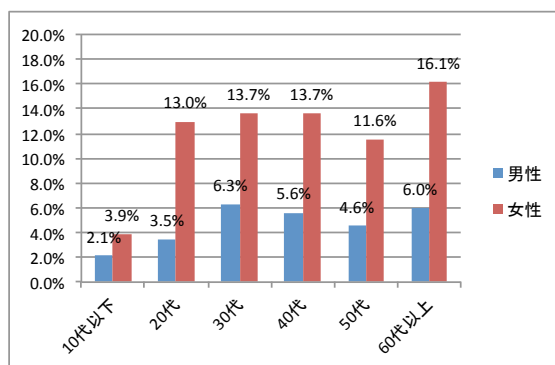
年齢、性別、職業、居住地、滞在期間

1. 今回のイベントをどこで知ったか（3つまで）
2. これまでにベップ・アート・マンスに参加したことがあるか
3. ベップ・アート・マンス 2012への評価
4. 参加した、または参加を予定しているプログラム数
5. 次回はプログラムの実施者として参加したいと思うか
6. 混浴温泉世界に参加をするか
7. クーポン型金券「BP」を加盟飲食店、または温泉施設で利用したか

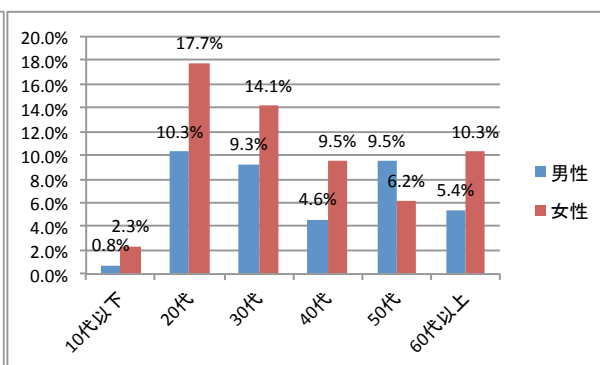
年齢、性別

・20代男女参加比率が減少し40代以上の比率が上がった。特に60代以上女性の参加比率は5%以上増えた。

2012



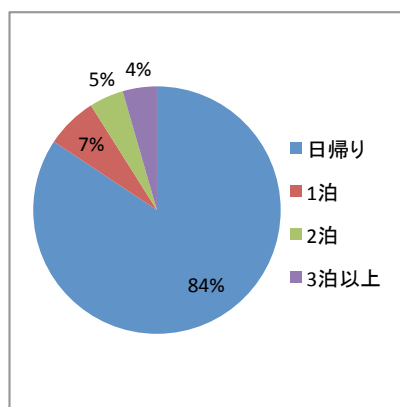
2011



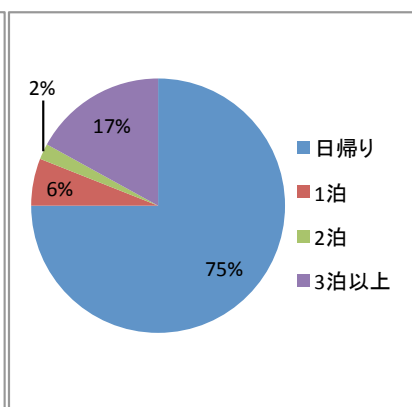
滞在期間

・前回よりも日帰り参加者が多く、近隣の方の参加比率が高まっている。

2012



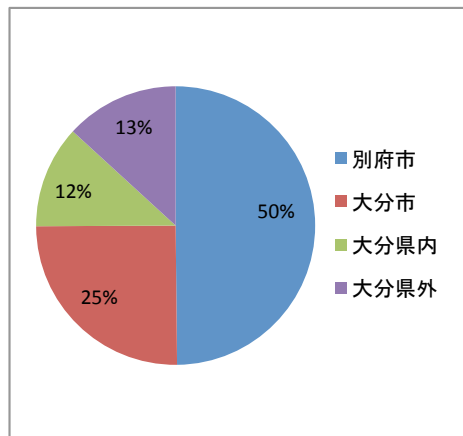
2011



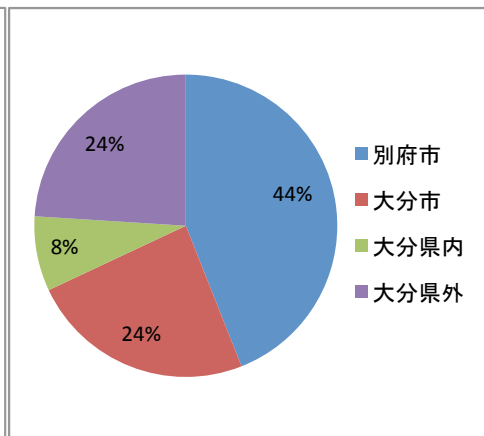
居住地

- ・上述の滞在期間と連動し、別府市を含む大分県内からの来場者が前回よりも増え82%となった。
- ・また県外からの来場者は九州内が多かった。

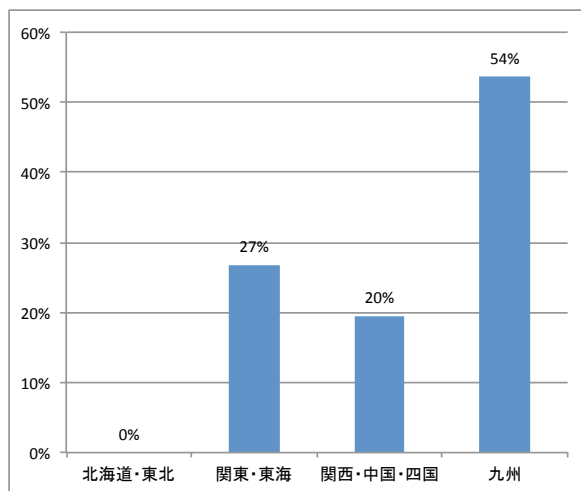
2012



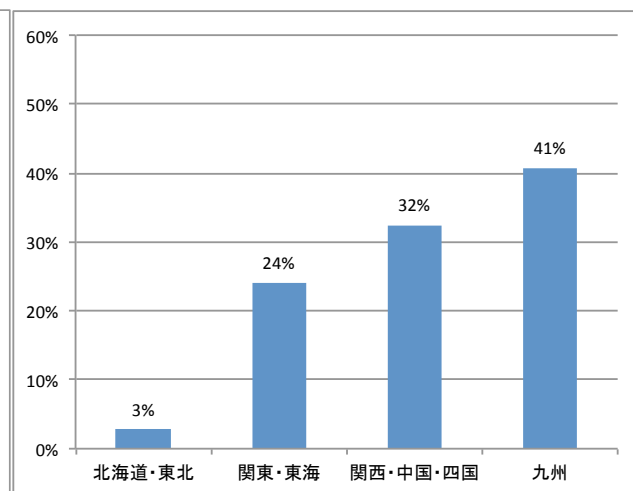
2011



2012



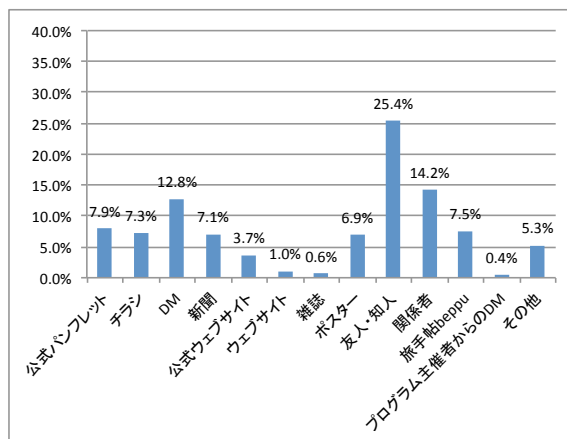
2011



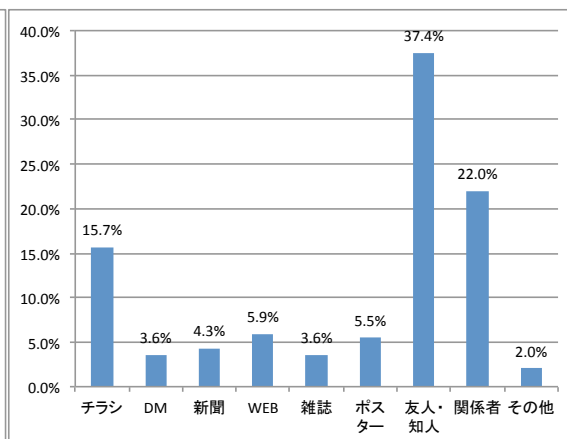
1. 今回のイベントをどこで知ったか（3つまで）

- ・前年と同様、友人・知人、関係者と人から直接伝え聞くことが最も多い。

2012



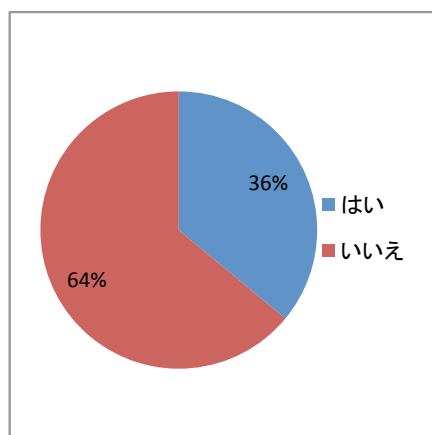
2011



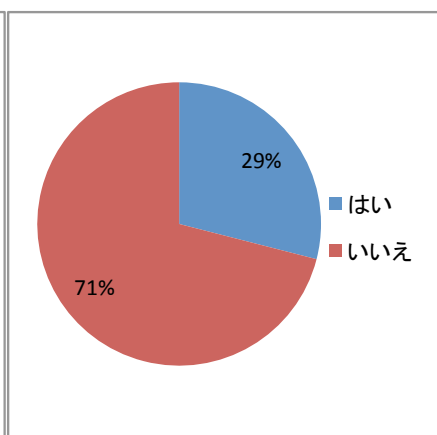
2. これまでにベップ・アート・マンスに参加したことがあるか

・前回より、7%ほど新規参加者の割合が減ったが、これは前回大きく増えた参加者が今回も引き続きプログラムに参加したことに起因すると考えられる。

2012



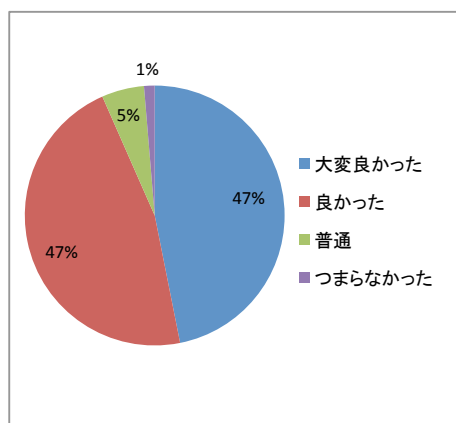
2011



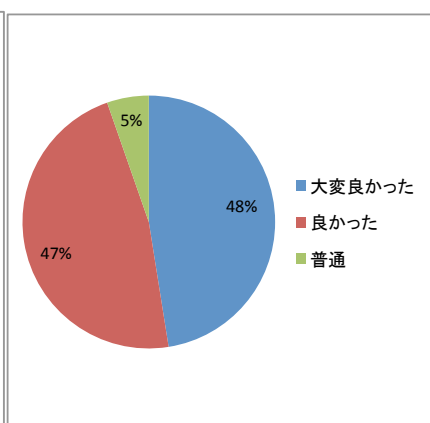
3. ベップ・アート・マンス 2012への評価

・2011年と同じく、90%以上の方に満足頂く事ができた。

2012



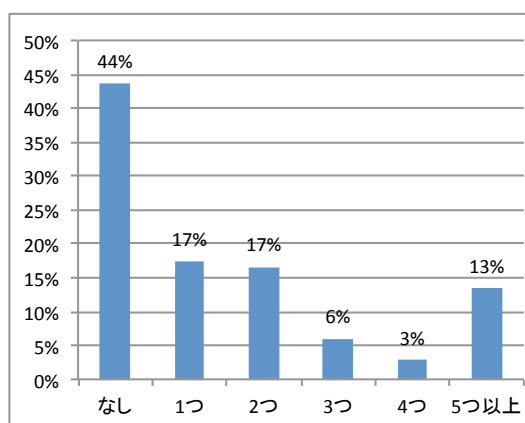
2011



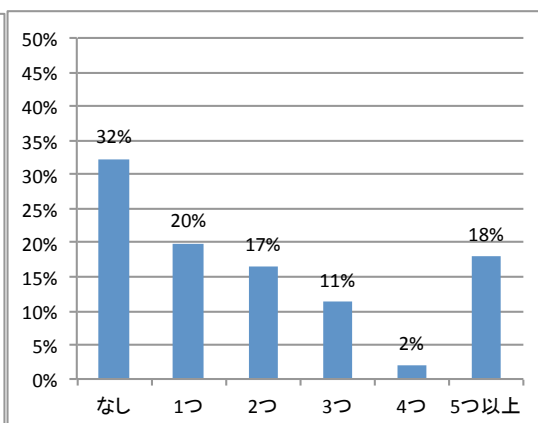
4. 参加した、または参加を予定しているプログラム数

・参加者の40%以上がひとつのプログラムのみに参加で、その比率は昨年よりも増えている。

2012



2011

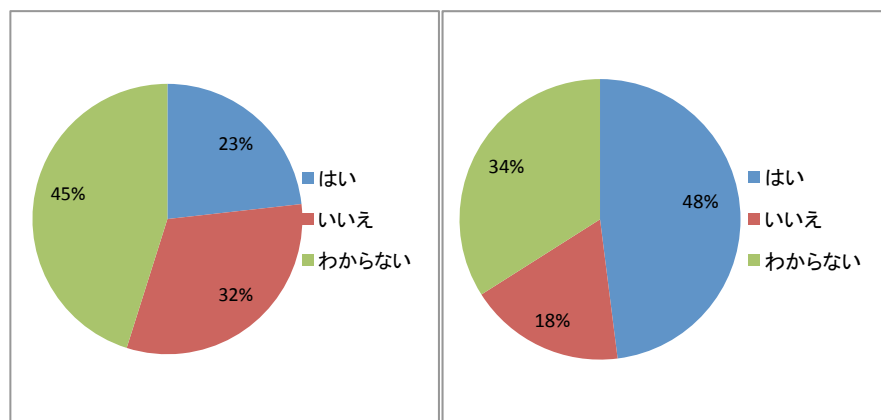


5. 次回はプログラムの実施者として参加したいと思うか

・実施者として参加したいという回答の割合は、前回の半分近くになったが、前回「参加したい」と答えた人の一部が今回参加した成果といえる。また、来場者が前回よりさらに急増しているため、希望者の実数はむしろ増えているとも考えられる。

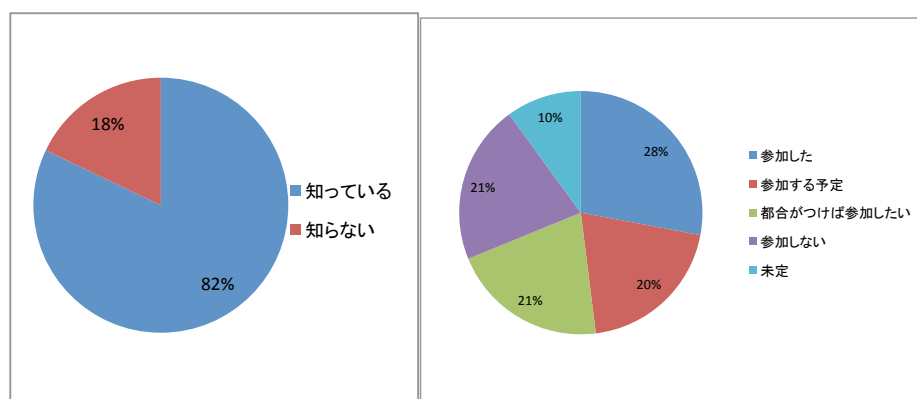
2012

2011



6. 混浴温泉世界に参加をするか

・同時期に開催した、「混浴温泉世界 2012」を知っているかを聞いたところ、80%以上の方が知っていた。そのうち69%の方が参加する意向があった。



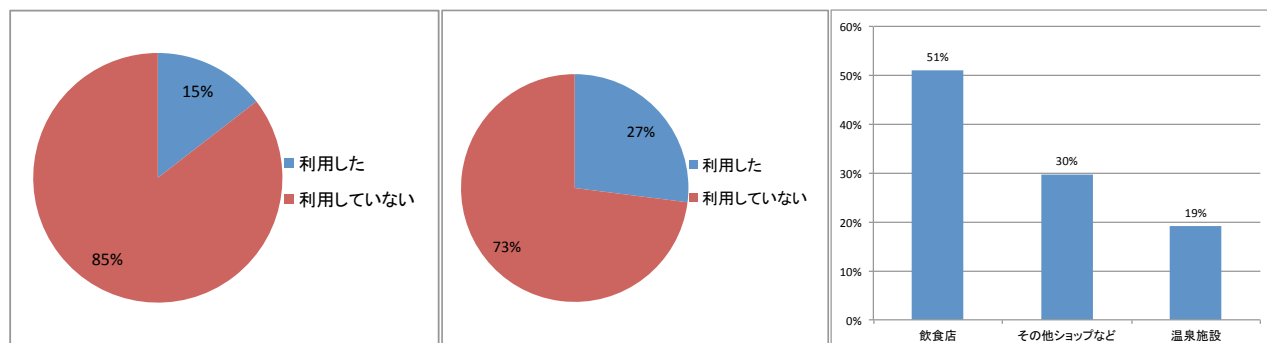
7. クーポン型金券「BP」を加盟飲食店、または温泉施設で利用したか

・前回よりもBPを利用した人の割合が減少した。利用先では、「混浴温泉世界 2012」の来場者同様、飲食店での利用が最も多かった。

2012

2011

2012利用箇所



3-4. 運営について

1. 主な業務内容

・実行委員会事務局は、下記の6つのサポートを行った。

- | |
|-------------------------------|
| (1) 総合パンフレットやWEBサイトで、プログラムの告知 |
| (2) お問い合わせ、予約受付窓口の代行 |
| (3) チケット販売の代行（手数料無料） |
| (4) 無料およびディスカウント料金で使用できる会場の紹介 |
| (5) プログラム実施に関わる相談及びサポート |
| (6) プログラム実施者同士の交流機会の提供 |

(1) 総合パンフレットやWEBサイトで、プログラムの告知

・広報制作物として今年は下記のものを作成した。参加団体が増えたため昨年は64ページだったパンフレットが、今年は50ページ以上増えて、110ページとなった。ポスター（A1、カラー）500枚、パンフレット（A5、カラー、110ページ）

・2011年は、パンフレットがイベント開始1ヶ月を切ったからの納品になってしまったため、今回は9/8の記者発表に間に合うように納品を行った。

(2) お問い合わせ、予約受付窓口の代行

・60団体の問い合わせや予約受付を代行した。

・昨年に引き続き、NPO法人 ハットウ・オンパクのシステムを使用し予約受付を行った。

(3) チケット販売の代行（手数料無料）

・8団体よりチケット販売代金を依頼され対応した。

(4) 無料およびディスカウント料金で利用できる会場の紹介

・今年は全21会場を用意し、そのうち4会場は新規の会場として登録いただいた。

・提供会場一覧は下記のとおり

会場名	継続	紙屋公民館、茶房たかさき、サロン岸、スパホテル カオサン 別府はまゆう 別館、長覚寺、聴潮閣（本館2階、はなれ1階、別館）、トキハ別府店（3階連絡通路、4階連絡通路、1階大屋根の下）、Harbors（カフェルーム、ライブスペース） platform01、銅像レイブズ、別府ブルーバード会館3階、富士屋Gallery 一也百ホール
	新規	ゆめタウン別府店（2階、3階フードコート横通路）、マルシヨク流川店4階、B-Passage中央広場

(5) プログラム実施に関わる相談及びサポート

企画構築サポートを昨年に引き続き受け付けた。

(6) プログラム実施者同士の交流機会の提供

・各団体の取組みの認知と交流を生み出すことを目的に、オープン前に参加団体交流会&記者発表を実施。

参加団体交流会&記者発表

日時：9/8

場所：国際交流開館

参加団体：実施団体 45、提供会場 2、記者 6社

2. 実施者アンケート

会期終了後、「ベップ・アート・マンス 2012」参加団体へアンケート調査を行った（回答団体：83）

設問は下記のとおり。

「ベップ・アート・マンズ 2012」について

- (1) これまでにベップ・アート・マンズに参加したことがあるか
- (2) 「ベップ・アート・マンズ 2012」への評価
- (3) 参加してよかったか
- (4) 有料プログラムの参加料金をクーポン型金券「BP」でも支払えることについて
- (5) 他団体・個人の企画に参加したか
- (6) 来年もまた参加したいか

事務局業務について

- (1) 事務局の対応はどうだったか
- (2) 今回事務局が一部広報業務を代行し、記者発表、全体プレスリリースの作成、HPの作成、パンフレットの作成等を行った。効果があったと思うか
- (3) 今回、事務局が受付業務の代行、チケット販売の協力を行ったが効果があったと思うか
- (4) 無料もしくはディスカウント料金で利用できる「提供会場」を用意した。このような取り組みをどう思うか

「混浴温泉世界 2012」について

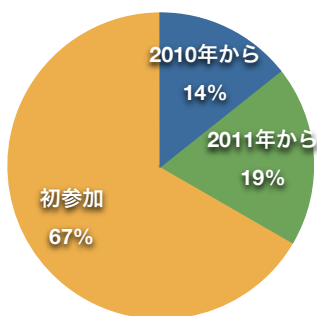
- (1) 「混浴温泉世界 2012」に参加したか
- (2) 参加した場合、「混浴温泉世界 2012」の評価はどうか

その他、自由記載

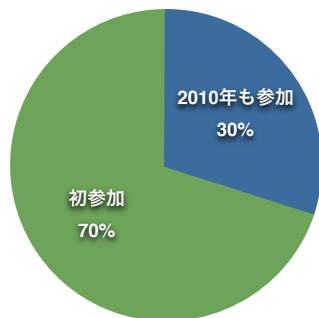
「ベップ・アート・マンズ 2012」について

- (1) これまでにベップ・アート・マンズに参加したことがあるか。
・実施者の67%が今回初参加となり、30%以上が継続参加となっている。前回に参加団体が大きく増えたこともあり、継続参加の割合が高くなっている。

2012



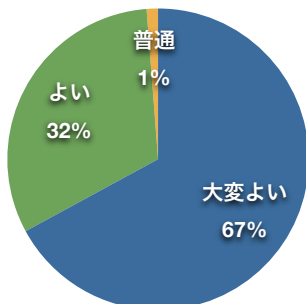
2011



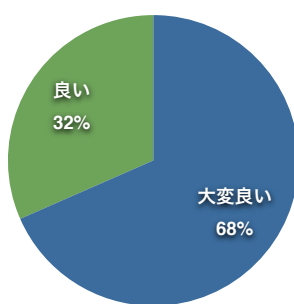
(2) 「ベップ・アート・マンズ 2012」への評価。

- ・2010, 2011年と同様ほぼ全ての参加者から、ベップ・アート・マンズ 2012の取組みについて評価頂く事ができた。

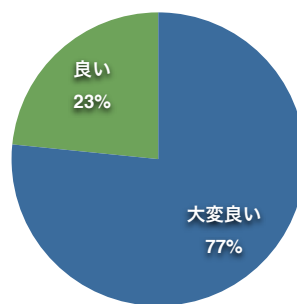
2012



2011



2010

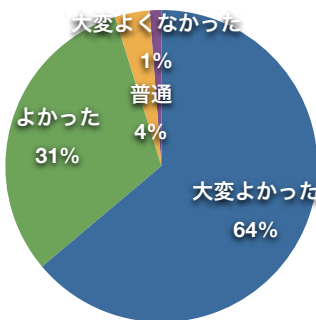


- ・同時多発的にいろんな企画が行われることで多様な別府の楽しみ方を提供できるし、市内外の人たちの交流が促進されることで、別府に新たな魅力が生まれる。
- ・アートはきっかけ。町との関わり方や人との繋がりを「ベップ・アート・マンス」をきっかけに皆が感じはじめ、少しずつ広がっている。
- ・自己表現をしたい、成長をしたい、という人をサポートしたいので、そのような方々にスポットの当たるチャンスができて良かった。
- ・あらかじめ展示場所や展示時間等の運営部分について決定していて、冊子やWEBの広告等がしっかりしていること等、様々な面で事務局のバックアップがあるので、展示等に慣れていない方でもやりやすく効果的だったと思う。
- ・別府のまちを色々な角度からアピールでき、街の魅力の幅、奥行きともに深まっていく。地域活性につながる。
- ・思った以上にいろいろな方に参加いただき反応をみることができた。
- ・気軽に参加できるコンセプトが面白い。

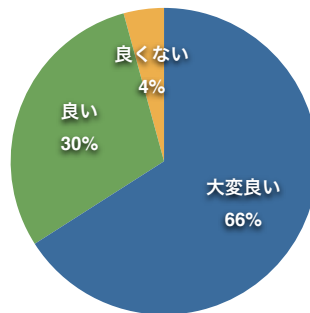
(3) 参加してよかったか

- ・参加してよかったと回答した人の割合は前回とほぼ同じ回答になった。

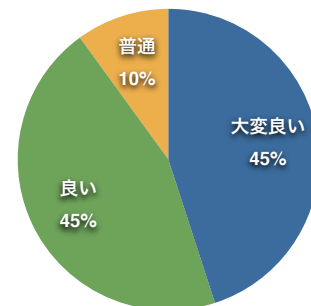
2012



2011



2010

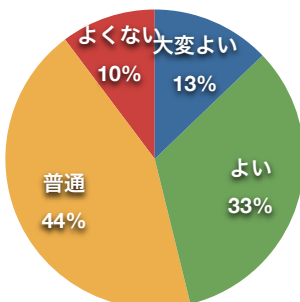


- ・市外者の立場としては、別府の特性を生かした企画を考え、地元の人たちと触れ合いながら企画を実施することで、別府の魅力を深く感じる事ができた。
- ・アーティストやカフェ、お客様に刺激になった。
- ・「混浴温泉世界」との同時開催や、アートマンスの枠の中で開催することで、より多くの方に来て頂けた。
- ・いろんな方に出会えることができた、自分たちの活動を知ってもらえた。
- ・逆に、来場者からオススメの場所やプログラムなどを教えてもらえる。
- ・他にない別府の独特な地に触れ、公演会場の方々の人柄の良さ、優しさに触れ、共同作業をさせていただき、かけがえのない経験となった。
- ・ブルーバード劇場で自分の思い描いていた世界を実現できて最高に幸せだった。
- ・アートマンスで会った方が、混浴ゴールデンナイト！を観に来てくれた。

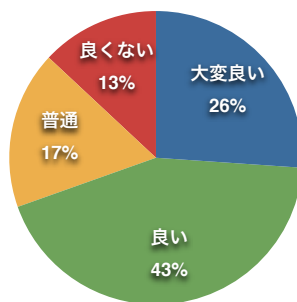
(4) 有料プログラムの参加料金をクーポン型金券「BP」でも支払えることについて

- ・前回は70%近くの方から良いという回答をいただいたが、2012年はその割合が46%に下落した。

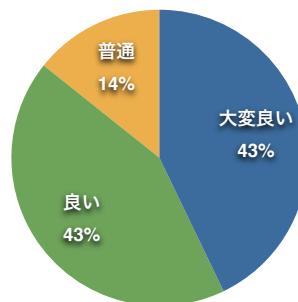
2012



2011



2010



<よい>

- ・BPを使用した人が多かった。
- ・パスポートを買った余りをどこかで消費しようという気持ちを誘引させることは、他企画や商店等にとって得するシステム。もっと企画者がBPを意識したプログラム作りをしてもおもしろい。

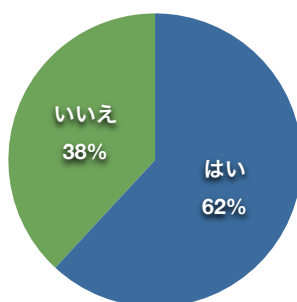
<よくない>

- ・BPでの来場者はいなかった。
- ・使い方が少しわかりづらい。

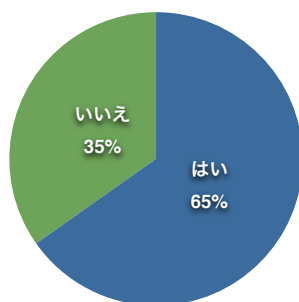
(5) 他団体・個人の企画に参加したか

- ・昨年同様60%の方が、他の企画に参加した。

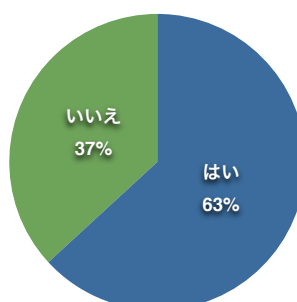
2012



2011



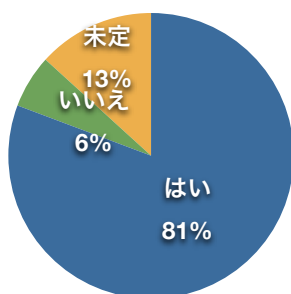
2010



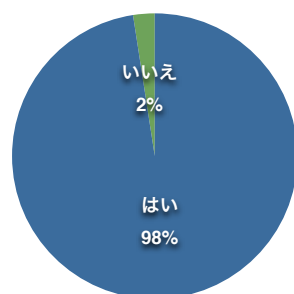
(6) 来年もまた参加したいか

- ・昨年よりは少し減少したが、80%以上の方から継続して参加したいという回答をいただいた。

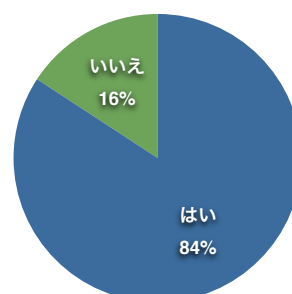
2012



2011



2010



<はい>

- ・「別府っておもしろい」と県外の方から絶賛される、とても嬉しい。
- ・まだまだ知らない別府を知りたい、自企画を通じて別府のすばらしさを伝えていきたい。
- ・普段、企画を実施する事が難しい場所での実施が可能なこと、企画運営部分や告知等で事務局のバックアップがあり、実施する側としてはとてもやりやすい。
- ・1度試しに出たので、次回は本気で取り組みたい。
- ・すでに、参加したいという作家さんから申込があり、来年の計画をしている。
- ・このような催しがなければ別府には行こうと思わなかったと思う。初めて別府を訪れ、アーティストにとって恵まれた環境が沢山あり、今後もっと市民の参画が増え、また、マーケットとしての発展につながると期待できるから。
- ・ブルーバード劇場でより壮大なおもしろいことをやってみたい。

<いいえ>

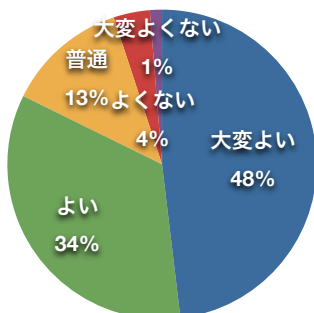
- ・予算的にむずかしい。

事務局業務について

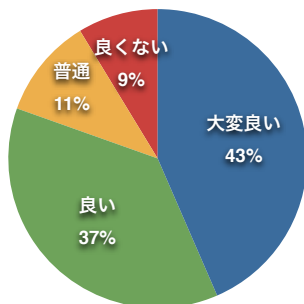
(1) 事務局の対応はどうだったか

- ・前回に引き続き、対応を評価して頂いたところはあるが、連絡の遅れなどについて指摘があった。

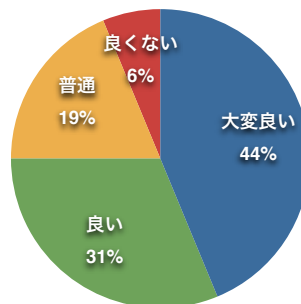
2012



2011



2010



<よい>

- ・場所選定の相談から、下見の同行や企画についての細かい要望まで対応してくれた。
- ・遠方でも、事前に顔を見ながら個別に打ち合わせをしていたので安心してできた。
- ・的確なアドバイスをくれた。
- ・パンフレットの作成やフラッグの貸出しなど、いろんな広報ツールの協力があって助かった。

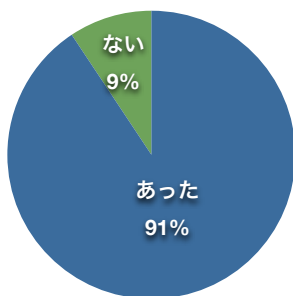
<よくない>

- ・連絡不足、予約受付け対応が不十分だった。
- ・連絡が遅い。

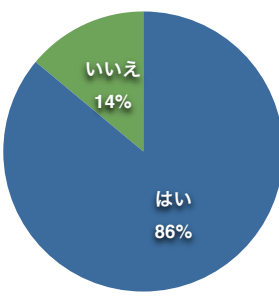
(2) 今回、事務局が一部広報業務を代行し、記者発表、全体プレスリリースの作成、HPの作成、パンフレットの作成等を行った。効果があったと思うか

- ・前回より多くの方に広報業務については評価頂く事ができた。

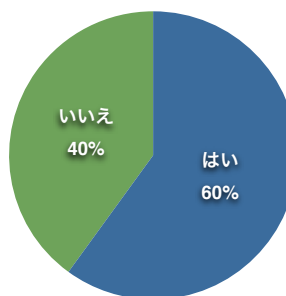
2012



2011



2010

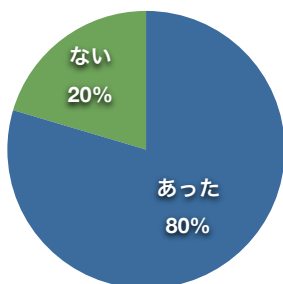


- ・パンフレットを見て来た方がいた。
- ・パンフレットを持って町を巡っている人を沢山発見した。1冊の冊子を見れば全てのプログラムがあるので効果的。
- ・零細団体にとって、このようなサポートは非常にうれしい。同時多発的に行われるイベントの性質を考えると、まとめて広報を行うことは必要。企画者同士のコミュニケーションの場があったのも非常に良かった。
- ・幅広く知ってもらえる。
- ・表紙デザインが昨年と一緒なので、新鮮みがなかったのか多く設置したが残った。スケジュールページが見にくい。
- ・「混浴温泉世界 2012」の方が関西などでは印象が強かった。

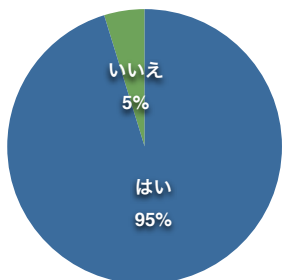
(3) 今回、事務局が受付業務の代行、チケット販売の協力を行ったが効果があったと思うか

・80%の方から受付代行業務・チケット販売が効果があったと意見を頂いたが、想像していたよりも効果がないという意見もあった。

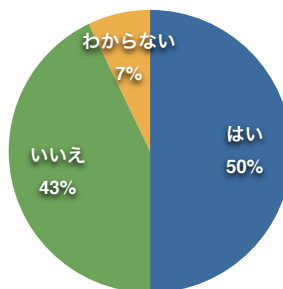
2012



2011



2010



<効果あり>

- ・零細団体にとっては非常にメリットのあるサービス。どの企画でもひとつの窓口で受付等ができるシステムは、利用者にとっても便利だと思います。
- ・何名かは事務局を通して購入してくれた。しかし思ったほどの効果はなかった。

<効果なし>

- ・企画のDMを見ての来場者がほとんどだった。

(4) 無料もしくはディスカウント料金で利用できる「提供会場」を用意した。このような取り組みをどう思うか

・普段は予算的に借りられない場所がこういったフェスティバルだからこそ安価で借りることができるということに対して、引き続き評価を頂いている。

<よい>

- ・安心して利用している会場が多い程、企画者の間口を広げる。今後も続けてほしい。
- ・普段、企画実施する事が難しい場所での実施が可能であるし、会場との打合せをある程度省略できる。
- ・制作費や交通費等の出費があるので、実施者側には助かる。
- ・知らない場所を知る事ができる

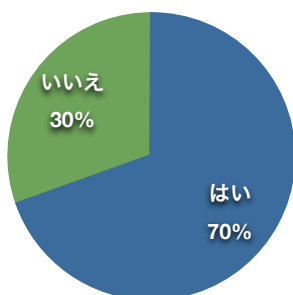
<よくない、または提案>

- ・良かったが、会場の使用条件が平等ではないように感じる。優先順位があからさまであった。

「混浴温泉世界 2012」について

(1) 「混浴温泉世界 2012」に参加したか

・70%の参加者に混浴温泉世界 2012に参加して頂いた。



＜した＞

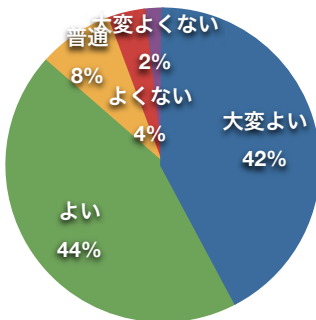
- ・参加するでしょ！当然。それを体験するためにアートマンスに参加したといっても過言ではない。
- ・知人が出ていたので見に行った。
- ・シンポジウムにてアーティストの思いを聞き、更に参加したくなった。

＜しなかった＞

- ・自分の企画の準備で忙しくて、行けなかった。

（２）参加した場合、「混浴温泉世界 2012」の評価はどうか。

- ・80%の方に「混浴温泉世界」について評価頂く事ができた。コメントにはボランティアスタッフとの交流についても楽しみの一つになったと記載されていた。



・特にフィナーレのパフォーマンスは圧巻。めちゃくちゃ良かったです。それと、まちを歩きながら思いましたが、別府を知っている人が感じるものと、別府を知らない人が感じるものの違いがすごく気になりはじめました。この気持ち、なんでしょうね。

・ただ”観光混浴”でとどまっている感じがした。1人でも地元の人を世界に送り出すバックアップをして、結果をだしてこそ、本当の”混浴”だと思う。アートへの愛は感じたが、どこか他人事のように地元の人に捉えられているのは、その部分だと思う。

・別府で表現する意味を考えさせられた。

・まちの魅力がアートによって増幅、また再発見されていたように感じた。その場所の持っているパワーを感じた。

・アート作品を見るだけでなく、温泉や食べ物も楽しめる。また、各会場の「ぼんださいん(受付ボランティア)」との語りも楽しかった。

・毎週末1,000円でダンスが見られる「混浴ゴールデンナイト！」は、ダンスになじみの無い人でも楽しめるし、永久劇場という場所が素晴らしい。

その他、自由記載

- ・プログラム数が多すぎたという意見や、大分市内での認知が足りないことについてコメントがあった。

・企画募集において、市内外に広く間口をもっていると良いのでは。

・「混浴温泉世界」とアートマンスを、プラン立ててムダなく巡っていた。「こんな企画のある別府が羨ましい」とお客さんに言われた。

・保険料の算出基準が不透明。

・大分市内ではまだまだ知られていない。

・「混浴温泉世界」の同時開催もあったためか、プログラムの数や種類が多すぎる。期間毎に美術・ダンスなどとジャンルを分けると、良いのでは。

3-5. ベップ・アート・マンス2012 意見交換会の開催

3月3日にベップ・アート・マンス2012の参加者が集い、今回のプログラムについて意見交換を持つ会議を開催した。それぞれの実施内容の発表と、その振り返り、そして来年度の実施にあたりどのような改善が必要かについて意見交換を行った。以下に実施日時ならびに、議事録を掲載する。

日時：3月3日（日）14:00 - 16:00

場所：platform01

参加人数：9名

議事録

1. 主な業務内容

提供会場について

提供会場全般に言えるのは利用料金が安いいため、展示を企画しやすい。また2011年は、事前の準備が悪く提供会場が使いにくかったが、今年は改善されていた。

実施する際に工夫した点

- ・近い会場を使っている実施者同士が連携し、お互いのお客様に展示を紹介しあうことで、たくさんのプログラムを楽しむやすくなった。
- ・団体として参加することで、来客の増加、そして出会いが多くあった。
- ・ぎっしりスケジュールを詰めすぎず、展示期間を空けることで、他の実施者／来場者の方との交流をはかる時間をつくった。
- ・混浴温泉世界の会場と自分のプログラム実施会場が重なっていたため、相乗効果があった。
- ・継続的に何かが開催できる場所をつくることに重点をおき、実施者としての参加姿勢をステップアップさせた。

その他、来年に向けての提案など

- ・包括的なマップよりも、「その日」やっているイベントがわかるマップが必要。
- ・パンフレット…カテゴリ単位のカレンダーおよび申込チラシがあると、お客様が自分の傾向にあわせてたくさんのプログラムを選ぶのを促せる。
- ・駅の観光案内所の方に説明会を行う行必要がある。特に、現状ではベップ・アート・マンス専用カウンターのお客様を案内するだけで十分な対応ができていないと思われる。
- ・保険加入は任意で良いのかの検討と、保険の適用範囲（性質・内容）については、事務局からの説明を徹底。
- ・いざ展示が始まってからの立ち合いが無いときがある。初日とお終りの日は見届けるのが、管理する立場（事務局）の仕事。

実施者同士の交流を深めるために

- ・別府市を更に細かい地域単位にわけて、その中で情報をまとめる。
- ・運営委員会があれば、募集が開始される前に参加者同士で意見交換が可能になる。
- ・募集前や期間中に実施経験者の声を聞く会を開いてほしい。
- ・他の実施者の方のことを知らずに期間が終了してしまうのは「交流」にならないため、会期中に交流できるようにしたい。
- ・同時に開催されているプログラムが多く、実施者として他のプログラムを楽しむことができなかった。
- ・事務局によるスケジュールのコントロールをかければ、コラボ企画などが生まれる可能性もある。

地域とアートマンス

- ・市民を巻き込んでいくためには、説明会などを開催するだけではなくアートマンス期間を目指して日々活動を継続することが大切。
- ・もともと地域で実施されている行事（商店街掃除、おまつり等）に参加する。
- ・「当たり前」になるには、ふだんから口に出す。アートを楽しんでいる日々を、自ら他の人に伝える。
- ・市民の方（実施者・参加者ではなく）への浸透度をアンケートして、認知度の向上につなげる。
- ・APUの「学生枠」や、APUを会場にした企画（2012年は1企画）を増やし、学生を巻き込んだらどうか。

- ・インターネットで事前に情報を調べ、芸術祭期間を楽しんでいる県外の方もたくさん見受けられた。受け入れる側の「ゆとり」を忘れずに、おもてなしが必要だと思う。
- ・アートマンスという冠のもとにイベントをするのは、良い事。まちの人々も、芸術月間であることを知っているの
で、知らないイベントでも参加しやすくなる。
- ・文化活動をする人が表に出る機会を増やすために継続的に活動が続けていくことが、別府を元気にさせる鍵である。
- ・「住んでよし」という別府の良さをアピールする（日常性への回帰）のが、ベップ・アート・マンスの大切な使命。
- ・アートマンス（ゆるやかな枠組みのなかでアートを盛り上げる）が継続されるまちの仕組みをつくる必要がある。
- ・市民主導の熱を維持することが大事。
- ・ソフト面の充実は叫ばれて久しいが、逆にハード面の整備も必要になっている。

第4章 共通の取組み

4-1. 広報活動と開催効果

(1) メディア掲載実績ならびに広告換算

・2012年4月1日以降、新聞・テレビ・ラジオ・WEBなど202のメディアで取り上げられ、合計で335回の掲載・放送があった。その結果を広告換算すると、465,798,279円となった。なお、海外メディアへの掲載分は広告換算されていないので、下記には反映されていない。

・2009年の広告換算費は2,869,870,935円であったが、そのうち日曜美術館の特集関連が2,445,297,660円であった。前回の広告換算費から日曜美術館の特集関連を差し引くと、2012年の広告換算は約4千万上回った。

メディア媒体件数（2012年4月～12月）

	海外	全国	地方（大分含む）	媒体合計
新聞	—	1	90	91
テレビ	—	1	28	29
ラジオ	—	—	14	14
雑誌	3	9	6	18
WEB	7	43	—	50
エリア合計	10	54	138	202

※県内で取り上げられたニュースなども含める。また、掲載・放送実績が確認できているもののみ集計。

※掲載媒体件数、放送・掲載数は、「混浴温泉世界 2012」と「ベップ・アート・マンス 2012」を合算した数字。

広告換算内訳

メディア分類	掲載・放送	換算金額
新聞	194	¥190,973,924
テレビラジオ	45	¥241,828,980
雑誌	41	¥29,891,200
ウェブ	55	¥3,104,175
合計	335	¥465,798,279

（集計：株式会社ジャパン通信社）

掲載・放送先実績（順不同）

※新聞・雑誌は出版社名ではなく、新聞・雑誌名で記載

※付録として掲載記事のいくつかを添付

新聞	日本経済新聞、共同通信社、毎日新聞、読売新聞、西日本新聞、朝日新聞、大分合同新聞、今日新聞、旬刊旅行新聞
テレビ	NHK（Eテレ）、NHK大分、KBC九州朝日放送、KTS鹿児島テレビ、RKB毎日放送、OAB大分朝日放送、TOSテレビ大分、CTBメディア、OCT大分ケーブルテレコム、
ラジオ	LOVE FM、エフエム大分、OBSラジオ、ゆふいんラヂオ

雑誌	Numero、クロワッサンプレミアム、BRUTUS、Casa BRUTUS Travel、UOMO、OZ magazine、大人の九州、美術手帖、中央公論、福岡Walker、観光会議きゅうしゅう、旅の手帖、CONKA、旅こよみ、O-rai、emo、ポス、大人組、シティ情報ふくおか、シティ情報おおいた、ジパング倶楽部、Please、GALLERY、セーノ！、Researcher's voice、散歩の達人mook、おおいた豊再発見 豊後の旅、Asian Art News (Hong Kong)、Umagazine (Hong Kong)、南国（上海）
WEB	COLOCAL、excite.ism、CINRA.NET、pawanavi、artscape、47NEWSふるさと発信、東京文化発信プロジェクト、Art-U room in blog、大分で遊ぼう、別府市観光協会、大分手織り物語、大分合同新聞社、ニッセイ基礎研究所、AIT、別府なび、じなしの山歩記と国東半島ミュージアム、ホテルと月の国、SEVEN POINT NEWS、前崎日記、moritomomori、Walkarplus、CoRich舞台芸術！Beta、大分県観光情報公式サイト、長尾さんの観光案内所、OITA SHOKUしよく、日本旅行、2012日中国民交流友好年、TakeArtEasy!、kareizawa club、ケンブラッツ建築・住宅、甘栗ぼうずの die traumfabrik、ハルクとゆかいな仲間達、livedoor地図情報、別府八湯温泉道、ARTSWITCH、ROADSIDERS' weekly、Asian Art News、HKCD、Cambodian Times、Malaysia News Net、Culture360.org、AAA、E-flux Art-Agenda、The Japan Foundation、The Japan Times

（３）情報発信について

・今回のフェスティバルでの主な情報発信媒体は以下の通り。芸術祭を単体で宣伝するのではなく、別府の町全体を楽しんで頂くという考え方で情報発信が多かった。

媒体	役割	発行部数、アクセス数など
旅手帖beppu 特集号	展覧会の情報だけでなく、町の飲食店の情報などを網羅した公式ガイドブックとして活用した。	発行部数：70,000部 配布箇所：767カ所
公式WEBサイト	当事業全般の情報を発信する公式WEBサイト。日本語と英語両言語で運営。	期間：7/17 - 12/2 ユーザー数：24,394 アクセス元の国／地域：70カ国
Facebook	来場者などとのコミュニケーションや、公式情報以外の町の状況や作品の制作状況などを発信。日本語と英語両言語で運営。 日本語ページに「いいね！」を押してくれた人は20代後半から30代前半の女性が多く、当初想定していた顧客層に合致する。	期間：6/18 - 12/2 日本語 いいね数：1,473 アクセス元の国／地域：20カ国 英語 いいね数：48 アクセス元の国／地域：11カ国 ※「いいね」が多いページは、より多くの人に評価してもらっているページ。
iPhoneアプリ	iPhoneユーザーが地図として、またキュレーターと対話ができるアプリケーションを開発。民間企業が無償で開発し、提供した。	ダウンロード数：292 登録ユーザー数：117名

4-2. 観光消費額

- ・「混浴温泉世界 2012」ならびに「ベップ・アート・マンス2012」の観光消費額は357,154,635円となった。
- ・1人当たりの消費額は、別府市ONSENツーリズム部観光まちづくり課が作成した「平成23年観光動態要覧」に掲載されている1人当たりの消費額（宿泊客：35,342円、日帰り客：6,675円）を基にしている。なお、外国人観光客は全体の1%以下のため、外国人観光客用の消費額は除外した。

(単位：円)

		客数（人）	1人当たりの消費額	消費額	合計
「混浴温泉世界 2012」 （A）	宿泊客	6,383	35,342	225,587,986	253,996,786
	日帰り客	4,256	6,675	28,408,800	
「ベップ・アート・マンス 2012」 （B）	宿泊客	3,439	35,342	121,541,138	242,058,263
	日帰り客	18,055	6,675	120,517,125	
A + B		496,055,049			
重複の控除(C)		138,895,414			
観光消費額（A+B） - C		357,159,635			

「混浴温泉世界 2012」の客数の算出方法

- ・観光消費額の算出には「混浴温泉世界 2012」総入場者117,348人のうちパスポートを購入して作品鑑賞をした方と、ココダケ券を購入して作品鑑賞された方を合わせて、10,639名とする。ココダケ券購入者が、パスポートを買っていない場合は重複がないので、入場者として加算する。具体的にはパスポートで全部のプロジェクトを回った後、別の週末のゴールデンナイト！を鑑賞するためにココダケ券を購入するケースなどが上げられる。よって、両者に重複はないものと想定して合算、観光消費として2人としてカウント。但し、ココダケ券購入者は日帰り客と想定する。
- ・混浴宿泊／日帰りについては、宿泊日数の結果を参照とする。日数不明は6％は除いて宿泊／日帰りの比率を算出。 $10,639 \times 60\% = 6,383$ 人、 $10,639 \times 40\% = 4,256$ 人。なお、日帰り総数試算4,256人＞ココダケ券購入者2,963人（ココダケ券購入者は日帰りとみなす）ため、試算の整合性は保たれる。
- ・なお、楠銀天街やチウ・ジョーエの作品を無料で鑑賞し、昼食をとって帰った方は観光消費にカウントしていない。

「ベップ・アート・マンス 2012」の客数の算出方法。

- ・平均して幾つのプログラムに参加しているかを試算すると、1人あたり2.5プログラムの参加となる。そのため、対象者は $53,736 / 2.5 = 21,494$ となる。
- ・入場者アンケートにより、宿泊／日帰りは16％／84％。

重複

- ・「混浴温泉世界 2012」と「ベップ・アート・マンス 2012」を同時に鑑賞した方々が一定数いることで重複した観光消費額を控除する。
- ・アンケート結果をベースに「参加した」という回答者が両アンケート共に28％のため観光消費合計から28％を重複分として控除する。

4-3. クーポン型金券「BP」について

・「混浴温泉世界 2012」ならびに「ベップ・アート・マンス 2012」では、有料プログラムへの参加、加盟の飲食店や温泉施設などで使用する事が出来るクーポン型金券「BP」を昨年の「ベップ・アート・マンス 2012」に引き続き行い、各プログラムごとの連携による集客の向上や、プログラムだけでなく、まちを楽しんでもらう為の仕掛けとして使用した。

・使用可能な加盟店を101店舗から126店舗に増加し、利用者の利便性を高めた。また、今回から一部ホテルの宿泊で使用できるようになり、使用用途が広がった。

・「旅手帖beppu 特別号」と連動させ、展覧会と合わせて町を楽しむ事を促した。

・使用BP枚数は去年の2倍以上となり、使用BPのうち75%が「混浴温泉世界 2012」のパスポートやグッズなどの購入に利用された。

販売期間／利用可能期間：10/6 - 12/2

販売枚数：2,779冊 = 30,569 BP（昨年度の販売実績：2,276冊 = 13,656 BP）

利用可能店舗・施設数

施設種類	2011年度	2012年度
飲食店	78	75
温泉施設	7	7
その他ショップなど	16	44
合計	101	126

使用BP枚数：28,417BP（昨年度の利用実績：10,413BP）

使用用途内訳

単位：BP

施設種類	2011年度	2012年度
「混浴温泉世界 2012」	—	21,491
ベップ・アート・マンス 2012	6,921	1,632
BP加盟店	3,492	5,294
合計	10,413	28,417

第5章 収支状況

5月24日現在

1 収入

実行委員会負担金	大分県	¥ 10,000,000
	別府市	¥ 5,000,000
	各団体	¥ 1,000,000
	BEPPU PROJECT	¥ 5,000,000
		¥ 21,000,000
助成金		¥ 4,500,000
協賛金		¥ 6,934,000
チケット販売		¥ 16,440,600
他収入		¥ 14,988,500
国庫補助金	文化庁	¥ 55,430,000
計		¥ 119,293,100

2 支出

混浴温泉世界	¥ 52,260,910
ベップ・アート・マンス	¥ 3,479,031
子どもプロジェクト「おもちゃの部屋」	¥ 1,462,475
事務局運営費	¥ 44,419,825
記録費	¥ 210,840
広報費	¥ 16,913,573
BP	¥ 536,050
計	¥ 119,282,704

3 収支差額

収入	¥ 119,293,100
支出	¥ 119,282,704
計	¥ 10,396

第6章 事業評価

6-1. 事業評価の手法について

「混浴温泉世界 2012」および「ベップ・アート・マンス 2012」の事業評価は、当事業報告書の第2章から第5章までに示した各種データや、来場者・プログラム実施者に対するアンケートの集計結果などをベースに行う。その際の評価手法としては、当実行委員会が、文化庁から「平成24年度文化芸術創造都市モデル事業」の委託を受ける際に定めたバランス・スコアカードを採用し、そこに掲げたターゲット（業績評価指標）を基準に評価を行うものとする。

バランス・スコアカード（Balanced Scorecard、以下BSC）は、キャプランとノートンが考案した企業の業績評価・経営管理システムである。民間企業の業績評価では伝統的に、損益財政という「財務の視点」が重視されていたのに対して、キャプラン&ノートンは、この「財務の視点」に加えて「顧客の視点」「業務プロセスの視点」「成長と学習の視点」も併せて総合的に業績評価を行うことが重要だと説いた。そして、組織の業績を総合的に見るこうした手法は、利益追求を目的としない公的組織の経営や評価にも役立つのではないかと考え方から、内外の自治体や公的機関でも検討・導入がなされた経緯がある。

「平成24年度文化芸術創造都市モデル事業」の評価対象は、厳密には「組織」ではなく単年度の「事業」である。しかしながら、当事業の主催者である別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会は、文化芸術による別府の地域再生という公的なミッションを掲げ、別府の中心市街地を中心に、さまざまな事業を持続的に展開している「組織」である。こうした観点から、当事業の評価手法としてBSCを導入することとした。

当モデル事業のBSCは、表1のとおりである。表1では「財務」「顧客」「業務プロセス」「成長と学習」からなるBSCの4視点を、より実態に合わせて「財政」「ステークホルダー」「マネジメント」「創造と学習」と読み換え、さらに5番目の視点として「地域再生の視点」を冒頭に導入した。それぞれの視点の意味合いについては、各視点の評価を行う際に説明する。

表1 「平成24年度文化芸術創造都市モデル事業」のバランス・スコアカード（BSC）

キーワード	業績評価指標	◇現状値	◇事業終了時の目標値
地域再生の視点：別府における諸課題の解決	・アート・マンス入場者数	・のべ11,751名	・のべ17,000名以上（2ヶ月の開催）
	・混浴温泉世界入場者数	・のべ90,000名	・のべ100,000名以上
	・アート・アワード鑑賞者数	・871名	・1,000名以上
	・アート・マンス 参加プログラムの質	・参加団体によってプログラムの質に差がある。	・事務局のコンサルテーションにより質の改善、底上げを図る。
財政の視点：財政基盤の確立	・アート・マンス チケット販売枚数	・13,656枚(=13,656BP)	・30,000枚(=30,000BP)
	・創造都市記録誌販売数	・0(未発行)	・500冊
	・協賛金・各種助成金の額・件数	・15件(10,329千円、拠出金含まず)	・30件(30,000千円、拠出金含まず)
ステークホルダーの視点：「観光地型・文化創造都市」プラットフォームの造成	・ボランティア参加人数	・のべ206名（アート・マンス期間中）	・のべ350名（アート・マンス期間中）
	・県内他地域での文化事業の実施数(混浴温泉世界開催時の他地域連携自治体数)	・特になし	・2市町村
	・他団体主催イベントへの参加	・50件／年	・75団体／年
	・自治体、企業・団体への訪問件数	・50団体／年	・75企業・団体／年（海外への訪問含む）
マネジメントの視点：実行体制の確立・強化	・実行委員会の活性化／出席率	・メンバーの役割が不明確	・役割分担の明確化
	・事務局業務の質	・業務対応に濃淡あり	・標準化された業務遂行
創造と学習の視点：文化芸術の持つ創造性の寄与	・ベップユケムリ大学の開催回数／参加者数	・年67回／のべ817名	・90回／のべ約1,200名
	・アート・マンス参加団体／プログラム数	・57団体および個人／87企画	・90団体・個人／130企画以上（2ヶ月の開催）

「平成24年度文化庁文化芸術創造都市モデル事業」提出資料

但し、このBSCは、当実行委員会が平成24年度に主催・協力する事業の全てを網羅している。このうち、「混浴温泉世界 2012」および「ベップ・アート・マンス 2012」のみを対象にした評価項目は赤色で表示した項目であり、他事業も一部関係するが主に両事業によって評価できる項目が青色で表示した項目である。

当事業報告書はこの両事業を評価対象とするため、以下では両事業に関連する項目（赤・青で表示した項目）に絞って成果数値を示した表2に基づいて評価を行う。

表2 「混浴温泉世界 2012」「ベップ・アート・マンス 2102」のバランス・スコアカード (BSC)

「混浴温泉世界2012」「ベップ・アート・マンス2012」のバランス・スコアカード(BSC)

キーワード	業績評価指標	2011年実績 (現状値)	2012年目標 (事業終了時の目標値)	2012年実績 (事業終了時の結果数値)
地域再生の視点: 別府における諸課題の解決	・アート・マンス入場者数	・のべ11,751名 (1ヶ月の開催)	・のべ17,000名以上 (2ヶ月の開催)	・のべ53,987名 (2ヶ月の開催)
	・混浴温泉世界入場者数	・のべ90,000名 ※注1	・のべ100,000名以上	・のべ117,348名
	・アート・アワード鑑賞者数	・871名	・1,000名以上	・1,643名
	・アート・マンス 参加プログラムの質	・満足度 ※注2 来場者95% 実施者100%	・事務局のコンサルテーションにより質の改善、底上げを図る。	・満足度 ※注2 来場者94% 実施者99%
財政の視点: 財政基盤の確立	・アート・マンス チケット販売枚数	・13,656枚(=13,656BP)	・30,000枚(=30,000BP)	・30,569枚(=30,569BP)
	・創造都市記録誌販売数	・0(未発行)	・500冊	・70,000冊 (無料配布に変更)
	・協賛金・各種助成金の額・件数	・15件(10,329千円、拠出金含まず)	・30件(30,000千円、拠出金含まず)	・32 件(69,364千円、拠出金含まず)
ステークホルダーの視点: 「観光地型・文化創造都市」プラットフォームの造成	・ボランティア参加人数	・のべ206名 (アート・マンス期間中)	・のべ350名 (アート・マンス期間中)	・のべ660名 (アート・マンス期間中)
	・県内他地域での文化事業の実施数(混浴温泉世界開催時の他地域連携自治体数)	・特になし ※注1	・2市町村	・2市町村
マネジメントの視点: 実行体制の確立・強化	・実行委員会の活性化／出席率	・平均約5割 ※注3	・役割分担の明確化	・平均約6割 ※注3
	・事務局業務の質	・事務局への満足度80% ※注4	・標準化された業務遂行	・事務局への満足度82% ※注4
創造と学習の視点: 文化芸術の持つ創造性の寄与	・アート・マンス参加団体／プログラム数	・57団体および個人／87企画 (1ヶ月の開催)	・90団体・個人／130企画 以上(2ヶ月の開催)	・122団体・個人／148企画 (2ヶ月の開催)

「平成24年度文化庁文化芸術創造都市モデル事業」提出資料に、2012年実績などを加筆

※注1) 「混浴温泉世界」に関する指標のため、現状値は2009年のもの。
※注2) 来場者アンケート、実施者アンケートで、ベップ・アート・マンスの評価を「大変よい」＋「よい」とした回答の割合。
※注3) 2011年は6～11月に開催した全4回の実行委員会、2012年は5～9月に開催した全3回の実行委員会の出席率の平均値を記入。なお、委任状提出によるみなし出席は算入していない。
※注4) 実施者アンケートで、事務局業務を「大変よい」＋「よい」とした回答の割合。

表2に掲げたBSCのうち、緑色で表示した一番右側の列が今回の実績である。なお、表2では、各業績評価指標に関する2011年の実績値（「混浴温泉世界 2012」関連の指標については、前回開催時である2009年の実績値）を補足している。

以下では、創造と学習の視点の評価を皮切りに、マネジメント、ステークホルダー、財政の視点を順次概観したうえで、最終目的である地域再生の視点の評価を行うこととする。

(1) 創造と学習の視点

創造と学習の視点は、「ベップ・アート・マンス」のプログラム実施者となった市民らが、文化芸術に関わる自らの創造性をいかに高めることができたかを見るものである。こうした学習を通じて、彼らが地域における他の諸課題に対しても創造的な解決を行っていくことが期待される。このように創造と学習の視点は、すぐれて未来志向、成長志向の視点といえる。

「ベップ・アート・マンス」は、より多くの市民が参加しやすい仕組みを作ることを最大の目標としていた。すなわち、市民がアートの鑑賞者に止まらず文化芸術活動の表現者・担い手の一員として参画することを通じて、自らの創造性を発揮・拡張させることが目指されている。

創造と学習の視点に関するターゲットとしては、「ベップ・アート・マンス 2012」への参加団体・個人数、プログラム数を設定した。従来の「ベップ・アート・マンス」の開催期間が1ヶ月であったのに対して、「混浴温泉世界」との同時開催となる今年度は開催期間が2ヶ月となるため、2011年実績（57団体・個人、87企画）を大きく上回る目標

(90団体・個人、130企画)を設定したが、実績(122団体・個人、148企画)は当該目標値をさらに上回る結果となった。

プログラム実施者へのアンケートによれば、過去の「ベップ・アート・マンス」への参加経験を持つ参加者が33%であるのに対して、今回初参加の団体・個人が67%と2/3を占めており、新たな参加者を呼び込んでいる。

また、今回のプログラム実施者の81%は来期の「ベップ・アート・マンス」にも参加したいと回答しており、持続可能な市民の文化芸術活動の場として、「ベップ・アート・マンス」が機能していることが窺える。自由記入欄を見ても「一度試しに出てみたので、次回は本気で取り組みたい」「すでに来年の計画をしている」「自らの企画を通じて別府のすばらしさを伝えていきたい」など、前向きな意見が寄せられている。

(2) マネジメントの視点

マネジメントの視点、ステークホルダーの視点は、主に事業の実施プロセスを評価するもので、事業実施のあり方に現在進行形でメスを入れていくことになる。

このうち、マネジメントの視点では、当実行委員会による実行体制の確立強化を目指し、事務局業務が効率的・効果的に遂行されていたか否かの評価を行う。当該業務の質はプログラム実施者へのアンケートによって評価することとしている。また、実行委員会に関しては、役割分担の明確化することで円滑な運営を図ることとした。

「ベップ・アート・マンス 2012」のプログラム実施者へのアンケートの集計結果によれば、事務局業務に対する満足度は82%と高く、2011年の水準(80%)を維持しえた。「混浴温泉世界」との同時開催となった2012年は、例年以上に事務局業務が繁忙を極めたことを思えば、全体的には及第点といえるのではないかと。但し、個々の業務を見ると、広報業務代行に効果があったとの回答は増加(2011年86%→2012年91%)する一方、受付業務代行、チケット販売協力についての満足度はやや低下(2011年95%→2012年80%)している。

実行委員会の出席率は平均して約6割と、2011年の約5割を若干上回る水準となった。事務局の専従スタッフと異なり、実行委員は本業のかたわら委員会に出席するため、全員の日程調整が難しい面がある。このため、全体会合と並行して、検討テーマ毎に複数の部会を設けて随時開催を行うことで役割分担の明確化を図った。

(3) ステークホルダーの視点

創造と学習の視点ではプログラム実施者、マネジメントの視点では主催者である実行委員会の内部体制が問われたが、「混浴温泉世界 2012」「ベップ・アート・マンス 2012」の同時開催に際しては、他にも数多くのステークホルダー(関係者)の協力を得る必要がある。別府において「観光地型・文化芸術創造都市」のプラットフォームを形成するためには、多様なステークホルダーとの協力体制を確立することが不可欠である。

BSCでは、両事業をサポートするボランティアの参加人数、県内他地域の文化事業で連携した自治体数を業績評価指標に採用している。

このうち、前者のボランティア参加人数については、350名をターゲットに設定したが、実績は660名となり、目標を大きく上回った。「ベップ・アート・マンス」は通常、プログラム実施者である市民が自らプログラムを実行するため、ボランティアは比較的少数で足りる事業構造となっている。これに比べて、市内各所で招聘アーティストによる多彩なアートプロジェクトを同時展開する「混浴温泉世界」では、総合インフォメーションセンター(別府駅構内)や各会場の受付業務、事務局業務のサポートをはじめ、多数のボランティアを動員することが必要となる。今回参加したボランティアの多くは、後者の業務に協力いただくこととなった。なお、総数としては目標を上回ったものの、平日は学生・社会人の参加が難しく、必要なボランティア人数の確保に苦労した期間もあった。このため往々にして、事務局スタッフが自ら会場受付を担当するケースも多く見られた。しかしながら、「混浴温泉世界」「ベップ・アート・マンス」を円滑に運営するうえでは、専従スタッフは極力、両事業全体に係る企画・調整業務に従事するのが効率的・効果的である。次回の「混浴温泉世界」開催に向けて、受付業務を中心としたボランティアの確保は課題といえよう。

後者の連携自治体数については、2自治体をターゲットに設定した。実績としては、「混浴温泉世界 2012」の会期中である11月に国東半島で開催された「国東半島アートプロジェクト 2012」と連携を図ることができ、2自治体(アートプロジェクトの会場となった国東市、豊後高田市)との連携という目標を達成した。さらに、自治体以外の個別の文化施設やアートプロジェクトにおいて、大分市(大分市美術館、アートプラザ、県立美術館まちなか支局など)、由布市(由布院駅アートホール、市内ギャラリーなど)、福岡県糸島市(「糸島芸農」)、熊本市(熊本市現代美術館)、鳥取県(「暮らしとアートとコノサキ計画」)、北九州市(「『ORIGIN』+『ORIGIN part2 -BSS-』」「街じゅうアートin北九州2012」など)との連携を図ることができた。これらの施設・プロジェクトを「旅手帖 beppu」に掲載・広報するとともに、「混浴温泉世界」パスポートを持参することで特典を受けられるサービスを付加することで、広域連携を図った。

（４）財政の視点

民間の企業経営に用いるBSCでは、財政の視点において損益・財政面の評価などを行う。民間企業の場合、利益や良好な財務体質の確保は極めて重要な目標である。但し、企業の財務諸表は過去の損益・財政状況を示すものに過ぎず、足元の利益に過度に囚われて、マネジメント（内部プロセス）、ステークホルダー（顧客）の視点に係る現在の改善活動や、創造と学習の視点からの未来に向けた人材育成投資を怠ると、中長期的にはむしろ利益を損なう懸念もある。このため、BSCに基づく戦略的経営では、これらの諸視点に係る指標をバランスよく見ながら、企業を上手に経営していくことが求められるが、それでも最終的に重要視されるのは、中長期的な利益の最大化という財政の視点である。

これに対して、当事業のような地域再生プロジェクトでは、主催者が儲けることが一義的な目的ではなく、地域に対するさまざまな外部効果（創造的人材の育成・誘致、まちなかのにぎわい創出、経済波及効果など、主催者に限らず地域全体が享受する効果）が最終目的となる。このため、「混浴温泉世界」「ベップ・アート・マンス」のBSCでは、最終的な目的として、後述するような地域再生の視点を別立てしている。

以上のような背景から、財政の視点では、金銭面で把握・評価できる範囲の外部効果として、BPの販売枚数30,000BP（1BP＝100円）を目標に設定している。ちなみにBPは金券であって、販売枚数が増えたからといって主催者である実行委員会の利益増につながるわけではない（1,100円分に相当する11BPのクーポン型金券を1,000円で販売するためむしろ負担増になる）。それにも関わらず、実行委員会がBPを発行するのは、ディスカウントした金券を販売することで、「ベップ・アート・マンス」の有料プログラムや「混浴温泉世界」への来場者の参加を促すとともに、加盟店における消費も拡大させるという、地域への波及効果を目指すからである。

30,000BP（300万円）という目標値は、2011年のBPの販売枚数13,656BP（137万円）の2倍強に相当する。「ベップ・アート・マンス」の開催期間が2倍となり、「混浴温泉世界」との同時開催となることを念頭に置いた目標設定であったが、実績は30,569BP（306万円）となり目標を達成することができた。BPを導入した初年度である2010年の販売枚数が2,760BP（28万円）であったことを踏まえれば、BPの定着が進みつつあると考えられる。

但し、「ベップ・アート・マンス 2012」の来場者アンケートによれば、BPを飲食店などで利用した人の割合は15%となり、2011年の27%から低下している。プログラムの実施者側のBPへの評価（有料プログラムにBPで支払いができることの評価を「大変よい」＋「よい」とした回答の割合）も、69%から46%へと低下した。「混浴温泉世界」との同時開催による業務量増加の中で、BPの広報・販促活動に十分な工数を避けなかった面があるかもしれない（例えば、前売り券の販促活動は今回、BPではなく「混浴温泉世界」のパスポートが主な対象であった）。もっとも、利用者の割合が低下したとはいえ、参加団体数が約2倍、来場者数が約5倍に増えたため、BPを評価・利用する人は、実数としては着実に増加しており、それがBP販売枚数の拡大につながっている。一方で、新たな団体・来場者が増加する中、そうした新しい参加者にBPを周知させていく取り組みが重要であろう。

ちなみに「混浴温泉世界 2012」来場者のBP利用割合は31%と「ベップ・アート・マンス 2012」を上回った（「混浴温泉世界 2009」当時はBP未導入のため、前回比較はできない）。市民中心の「ベップ・アート・マンス」よりも、遠隔地からの来場者が多い「混浴温泉世界」のBP利用割合が高いのはいささか意外である。後者は多くが有料プログラムであること（BPでパスポートやココダケ券を購入可能）に加えて、後者の来場者はほぼ必ず総合インフォメーションセンターに立ち寄るため、そうした場を通じたBPの周知が奏功したのかもしれない。

来場者がBPでパスポートを購入する場合、BP11枚綴りセット2冊を購入して、20BPをパスポート代（2,000円）として支払い、残る2BPを飲食店などでの支払いに充当する。とはいえ、2BP（200円）では飲食物販に足りないため、来場者はBPに足して現金を支出することになる。すなわち、BPは、実際の使用枚数よりも大きな消費を誘発していると評価できよう。加えて、BPではなく現金を使用する来場者も未だに多く（「混浴温泉世界」来場者の69%、「ベップ・アート・マンス」来場者の85%）、また、「混浴温泉世界」来場者の57%は別府などに宿泊しているが、現状、BPに加盟している宿泊施設は数えるほどしかない。このため、そうしたBPの外数となる消費も勘定に含めれば、今回の事業が誘発した経済波及効果はさらに大きいといえよう。

そこで、「混浴温泉世界 2012」「ベップ・アート・マンス 2012」の経済波及効果について、一定の仮定のもとで試算したところ、約3億5,700万円の観光消費を誘発したとの結果が得られた。こうした観光消費のうち、両事業の収入となるのは「混浴温泉世界」のチケット販売収入1,644万円などごく一部であり、多くは市内の宿泊施設、飲食店、商業施設、温泉施設などの収入になったと考えられる。ちなみに、「混浴温泉世界 2009」における経済波及効果は、当時の試算によれば5,000万円であった。1人当たり消費単価の設定など試算方法が今回とは異なるため、単純な比較はできないが、「混浴温泉世界」「ベップ・アート・マンス」が定着してきたことで、地域への波及効果も拡大してきたものと考えられる。

以上のように地域への波及効果が目的として重要ではあるが、「混浴温泉世界」「ベップ・アート・マンス」を持続可能な取り組みとして続けていくうえでは、事業自体の安定的な財政基盤の確立が重要なことは言うまでもない。こうした観点から「混浴温泉世界 2012」のチケット販売収入実績を見ると、鑑賞券販売枚数10,639枚（パスポート7,676枚、ココダケ券2,963枚）、収入1,644万円となった。ほぼ知名度ゼロからスタートした「混浴温泉世界 2009」のパス

ポート販売枚数3,012枚と比較すれば格段に伸び、今回の目標である販売枚数10,400枚（パスポート10,000枚、ココダケ券400枚）には届いたが、パスポートの販売比率が当初より低く収入1,708万円には及ばなかった。

一方、BSCで目標に設定した協賛金・各種助成金の額・件数の実績は、32件、6,686万円となり、前回実績の15件、1,033万円、目標値の30件、3,000万円を大きく上回った。

また、BSCでは創造都市記録誌を作成して有料で販売することを想定（販売目標500冊）していたが、その後の検討の中で、無料にして発行部数を増やすことで、多くの人々に大分県内でのアートプロジェクトの取り組みを知ってもらおうという狙いの方針転換を行った。具体的には「ARTRIP 特集 混浴温泉世界」という冊子を70,000部印刷し、県内外への配布を行った。このため、評価項目としては、当初想定していた財政ではなく、主にステークホルダーの視点に寄与する項目にシフトしたと考えられる。かかる視点から見て、同冊子は、全国各地で広く配布されるとともに来場者にも配られることで、「混浴温泉世界」をはじめとする県内のアートプロジェクトを広報するうえで重要な役割を担ったといえよう。

（５）地域再生の視点

地域再生の視点では、前述の４つの視点を踏まえつつ、「混浴温泉世界」「ベップ・アート・マンス」が別府におけるさまざまな地域課題の解決に寄与したかという観点に関する評価を行う。

このため、別府の新しい魅力の創出を通じた交流人口の増大、中心市街地の回遊性の改善を評価するターゲットとして、「ベップ・アート・マンス」入場者数と参加プログラムの質、「混浴温泉世界」入場者数、「ベップ・アート・アワード」鑑賞者数を掲げている。

「ベップ・アート・マンス 2012」の総入場者数は53,736名となり、2011年実績（11,751名）の4.6倍、目標（17,000名）との対比でも3.2倍となるなど、目標を大幅に超過達成した。但し、創造と学習の視点で述べたように、「ベップ・アート・マンス」の最大の目的はアートの担い手としての市民参加を進めることにあり、入場者という受け手の数の増加を過度に高評価することは控えたい。もちろん多くの来場者を迎えることは、実施者の大きな励みとなるものであり、こうした観点から入場者の増加を喜ばたいと思う。また、来場者数という量に加え、「ベップ・アート・マンス」の質の面においても、高い評価（「ベップ・アート・マンス」に参加した感想として、「大変よい」＋「よい」との回答の構成比が、来場者アンケートで94%、実施者アンケートで99%）が得られた。

一方、「混浴温泉世界」については、広域から観光客を誘致することで、別府の新たな魅力を全国発信することが、市民参加や人材育成と並んで大きな目的である。ゆえに、入場者数という業績成果指標の持つ意義は、「ベップ・アート・マンス」よりも重要と考えられる。「混浴温泉世界」の入場者数については、2009年の入場者実績9万人に対して、2012年の目標を10万人に設定したが、実績は117,348人となり目標を上回るものとなった。

実際に来場した人数と同時に、別府が「観光地型・文化芸術創造都市」として全国に情報発信され、地域ブランド力が向上するという定性的効果も重要である。こうした情報発信力を客観的・定量的に評価するうえで、業績評価指標には掲げていないが、広報活動の展開によるメディアへの掲載件数とそれらの報道の広告換算の結果を見てみたい。これによれば、2010年の61件、約1,200万円、2011年の91件、約7,700万円に対して、今回は335件、約4億6,500万円と大きく増加した。例年の「ベップ・アート・マンス」に加えて「混浴温泉世界」が同時開催となったことから、地元メディア（大分合同新聞、西日本新聞、今日新聞、全国紙の地方面、大分ローカル局の地方版ニュースなど）はもちろん、全国メディア（NHK、日本経済新聞などの全国版や、「ジバング倶楽部」「クロワッサン プレミアム」「BRUTUS」などの全国誌）でも別府の取り組みが報道された成果といえる。

但し、前回の「混浴温泉世界」のメディア露出広告換算は約28億7,000万円と今回を大きく上回っていた。もっとも、このうち約24億4,500万円はNHK(Eテレ)の「日曜美術館」での特集（45分×2回）によるものである。事務局として、集客力を向上させるうえでも、こうした全国的な影響力を持つメディアに取り上げてもらえるよう引き続き努めていく必要はある。とはいえ、2009年の実績が「日曜美術館」という単発の幸運に恵まれた面は否定できず、これを毎回のハードルとするのは厳しい。そうした意味では、今回の結果が「混浴温泉世界」による地域ブランド力向上効果の一つのメルクマールになるのではないかと考える。

「ベップ・アート・マンス」については、代表的な登録プログラムの一つである「ベップ・アート・アワード 2012」の鑑賞者についても、目標値を設定している。当プログラムの会期は前回・今回とも1ヶ月弱と変化がないことを踏まえつつ、「混浴温泉世界 2012」との同時開催による相乗効果も鑑みて、2011年実績871名に対して、1,000名を目標としたが、今回の実績は1,643名と前回実績の1.9倍、目標の1.6倍となった。作品自体の持つ力はもちろんであるが、従来の「ベップ・アート・マンス」入場者に加えて、「混浴温泉世界」を目当てに来た観光客の一部が、当プログラムにも立ち寄ったことで相乗効果が生まれたものと推測される。

以上では、入場者数を中心に、事前に設定したターゲットを達成できたか否かを検証した。しかしながら、別府の地域課題の創造的解決への寄与という最終目的に照らせば、会期中の来場者数はあくまで短期的目標に過ぎず、中長期的には、別府における創造的人材の育成・誘致や、会期中に止まらない別府全体の交流人口の拡大こそが重要なインパクト

トといえる。こうした目標を短期的に評価することはたいへん難しいが、参考指標として、「ベップ・アート・マンス」の来場者アンケートにおいて「来年はプログラム実施者として参加したいか？」という質問に対して、23%の来場者が「はい」と答えたことを挙げておきたい。前回の48%よりは低下したものの、来場者が約5倍に増えたことを踏まえれば、希望者の実数はむしろ増えているとも受けとめられる。そもそも前回アンケートで「参加したい」と答えた人々の一部が今回参加したことで、参加団体・個人数の倍増という結果をもたらしたのであり、それにも関わらず、潜在的なプログラム実施者がまだ来場者の23%いるということは、別府の大きなポテンシャルといえる。

こうした人々が将来、別府の文化芸術活動や市民活動に積極的に参画することで、最終目的である別府の創造性向上につながっていくだろう。そして彼らの存在は、今後の「混浴温泉世界」「ベップ・アート・マンス」を担う地域インフラともなる。彼らがプログラム実施者として参画することで「地域再生の視点」はふたたび「創造と学習の視点」へと回帰し、創造都市実現に向けた好循環が描かれることが期待される。

6-3. 今後に向けた課題

以下では、これまでの検証を踏まえた今後の主な課題について改めて整理を行う。

これまで述べてきたように「混浴温泉世界 2012」ならびに「ベップ・アート・マンス 2012」は、BSCで設定した業績評価指標を達成した。来場者数は目標を上回り、メディア露出も含めて「観光地型・文化芸術創造都市」としての地域ブランドを全国に発信できたといえる。「ベップ・アート・マンス」におけるプログラム実施者や来場者の反応を見ても、市民が今後とも別府の文化芸術活動や市民活動に積極的に参画していこうとする意欲は高く、最終目的である別府の創造性向上につながる好循環が生まれつつある。

今回、「混浴温泉世界」「ベップ・アート・マンス」の同時開催にともない、極めて大量の作業を同時遂行する必要がある中であって、両事業を推進する事務局の業務体制に対しては、「ベップ・アート・マンス」のプログラム実施者から比較的高い評価が寄せられた。

この他に、事務局運営その他に関する課題を幾つか挙げてみたい。

・事務局運営について、連絡の不足・遅さを指摘する意見が一部のプログラム実施者から寄せられており、受付業務代行・チケット販売協力への満足度もやや低下している。このため、次回「ベップ・アート・マンス」ではきめ細かい対応を図る必要がある。

・「混浴温泉世界」ではボランティアの確保に苦労した面があり、次回開催に向けて改善を図る必要がある。

・BPの利用者は実数としては増えてきているものの、新たな参加者が増えたことから認知の度合いが低下している。次回の「ベップ・アート・マンス」でも一層のPRや利便性向上に努めるべき。

・「ベップ・アート・マンス」のポスターとパンフレットの納品は前回に比べて前倒しできたものの、「混浴温泉世界」のアートプロジェクト会場の確定が直前までずれ込んだため、来場者が予定をたてづらかった。

・来場者アンケートの回収枚数は、「混浴温泉世界」1,030枚（2009年727枚）、「ベップ・アート・マンス」314枚（2011年1,030枚）であり、今回は「ベップ・アート・マンス」のアンケート回収枚数が少なかった。その理由として、アンケート用紙の配布や準備の遅れと、実施者へのアンケート実施の周知の不足が挙げられる。300枚程度のサンプルがあれば相当程度の分析は可能であるが、来場者アンケートは「ベップ・アート・マンス」の今後のあり方を考えるうえで貴重なデータであり、その精度を上げていくことは重要である。このため次回は、各プログラムの実施者に来場者アンケートの配布・回収を促していくことが望まれる。

・会期が近づいたにも関わらず、ウェブサイトの更新が遅れがちな時期があった。現場の準備作業が繁忙を極めるといいうやむをえない事情はあったものの、会期前の重点的・戦略的情報発信による話題づくりは、特に遠隔地の人々に別府旅行を決意させるうえで最優先すべき事項である。

・「混浴温泉世界」と「ベップ・アート・マンス」のサイトは別々のウェブサイトが相互にリンクのみでつながっていた。今回の「混浴温泉世界」は8つのアートプロジェクトに重点化して実施し、来場者アンケートによれば結果的に高い満足度が得られた。しかしながら、8つという数に少なさを覚え、旅行を躊躇ったアートファンがいる可能性もある。ウェブなどを通じて「ベップ・アート・マンス」にもアートファンが楽しめるプログラムが数多くあることを発信するなど、両サイトの一体性を高めることも考えるべきではないか。

大分県では現在、「国東半島アートプロジェクト」をはじめ、大分市美術館（2013年の草間彌生展開催を企画中）、アートプラザ、「国見町工房ギャラリーめぐり」など県下各地でさまざまな文化事業が動き出している。さらに、次回「混浴温泉世界」が開催される2015年には県立美術館の開館も予定されている。別府としては、こうした広域的な創造都市の取り組みのフロントランナーとして存在感を発揮しつつ、相乗効果を生み出していくことが重要である。そのためにも、2013年以降の「ベップ・アート・マンス」で着実に効果を出していきながら、「混浴温泉世界 2015」に向けた運営基盤の確立を図ることが求められる。

第7章 統括と今後の展望

以上のように、各章で客観的な評価も交えつつ別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」を振り返ってきたわけだが、総括とともに、次回2015年に向けての展望について述べていきたい。

本事業の目的は、文化芸術の振興、観光振興・地域の活性化と多様性の開拓、人材育成の3つの方向性からなる。今回の事業を行うにあたって、第2章や平成23年度の「ベップ・アート・マンス2011」事業報告書の第9節でも記しているように、下記の文章で表すことにした。

『この場所・別府市らしいアートプロジェクトを実現し、全ての参加者が満足する丁寧なサービスの提供を目指すことで、世界で最も素晴らしいと言われる芸術祭を開催する』

本事業の目的を踏まえ、さらに上記の文章が表す志しや想いが十分に実現したか考えていくためには、今回だけの単年度事業としてではなく、2009年からこれまでに何を目指し、何を実施してきたのか、そしてその戦略は正しかったのか検証したい。

2010年以降に実行委員会が目指してきたことは、一言で言えば、市民の独自の創造的活動を誘発させるとともに、アートと町が繋がっていく仕組みを構築することであった。主な具体的な取り組みについては以下の通りである。

- ①「混浴温泉世界」の実施プログラム数を減少させ、それぞれのプロジェクトの規模や質の向上に努めた
- ②市民参加による文化祭「ベップ・アート・マンス」を毎年継続的に開催した
- ③町とアートを消費の側面からつなげていくために金券「BP」を開発した
- ④アートだけではなく、町の魅力をコアターゲットに伝えていくためのフリーマガジン「旅手帖 beppu」を発刊した
- ⑤他地域との広域連携を促進させ魅力の向上を図った

それぞれの事業に関しては、前章までのBSCを含めた検証の通りであるが、数字として表れにくい以下のような効果があったことを実感している。

【文化芸術振興の視点】

地域内でのメディア掲載や放送が増えたことによる認知の増大や、日常的な場でのプロジェクト実施によって芸術の理解が促進された。特に、中心市街地の楠銀天街のプロジェクトでは、アーティストが関わり続けたこともあり、一般市民の理解が促進され、作品をそのまま残して欲しいと言う要望なども多く聞かえた。

【観光振興—地域経済の活性化の視点】

金券「BP」を使用していない、もしくは不足分を現金払いし飲食店などで使用したお客様も多く、実行委員会で確認できていない消費効果があったこと。

【観光振興—新規顧客の増大】

通常訪れないような県外からの若年層女性客が多く訪れ、しかもその視点で町を評価してくれたことで市民が改めて地域の魅力に気づいた。

【人材育成—関係者の増大】

3年毎の大型事業「混浴温泉世界」だけではなく、毎年「ベップ・アート・マンス」を継続しプログラム実施者数が増えたことによって、多様な方が町と関わりはじめていること。

これらは、鑑賞者や関係者からのアンケートおよびヒアリングからは見えてきにくい効果であるが、実行委員会としては、この事業が別府市の活性化にいかに関与するかが内部評価を考える上で重要な点であるので、BSCの中でも特に取り上げるべきだったと考える。しかしながら、ほとんど毎日のように公式ガイドツアーおよび非公式のガイドツアーを行う中で、日に日に市民からのねぎらいの声やプロジェクトの現場への度重なる”差し入れ”が届くようになったことを考えても、徐々に、また局所的ではあるが地域に浸透しつつあることは間違いない。

その一方で、芸術祭としての質や中身においては課題を残している。特に、この事業を行う上で重要な考え方、いわゆるサイト・スペシフィックなプロジェクトを展開するという点においては、前回から十分な時間があつたにもかかわらず、消化不良の感があることも指摘されている。

これは、作家の力量という点ではなく、高名で多忙な作家のプロジェクトを実施することのリスクでもあり、最後まで作品が届かなかったり、場所の特性を伝えきれていないと言えないプロジェクトもあった。この点は、次回の作家人選やスケジュール管理において課題を残している。

逆に、先述の楠銀天街や永久別府劇場でのプロジェクトはその場所を最大限に理解し活かすという点では当初の計画以上に効果があつたと考える。特に永久別府劇場での金粉ダンサーによるパフォーマンスは、毎ステージ通い続ける市民やファンがついたこともあり、終盤になるにつれ目玉プロジェクトとして効果を発揮した。

この期間中に制作された作品のほとんどは会期終了と共に撤去されている。前回は指摘しているが、いずれも国際的に評価の高いアーティストが別府のために構想し制作したことを思えば、地域振興においても観光資源としても第一級の財産となり得た作品である。アートで地域再生を図る香川県直島町や新潟県越後妻有地域などの事例を鑑みても、これらを撤去してしまうことは大きな文化的損失とも言えるだろう。次回は是非、計画の当初段階からより多くの作品が残っていけるような仕組みをつくっていききたい。

また、運営面では前回に続き事務局の体制においても大きな課題が残る結果となった。特に、進行管理の面とボランティア確保も含む現場の運営面で最後まで場当たり的な対応が続いたことは大きな反省である。次回は、3年先を見据えたスケジュールリングとともに、事務局内部での情報の共有や経験の蓄積、リスク管理などとともに、アウトソーシングできる業務に関しては地域の様々な関係者と協力していける体制作りが求められる。若い組織・体制は次代の地域を支える担い手人材を育成しているという観点からも他に無い魅力として評価される一方、経験の不足は否めない。だからこそ、次回までの3年間を無駄にすることなく経験を積み重ねていきたい。

今回は前回に比較して全国の広報が手薄だったことも指摘しなければならない。最終的には前回並みのメディア掲載数となったが、直前になり現状を見かねたライターなどによる協力もあって、いくつかのメディア掲載が実現した。今後は外部スタッフの人選に関してもさらに慎重に進めていくことが求められるだろう。しかしながら、地域内メディアでの掲載や放送に関しては、前回以上に上げていただいた。改めてこの場で感謝したい。

また、フリーマガジン「旅手帖 beppu」の効果もあり、本事業のコアターゲットである若年層女性の取り込みは以前にも増して増大している。事業期間中だけではなく、閉幕後もこのフリーマガジンの問い合わせは大変多く、県外からの来別にもつながっている。この報告書にはデータは記載できないが、閉幕後の動きも含めてこのような地域ブランド力が高まっていくことが本事業の目的の一つであるため、過小評価すべきではないだろう。

ファンドレイズの面について、大分県、別府市とも前回に比較して負担金額が増えた。さらに、幸運なことに文化庁のイニシアティブ事業のような補助制度が生まれたこともあり、開催するための資金の基盤が出来た。ただし、文化庁の事業は3年後も同様の制度がある保証はない。また、開催地である別府市の負担金も割合として考えると前回よりも逆に減っていることも事実である。次回の開催に向け、この事業が行政にとってどのように位置づけられていくのか、当面一番大きな課題と言えるだろう。

同じく、チケット販売数に関しても当初の販売目標を下回っている。前回に比較して増えてはいるが、昨今の行政および民間企業の財政状況が厳しい現状から考えても、何よりも優先される事項でもあるので、実行委員会内部で改めて協議を行い対策を取る必要がある。

逆に、民間企業サポートは前回に比較して大きくなっている。全国では、前回から引き続いてアサヒビール(株)、今回が新規となる(株)資生堂のサポートや、地場企業では(株)大分銀行による大口協賛は、他社への影響も小さくなかった。全ての協賛および協力企業に感謝しているが、なかでも、(株)大分銀行は運転資金の調達も含めて、資金面に関して言えば今回の事業において最も大きなサポートをいただいた。深く感謝の意を表したい。

以上見てきたように、前回同様に事業の内容や個々の作品、公演に対しては、肯定的な意見、感想が多かったものの、今後の方向性、特にサイト・スペシフィックなアートプロジェクトの実践という観点においては再度の見直しを必要とされている。

それと同時に運営面については厳しい指摘も寄せられている。まだまだ、3年間をかけて組み立ててきた様々な取り組みが、十分に地域に浸透しているとは言えない状況だ。新たな試みを実践していくことも大切ではあるが、これまでの良さも含めしっかりと検証した上で、深化させていくことも必要だろう。

ベップ・アート・マンズのプログラム実施者や地域の観光・商業関係者からは、より積極的に企画段階から実行委員会と密に関わっていきたいという声も多く寄せられている。次回に向けて、3年間のスケジュールリングを組み直した上で、別府市、大分県にとってどのような未来を目指していくべきか、多くの方々と共に計画作りをしていくことが、何よりも重要なことではないだろうか。

アートは人々の想像力を拡大させ、創造力を喚起させる効果を持つ。アーティストは課題の解決を図るのではなく、作品を通して問題提起を行っている。町でアートプロジェクトを実践していく価値は、地域商業の活性化という点ではなく、自由な視点やものの見方についての気づきを促していくことに他ならない。この試みが継続されていく中で、人々の活力が活性化しより豊かな市民社会の創出こそが、本事業の最も大きな目的であると言えるだろう。

以前にも増して、別府市でのアートによる取り組みが注目され本事業の重要度が高まっている。次回開催までの3年間でこの試みが大きく花開くよう、『この場所・別府市らしいアートプロジェクトを実現し、全ての参加者が満足する丁寧なサービスの提供を目指すことで、世界で最も素晴らしいと言われる芸術祭を開催する』ことを目指していききたい。

2012年10月6日(土) 大分合同新聞 朝刊 1面

別府の街を美術館や劇場にして、多彩なアートプロジェクトを展開する別府現代芸術フェスティバル「湯の街アート一色」が、別府市で開幕する。09年に続く2回目の開催で、国内外から招かれたアーティストが別府のための作品を創造し、さまざまな場所で開催する。美術館の中にとどまらず、地域全体を舞台にして、地元の人々を巻き込み、地域振興の作品を生み出すことを狙いとす。3年に1度の国際芸術祭。12月2日まで約28日間に、芸術、中心市街地、鉄輪、別府温泉観光港の各エリアで、美術やダンスなど8つのアートプロジェクトを展開する。



のほろけと結合し、群衆の群衆（「オウゴン」）に設置された「オウゴン・マシーン」の作品。12月2日まで、別府市山手町。

別府 現代芸術 フェスティバル 2012

湯の街アート一色

別府の街が舞台となる異空間が広がる。鉄輪地区の路地では吹き上がる湯煙と絡み合う巨大な竹細工を披露する。タイトルの別府温泉世界城高性化につなげたい。山手町は、別府風情にふさわしい。別府を国籍、地位などに関係なく、さまざまな人々が別府を訪れては入れ替わっていくという芸術祭の考え方を象徴している。



きょうから58日間 多彩な作品発表

鉄輪地区に設置された吹き上がる湯煙と絡み合う巨大な竹細工作品

「湯の街アート一色」の会場エリア



JR別府駅南口に開設したインフォメーションセンターなど、全プロジェクトを統括するバスポート型チケットを販売中。一般が500円、大学生・専門学校生が300円、中学生以下が100円。問い合わせは実行委員会事務局のNPO法人「ベップ・プロジェクト」(0977-22-3360)。

山手町は、別府風情にふさわしい。別府を国籍、地位などに関係なく、さまざまな人々が別府を訪れては入れ替わっていくという芸術祭の考え方を象徴している。

山手町は、別府風情にふさわしい。別府を国籍、地位などに関係なく、さまざまな人々が別府を訪れては入れ替わっていくという芸術祭の考え方を象徴している。



●六角形のキャバレーの天井板などを使ったオブジェが設置されるアーケード＝別府市楠町で●作家の指示に基づき、地下飲食店街跡でマイクを使ったオブジェを作るボランティア＝別府市元町で



街角や古い建築物を舞台に空間芸術や舞台パフォーマンスを繰り広げる別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」（毎日新聞社など後援）が6日開幕する。3年ぶりの開催で、作家たちは続々別府市入りして仕上げの真っ最中。12月2日までの期間中、湯の街は現代芸術一色になる。
【祝部幹雄】

天井板、マイク…

あすから

湯の街アート 脇役彩る

見聞録



竹彫刻を並べ、空間を十分に活用。期間中、海外招待作家ら8グループ15人がメインアーティストとして参加して八つの個性的なプロジェクトを展開する。百貨店の空きフロアに煙と光の幻想空間を

3年ぶり「混浴世界」

空襲を逃れた別府には昭和の香り色濃い路地裏が多数残る。築100年超の家屋を美しい空間に作り替え、古い地下飲食街跡にオブジェを置き、温泉街に現代芸術を堪能した。東京の振付家、東野祥子さん(39)は、フロアと市民ダンスを交えて練習し、12月上旬にアーケードでダンス公演する計画。「日常を作るベルギー人のアン・ペロニカ・ヤンセンさん(36)は「別府の湯煙や霧をイメージし、面白い作品を作りたい」と話す。通しのパスポートは

2000円、大学・専門生1900円、高校生1800円(いずれも前売り300円引き)。事務局0977・22・35000。

催し

★ベップ・アート・マンス 6日、12月2日、別府市内54カ所。「別府 町じゅう文化祭」が台言葉で、アート展から参加体験型イベント、ダンスや音楽など123団体149種のイベントを予定する。混浴温泉世界との共同開催。会場の他、飲食店や温泉でも使える1100円クーポン「BP」も1000円で販売。JR別府駅に

総合案内センター。実行委0977・22・35600。

The Japan Times

KANSAI



The Japan Times Printer Friendly Articles

"Beppu Contemporary Art Festival 2012: Mixed Bathing World"

Various locations in Beppu

By TOMOHIRO OSAKI
Staff writer

Beppu in Oita Prefecture is one of the most prosperous hot-spring areas in Japan. Nonetheless, it has been suffering a depopulation of youths and a decline in tourists. In response, a number of volunteers and NPO organizations have been working on reinvigorating local culture through art projects.

The "Beppu Contemporary Art Festival 2012: Mixed Bathing World" is one such project, for which a number of bamboo sculptures are being displayed throughout the city's Kannawa area. Designed to complement Beppu's natural resources, the works are particularly impressive when seen amid clouds of steam rising from hot springs; Oct. 6-Dec. 2.



Various parts of Beppu City; (0977) 22-3560; "Blue, red and yellow" (2001)

Beppu and surrounding areas, Oita; Beppu Station, JR Line. Open and close times vary. ¥2,000 (for a passport ticket). mixedbathingworld.com.

Other arts this week



Looking at art from a local perspective

By YOKO HARUHARA



Drawing a bead on functional items as 'art work'

By C.B. LIDDELL



"The Heart of the Chef's Hospitality: Tankumakita's Cuisine and Serving Ware"

89

榎木野衣 月評第54回 混浴する客人まれびと

別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」

去る2012年は、地域に根ざしたアートを中心とする規模の大きい芸術祭の当たり年で、新潟で開かれた「水と土の芸術祭」(新潟市)、「大地の芸術祭」(十日町市、津南町)のほか、大分でも「混浴温泉世界」(別府)、「国東半島アートプロジェクト」(継続中)が開かれ、幸い私はどれも足元運ぶことができた。

いずれも刺激的で多くの発見に満ち、日本での大規模芸術祭として着実に成果を挙げつつある。もとより大胆な四季の変化や複雑な地形に富み、狭い国土とはいえ、驚くほど多様な風土や慣習を抱えてきた日本列島には、欧米型のいわゆる「国際展」よりも、こうした自然や地理に根ざした「芸術祭」のほうが、観る側にとっても、

はるかに受け入れやすいのだろう。岡本太郎が美術よりも視察に注目したように、日本の祭りこそ、列島の風土や自然から自然発生的に生まれたものだからだ。なかでも、ほとんど強制と言ってよいくらい場所の力を感ぜさせたのが、別府での「混浴温泉世界」である。

言うまでもなく、別府は日本を代表する温泉街として栄えた数々の観光地だ。なだかな傾斜を描いて別府湾を臨む市街地は、少し歩いただけで、至るところ源泉の噴気があり、雑草の匂いが鼻を刺激する。地面に手を当てれば、その地熱の温かみさを感じることができ。いわば、地球の地殻エネルギーがそのまま地上まで伝わり、溢れ出し、人々に多くの恩恵を与えてきた(もともと、それが

反転すれば大規模な自然災害に化けかねない)。そんな意識、理俗を伴った特別な場所なのである。

こうした土地のもたらす「熱狂」と「祝祭」に惹かれ、別府には、日本のみならず世界の各地から様々な人が集い、驚くことに現在でもなお、日本でもっとも外国人の居住率が高い地域なのだという。人が混ざれば文化も混ざる。「混浴温泉世界」とは実にうまく言ったものである。

反面、これだけのエネルギーを持つ街でアートをやることのむずかしさも当然、予想される。すぐに思いつくのは、それほどの力に拮抗できるアートがありうるか、ということだろうし、もしくは、せっかくアートは自律できず、そんな地の利にあやかっているだけではないのか、というものである。が、結論から言えば、本芸術祭はその点でもよく健闘している。まず、とくに参加作家の人数やプロジェクトの規模を競いながら

昨今にあつて、ここではプロジェクトの数が増え続けている。そのぶん、街の歴史や今日に至る経緯を熟考したうえで、ひとつの場所が選ばれている。そこにアーティストの権限力が加わることで、土地の由来と盛り合うのでも、観光の利にあやかるのでもない、きわめて複合的で、ある成果が実を結んでいる。加えて、地元の商店街や住民との繋がりがごく自然で、なおかつ有機的に結ばれている印象を受ける。これもまた、素性の知れぬよそ者を問わず受け入れてきた温泉地ならではの懐の深さや無難ではあるまい。むしろ、総合プロデュースでありアーティストでもある山出淳也の並々ならぬ努力あつての賜物ではあろう。が、考えてみれば、すぐれたアーティストはいつだって、よき客人ではなかったか。

PROFILE

あらまのい、別府市生まれ、1969年生まれ。



左—クリスチャン・マウジー、火と水、2012、のほり、2種類の紙、サイズ可変
 右上—宮本博(マウジー・ジェ)、ローマの柱、2012、竹、150×117×152cm
 右下—別府タワーのネオンを利用した小沢剛の「バベル」の塔(別府)(2012)



シルバ・グプタ、無題(シンキング・マイク・プロダクション)、2012
 5000本のマイク・プロダクション、マルチヤン・ネール・ディオ
 310×105×82cm、400×118×81cm
 撮影—久保貴史、©別府現代芸術フェスティバル、混浴温泉世界実行委員会

別府現代芸術フェスティバル2012 混浴温泉世界

2012年10月6日～12月2日

近畿圏として名高い大分県別府市の名所を舞台に、2009年から3年に一度開催されている国際芸術祭。別府八雲にちなみ8つのエリアで構成され、奥の院やタナメツと様々なジャンルの作品が展示された。クリスチャン・マウジー、シルバ・グプタ、アンジェロ・ニカヤン・モリス、小沢剛、宮本博(マウジー・ジェ)など、国際的なアーティストが参加した。総合プロデュース—山出淳也、総合ディレクター—片岡英志、キュレーター—佐賀真一・佐賀文彦。



「永久別府劇場」其中一個表演項目由「人間 Dogs」樂隊負責，迷幻音樂配以即興表演。



其中一個表演場地「永久別府劇場」，前身為大分縣唯一的脫衣舞劇場，「從良」後化身混合藝術劇場。

別府溫泉

JAPAN

現代藝術祭

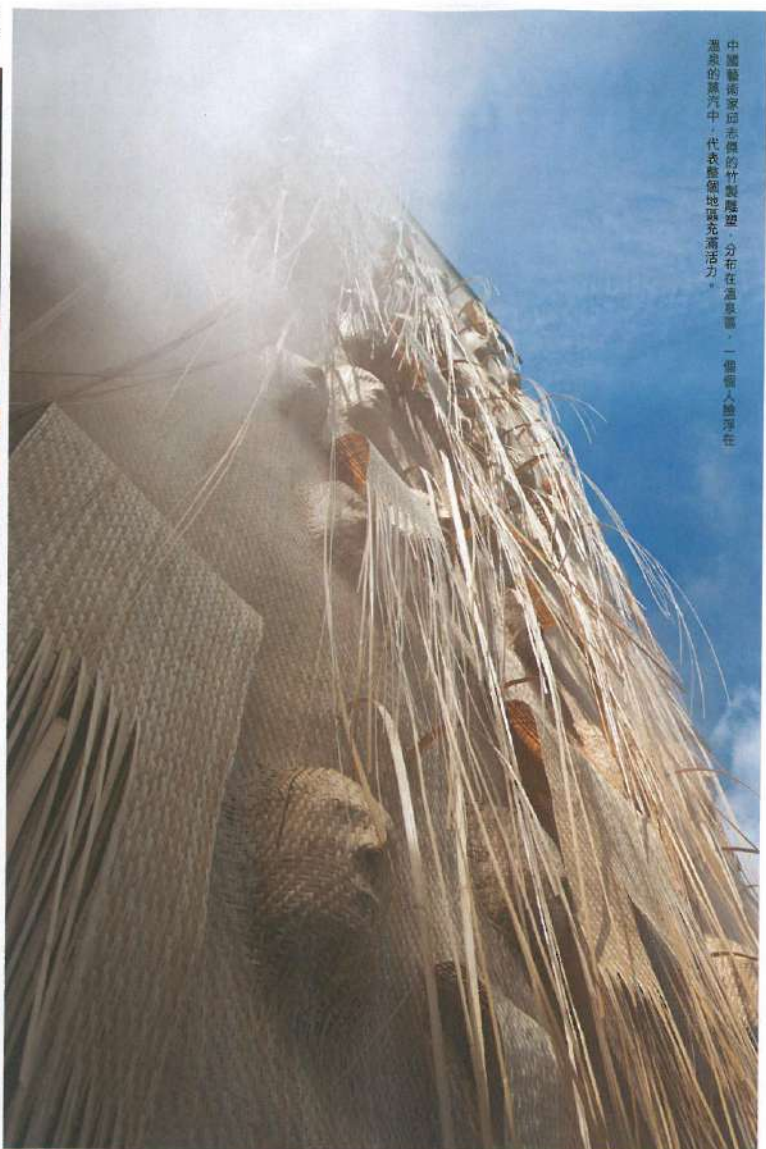
去

別府除了浸溫泉，現在還可以睇藝術裝置和不同風格的歌舞劇場！說的是第二屆別府現代藝術嘉年華——「混浴溫泉世界」。「混浴」，非單單形容男女共浴咁簡單，而是意指一個可以容納不同藝術形式的世界。就像無論男女老幼甚麼國籍和宗教，來到別府浸溫泉都會肉帛相見，不分彼此……夾唔夾硬不予置評，不過整個活動的確十分豐富，除了主要的 8 個藝術計劃，如把整個商店街化為劇場、把廢置空屋變成藝廊之外，每星期還有不同藝術體驗活動，吸引當地人與遊客，非常熱鬧！



別府現代藝術嘉年華「混浴溫泉世界 2012」

• 日期：即日起至 12 月 2 日 • 費用：一日票（已包括觀看不同表演及進入不同展覽）成人 2,000 日圓（約 194 港元）、大學生 1,900 日圓（約 184 港元）、高中生 1,800 日圓（約 174 港元）、中學生以下及殘障人士免費 • 地點：日本大分縣別府市內各地（中心市街地／鐘錶地區等） • 網址：www.mixedbathingworld.com



中國藝術家邱志傑的竹製雕塑，分布在溫泉區，一個個人臉浮在溫泉的蒸汽中，代表整個地區充滿活力。



《火與水》那 100 支分別為紅與藍的旗幟，置在既有熱騰騰溫泉和涼滋滋海灘的別府海邊，非常貼題。



別府溫泉盛處，蒸汽如烽煙四起。

[HOME](#) [Topics](#) [Art Design Architecture](#) [ローカルアートレポート](#) [別府現代芸術フェスティバル2012 混浴温泉世界〈前編〉](#)

ローカルアートレポート #030



別府現代芸術フェスティバル2012 混浴温泉世界〈前編〉

posted : 2012.11.8 from : 大分県 / 別府市

各地で開催される展覧会やアートイベントから、地域と結びついた作品や作家にスポットを当て、その活動をレポート。

いいね!

247

ツイート

チェック

コロカル MY GUIDE BOOKに登録



別府に、かりそめのユートピアを。

大分県別府市で12月2日まで開催されている

別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」。

2009年に続き第2回目の開催となる今回は、国内外の著名なアーティストを招聘し、

別府の市街地を中心に8つのプロジェクトが展開中。

商店街やデパート、別府のランドマークともいえるタワーなどが舞台となり、

別府の日常の風景がいつもと少し違う表情を見せている。

「混浴温泉世界」とは少々奇妙なタイトルだが、総合ディレクターの芹沢高志さんは、

TOKYO ART BEAT

アート・デザインのバイリンガルガイド

検索

ENGLISH

ホーム

イベント

スペース

TABlog

アプリ

MyTAB

TABについて

読者について

別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」とその周辺

世界有数の温泉地で開催中のフェスティバルをレポート

本 特集記事 BY 橋本 望 2012-11-01

印刷

大分県別府市を舞台に2009年に初開催されたアートフェスティバル「混浴温泉世界」の第2回が、10月6日に開幕しました。世界有数の温泉地という地域の魅力を生かしながら質の高いアートプロジェクトを展開する本フェスティバルのオープニング風景と、注目ポイントをお伝えしたいと思います。

また、充実のツアー企画や、同時期に同市内で実施される「ベップ・アート・マンス2012」、同県後援高田市・国東市で実施される「国東半島アートプロジェクト2012」など、フェスティバルをより楽しむための情報もお届けします。

【別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」】

会期： 2012年10月6日（土）- 12月2日（日）※無休

会場： 大分県別府市内各所(浜臨エリア／中心市街地エリア／鉄輪エリア／別府国際観光港エリア)

主催： 別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会

総合プロデューサー： 山出淳也（NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト）

総合ディレクター： 岸沢高志（P3 art and environment 総括ディレクター）

キュレーター： 佐東範一（NPO法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク[JCDN]代表）、住友文彦（キュレーター）

URL： <http://mixedbathingworld.com/>

本フェスティバルの軸となるのは「8つのアートプロジェクト」。総合ディレクターの岸沢氏によれば、個々の作品がアーティストやアートファンだけのものではなく、別府の代表的な温泉とされる「八湯」のように深く別府の地に根ざしながらも、人々の新たな気づきや活力が生まれる「想像力の源泉」のようなもの、つまり制作に関わる人々や、作品を体験する多種多様な人々のものにもなっていく、社会に広がりのあるアートプロジェクトとしてのあり方を意識して丁寧に展開しているとのこと。

→7月17日に実施された記者発表会より【読者によるレポート】[Tokyo Art Research Lab]

TABlogについて

東京のクリエイティブシーンに関するあらゆるディスカッションを活性化させるために、TABlogライター、ビデオレポーターが展覧会レビュー、特集記事、インタビューなどをお届けしています。

レビュー

フォトレポート

インタビュー

特集記事

こぼれニュース

ニュースより

TAB News

TABビデオ

TABlogライター

TABlogはそれまでの記事は読者からの記事にのみ限られており、その結果、Tokyo Art Beat、P3 art and environmentの支援、読者の声などでは足りません。

別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」とその周辺（TOKYO ART BEAT、2012年11月1日）

93



混浴温泉世界
2012



ベップ・アート・マンス 2012